

令和4年度  
大阪における  
文化芸術関係者の実態調査  
報告書



令和5年12月  
大阪府市文化振興会議アーツカウンシル部会  
——— 大阪アーツカウンシル ———



— 目次 —

第1章 調査について .....	1
第2章 調査の概要 .....	1
第3章 報告書の見方 .....	1
第4章 集計結果 .....	3
4-1 文化芸術関係者（個人） .....	3
1. 回答者の属性 .....	3
2. あなたの文化芸術活動について .....	6
3. 大阪アーツカウンシル・堺アーツカウンシルについて .....	57
4. その他 .....	61
4-2 文化芸術関係者（団体・法人） .....	63
1. 回答者の属性 .....	63
2. 貴団体・事業所の文化芸術活動について .....	64
3. 大阪アーツカウンシル・堺アーツカウンシルについて .....	112
4. その他 .....	116
第5章 調査の総括 .....	128
5-1 はじめに .....	128
5-2 調査の背景 .....	128
5-3 考察 .....	129
1. 文化芸術活動の地域集中について .....	129
2. 文化芸術関係者の経済的な課題について .....	130
3. 文化芸術関係者の公共事業への参加について .....	131
4. アートマネジメント人材等の不足について .....	131
5. コロナ禍における悩みと支援ニーズの多様性について .....	132
6. 新型コロナウイルス感染症による若年層への影響について .....	133
5-4 おわりに .....	134
第6章 資料編（アンケート調査票） .....	136

## 第1章 調査について

令和7年に開催される2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に向けて、新型コロナウイルス感染症と共存しながら、文化芸術活動の回復が求められる状況において、芸術関係者の現在の状況を正しく把握することが重要であることから、今回の調査を行いました。

## 第2章 調査の概要

### 1) 調査対象地域、対象者、対象者数

調査対象地：大阪府

調査対象者：大阪府在住または大阪府内に活動の拠点を置く文化芸術関係者  
(個人、団体・法人)

### 2) 調査実施方法

Web アンケート（個人用アンケート、団体・法人用アンケート）

### 3) 調査実施期間

令和5年1月5日（木）～令和5年1月18日（水）

### 4) 調査票の回収

回収数：410票（個人）、253票（団体・法人） 合計663票

## 第3章 報告書の見方

○図及び表の“N”は各設問における母数を表しています。

○クロス集計の場合の“N”は、項目ごとに構成比を算出するために用いる母数です。

○クロス集計の場合でN=10未満の項目はコメントの対象外としています。

(参考値として掲載)

○百分比(%)は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。

そのため、四捨五入の結果、比率の合計が100%と一致しないことがあります。

○居住地・所在地の設問については大阪府内の各市町村を4地域、主な活動地の設問については大阪市を3区分した6地域に分類した上で分析を行っています。

(4地域、6地域の分類)

- ・大阪市（6地域区分の場合：北区、中央区、他区）
- ・北大阪地域（能勢町、豊能町、池田市、箕面市、豊中市、茨木市、高槻市、島本町、吹田市、摂津市）
- ・東大阪地域（枚方市、交野市、寝屋川市、守口市、門真市、四條畷市、大東市、東大阪市、八尾市、柏原市）
- ・南大阪地域（堺市、和泉市、高石市、泉大津市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、熊取町、泉佐野市、田尻町、泉南市、阪南市、岬町、松原市、羽曳野市、藤井寺市、太子町、河南町、千早赤阪村、富田林市、大阪狭山市、河内長野市）

○選択式の設問で「その他」を選択した際に文章で記入された回答を掲載している箇所について、誤字・脱字があると思われる箇所については軽微な修正を加えています。  
また、回答の内容により回答者等が特定されうるとと思われる箇所については、「○○○  
○」に置き換えて掲載しています。

## 第4章 集計結果

### 4-1 文化芸術関係者（個人）

#### 1. 回答者の属性

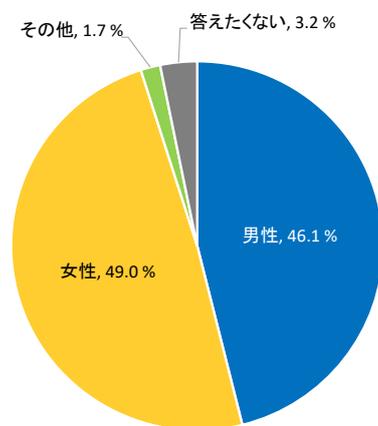
##### 問1 性別

「男性」（46.1%）、「女性」（49.0%）、「その他」（1.7%）、「答えたくない」（3.2%）  
 となっています。

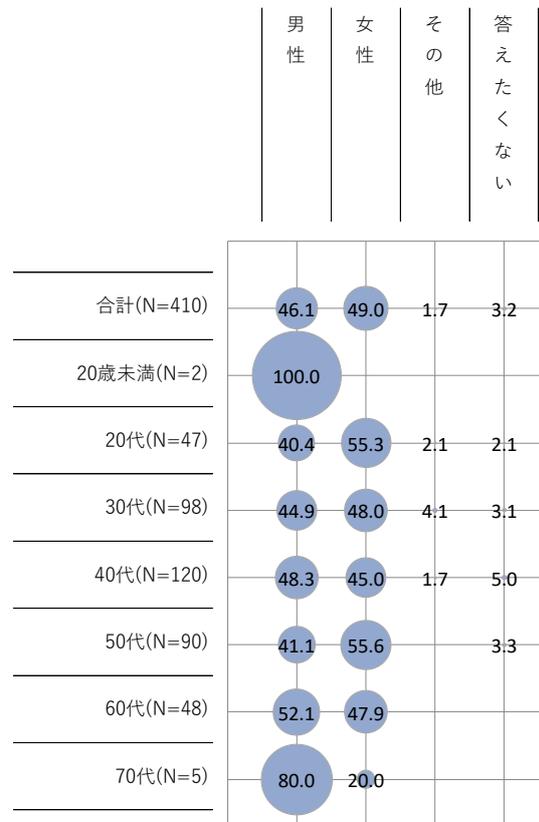
##### 【年代別でみる「性別」】

回答者における性別について「30代」、「40代」、「60代」では「男性」と「女性」の比率は同程度ですが、「20代」、「50代」では「女性」の比率が14%以上高くなっています。

問1 あなたの性別を教えてください。(N=410)

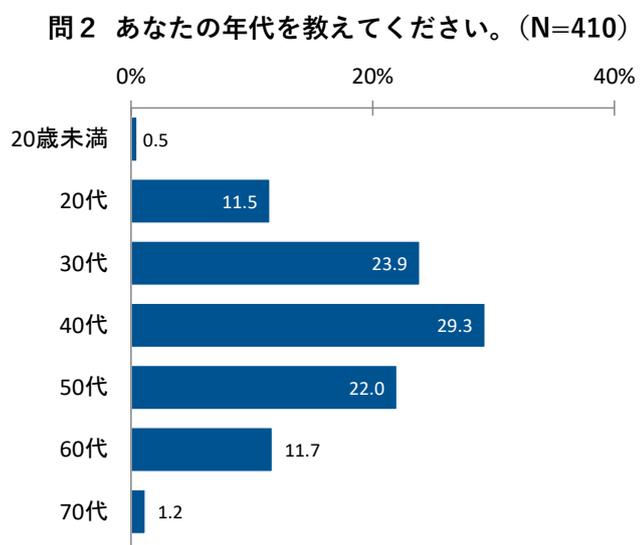


(問2 年代) × 問1 あなたの性別を教えてください。



## 問2 年代

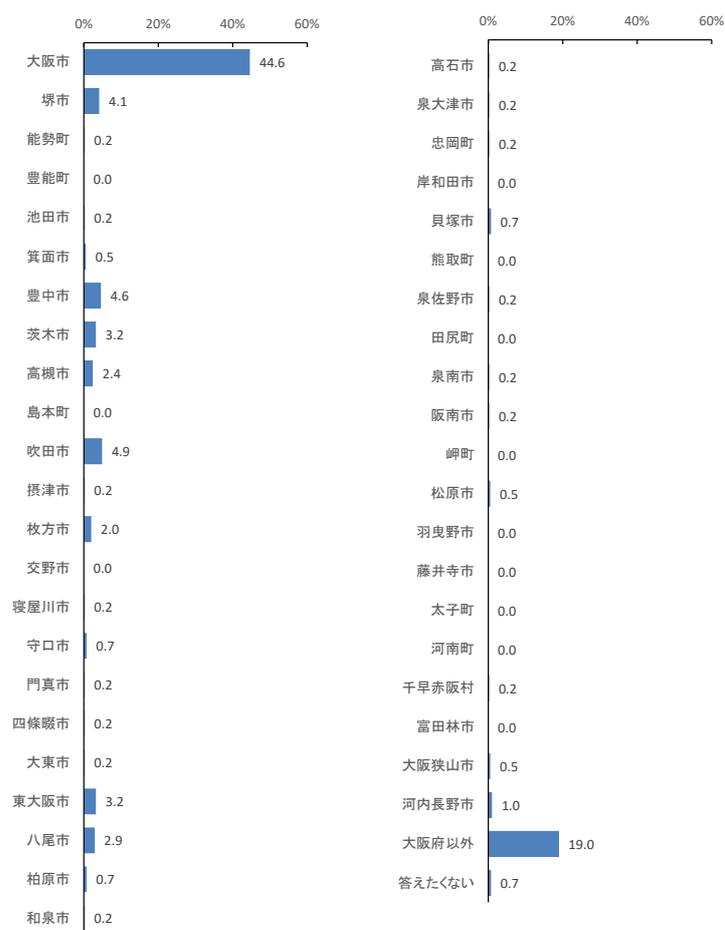
「20代」(11.5%)、「30代」(23.9%)、「40代」(29.3%)、「50代」(22.0%)、「60代」(11.7%)、「70代」(1.2%) となっています。



### 問3 居住地

「大阪市」(44.6%)、「大阪府外」(19.0%)、「吹田市」(4.9%)、「豊中市」(4.6%)、「堺市」(4.1%)、「茨木市」(3.2%)、「東大阪市」(3.2%)、「八尾市」(2.9%)となっています。

問3 あなたの居住地を教えてください。(N=410)

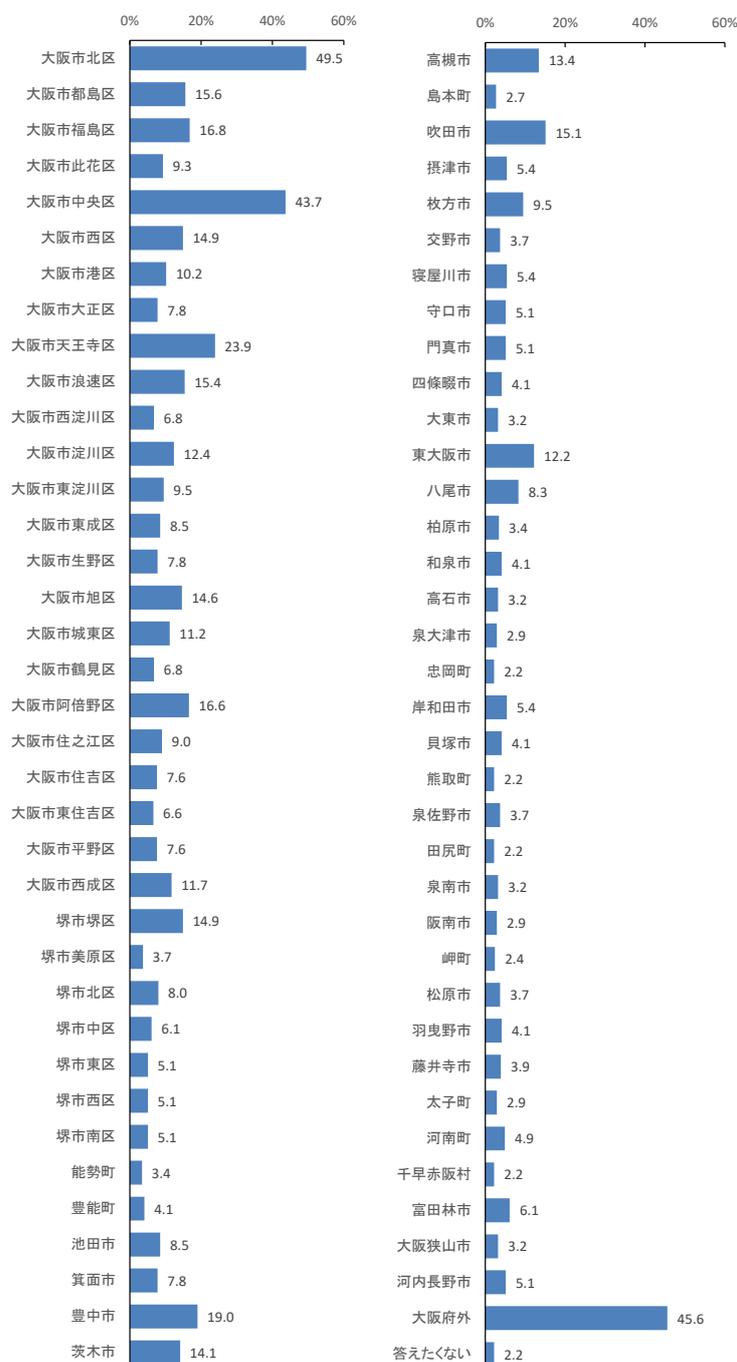


## 2. あなたの文化芸術活動について

### 問4 文化芸術活動を行っている活動地（複数回答）

大阪市北区（49.5%）、大阪府外（45.6%）、大阪市中央区（43.7%）、大阪市天王寺区（23.9%）、豊中市（19.0%）、大阪市福島区（16.8%）、大阪市阿倍野区（16.6%）、大阪市都島区（15.6%）、大阪市浪速区（15.4%）、吹田市（15.1%）となっています。

問4 あなたが文化芸術活動を行っている活動地を全て教えてください。(N=410)



### 【表現分野別でみる「文化芸術活動を行っている活動地」】

表現分野別にみると、いずれの分野も「大阪市北区」「大阪市中央区」が活動の中心となっていますが、この2つの地域を除いて20%以上となっている活動地をみると、

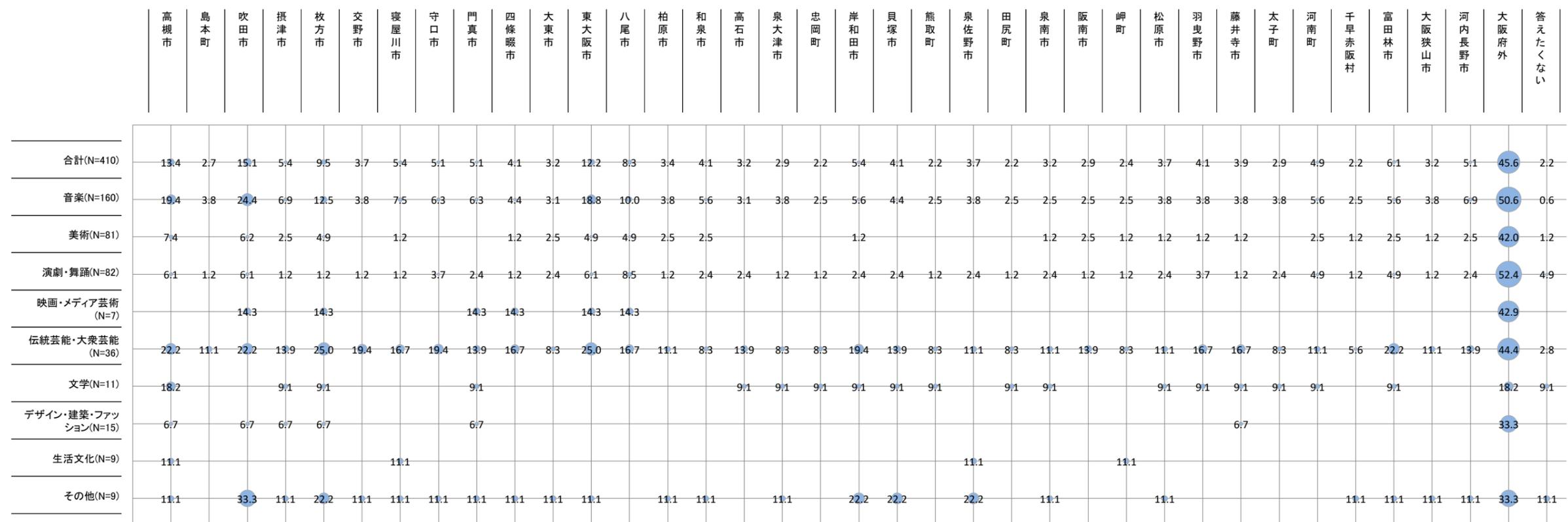
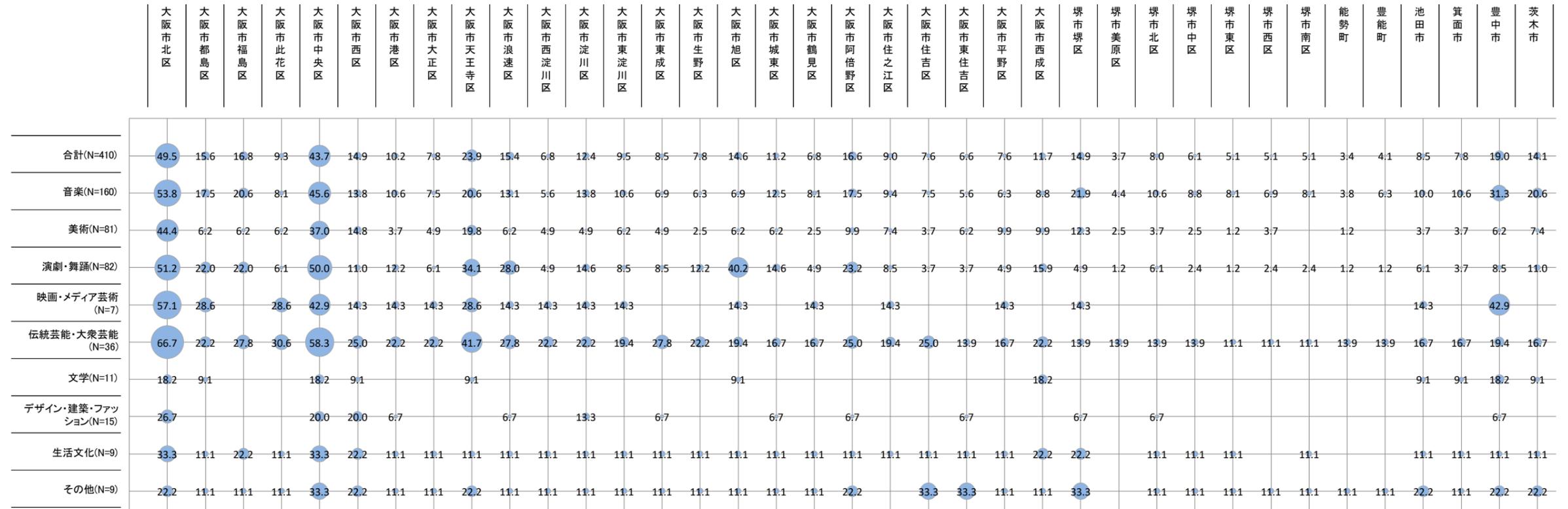
「音楽（N=160）」では、「豊中市」（31.3%）、「吹田市」（24.4%）、「堺市堺区」（21.9%）、「茨木市」（20.6%）、「大阪市天王寺区」（20.6%）で、「大阪府外」（50.6%）と分散しています。

「美術（N=81）」では20%以上の活動地はなく、「大阪府外」のみが42.0%となっています。

「演劇・舞踊（N=82）」では、「大阪市旭区」（40.2%）、「大阪市天王寺区」（34.1%）、「大阪市浪速区」（28.0%）、「大阪市阿倍野区」（23.2%）、「大阪市都島区」（22.0%）、「大阪市福島区」（22.0%）と市内に多くの活動地があり、「大阪府外」（52.4%）となっています。

「伝統芸能・大衆芸能（N=36）」では、「大阪市天王寺区」（41.7%）の他19カ所あり、大阪府内での広域的な活動が顕著です。「大阪府外」（44.4%）となっています。

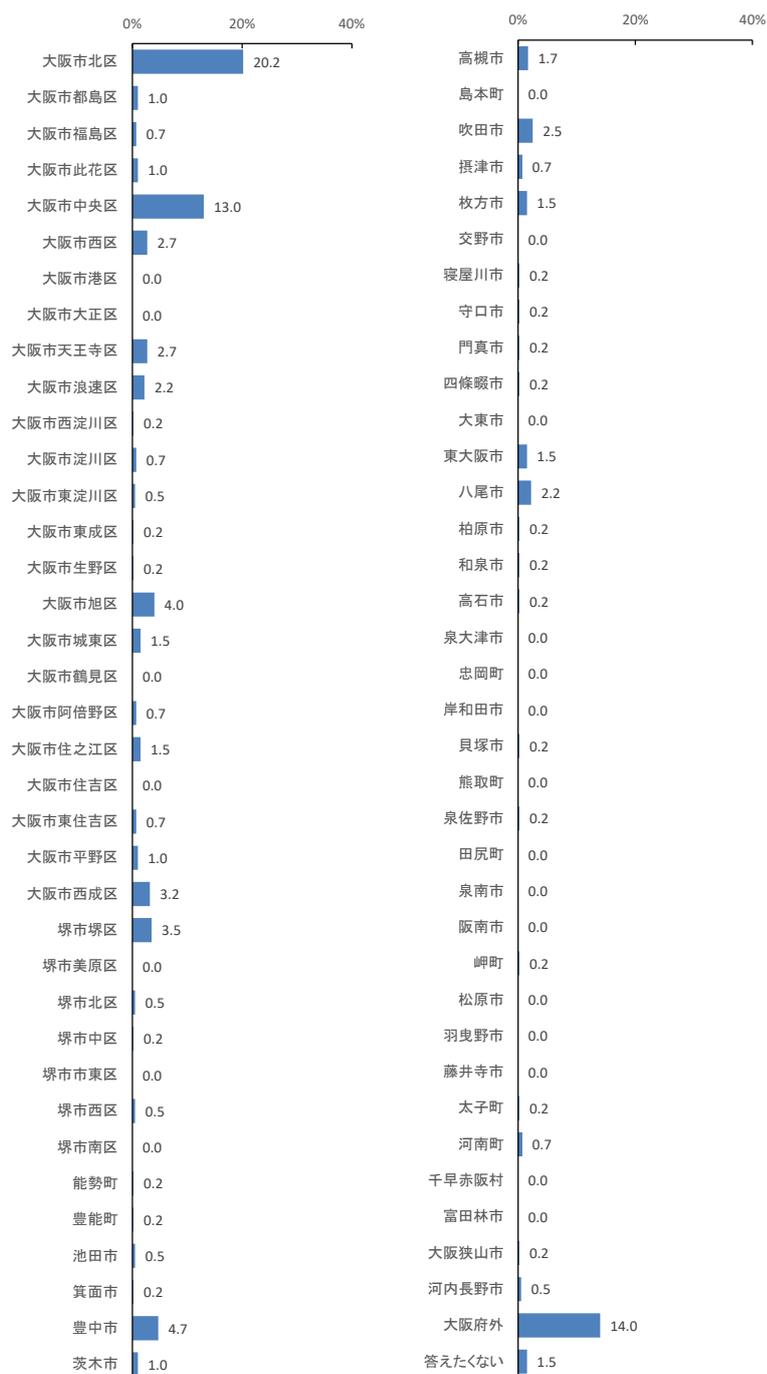
(問7 表現分野) × 問4 あなたが文化芸術活動を行っている活動地を全て教えてください。



### 問5 主な活動地（1つ）

大阪市北区（20.2%）、大阪府外（14.0%）、大阪市中心区（13.0%）、豊中市（4.7%）、大阪市旭区（4.0%）、堺市堺区（3.5%）、大阪市西成区（3.2%）、吹田市（2.5%）、八尾市（2.2%）となっています。

### 問5 問4で答えた活動地のうち、あなたが最も活動を行っている活動地を教えてください。（N=410）



### 【主な活動地のポテンシャル】

「主な活動地」の構成比が高い「大阪市」(59.3%)、「堺市」(4.8%)、「豊中市」(4.6%)、「吹田市」(2.5%)、「八尾市」(2.3%)について、「居住地」と比較すると、「大阪市」(15.3ポイント高)、「堺市」(0.7ポイント高)となっており、「豊中市」(0.2ポイント低)、「吹田市」(2.6ポイント低)、「八尾市」(0.8ポイント低)となっています。「大阪市」の活動地としてのポテンシャルの高さが顕著です。

表 「主な活動地」と「居住地」の構成の比較

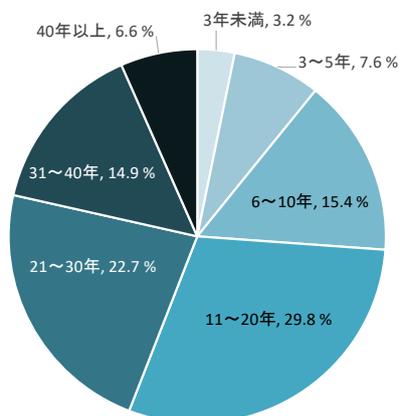
	居住地 (回答数)	主な活動地 (回答数)	居住地 (構成比)	主な活動地 (構成比)	構成比差 (ポイント)
合計	393	393	100.0	100.0	-
大阪市	173	233	44.0	59.3	15.3
堺市	16	19	4.1	4.8	0.7
能勢町	1	1	0.3	0.3	0.0
豊能町	0	1	0.0	0.3	0.3
池田市	1	2	0.3	0.5	0.2
箕面市	2	1	0.5	0.3	▲ 0.2
豊中市	19	18	4.8	4.6	▲ 0.2
茨木市	13	4	3.3	1.0	▲ 2.3
高槻市	10	7	2.5	1.8	▲ 0.7
島本町	0	0	0.0	0.0	0.0
吹田市	20	10	5.1	2.5	▲ 2.6
摂津市	1	3	0.3	0.8	0.5
枚方市	8	6	2.0	1.5	▲ 0.5
交野市	0	0	0.0	0.0	0.0
寝屋川市	1	1	0.3	0.3	0.0
守口市	2	1	0.5	0.3	▲ 0.2
門真市	1	1	0.3	0.3	0.0
四條畷市	1	1	0.3	0.3	0.0
大東市	1	0	0.3	0.0	▲ 0.3
東大阪市	12	6	3.1	1.5	▲ 1.6
八尾市	12	9	3.1	2.3	▲ 0.8
柏原市	3	1	0.8	0.3	▲ 0.5
和泉市	1	1	0.3	0.3	0.0
高石市	1	1	0.3	0.3	0.0
泉大津市	1	0	0.3	0.0	▲ 0.3
忠岡町	1	0	0.3	0.0	▲ 0.3
岸和田市	0	0	0.0	0.0	0.0
貝塚市	3	1	0.8	0.3	▲ 0.5
熊取町	0	0	0.0	0.0	0.0
泉佐野市	1	1	0.3	0.3	0.0
田尻町	0	0	0.0	0.0	0.0
泉南市	1	0	0.3	0.0	▲ 0.3
阪南市	1	0	0.3	0.0	▲ 0.3
岬町	0	1	0.0	0.3	0.3
松原市	2	0	0.5	0.0	▲ 0.5
羽曳野市	0	0	0.0	0.0	0.0
藤井寺市	0	0	0.0	0.0	0.0
太子町	0	1	0.0	0.3	0.3
河南町	0	3	0.0	0.8	0.8
千早赤阪村	1	0	0.3	0.0	▲ 0.3
富田林市	0	0	0.0	0.0	0.0
大阪狭山市	2	1	0.5	0.3	▲ 0.2
河内長野市	4	2	1.0	0.5	▲ 0.5
大阪府以外	77	56	19.6	14.2	▲ 5.4

※「問3居住地」、「問5主な活動地」の「答えたくない」の回答は除いています。したがって、問3、問5の母数とは異なります。

問6 文化芸術活動の年数

『10年以下』(26.2%)、『11年以上』(74.0%)となっています。

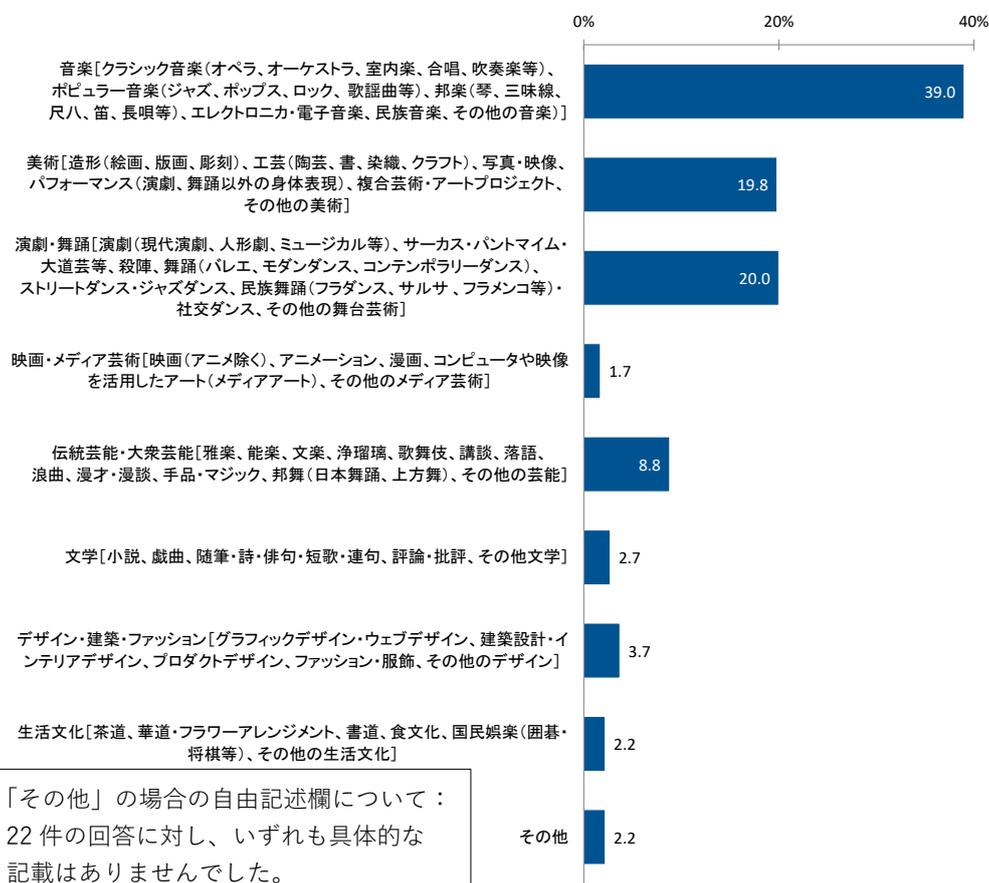
問6 あなたが文化芸術活動に従事している年数を教えてください。  
(N=410)



問7 文化芸術活動の主な表現分野（1つ）

「音楽」(39.0%)、「演劇・舞踊」(20.0%)、「美術」(19.8%)となっています。

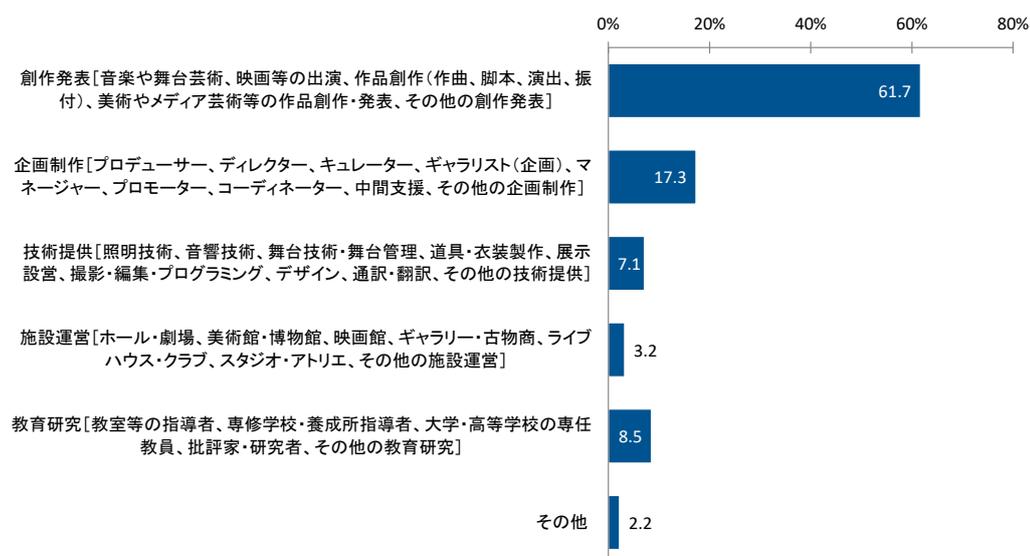
問7 あなたの文化芸術活動について、最もあてはまる表現分野を1つ教えてください。  
(N=410)



問 8 文化芸術活動の主な技能分野（1つ）

「創作発表」（61.7%）、「企画制作」（17.3%）、「教育研究」（8.5%）、「技術提供」（7.1%）、「施設運営」（3.2%）となっています。

問 8 あなたの文化芸術活動の主な技能分野について、最もあてはまるものを1つ教えてください。（N=410）



「その他」の場合の自由記述欄について：以下の7件の回答がありました。

- ・実演に関するもの：4件  
 (「古典の講読」「芸能実演」「演奏」「演技披露」)
- ・その他：3件  
 (「アートマネジメント」  
 「文化芸術活動を行う団体の総務担当」  
 「広告、出版などのイラストレーション制作」)

【表現分野別でみた「技能分野」】

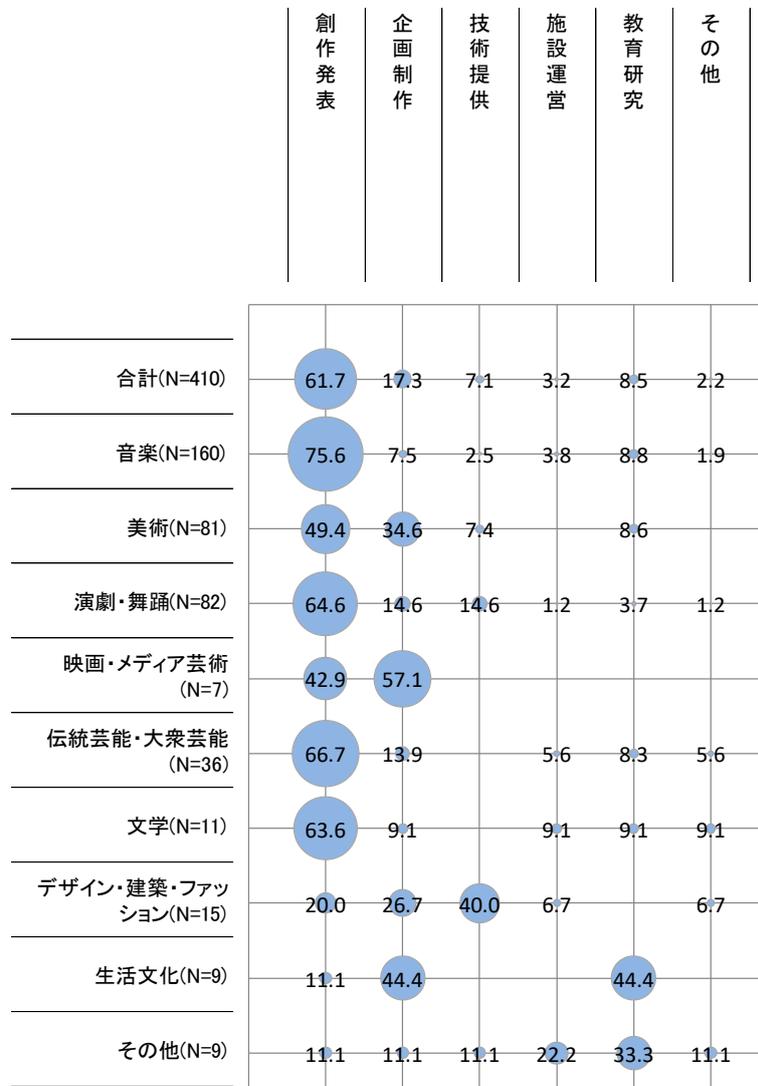
「創作発表」でみると、「音楽」、「演劇・舞踊」、「伝統芸能・大衆芸能」、「文学」は6割以上、「美術」、「映画・メディア芸術」は4割台ですが、「デザイン・建築・ファッション」「生活文化」「その他」は2割以下となっています。

「企画制作」では、「美術」(34.6%)、「デザイン・建築・ファッション」(26.7%)となっています。

「技術提供」では、「デザイン・建築・ファッション」(40.0%)となっています。技能分野の「その他」で、20%以上の表現分野はありません。

「音楽」、「演劇・舞踊」、「伝統芸能・大衆芸能」、「文学」では、他の表現分野に比べて「企画制作」が低い傾向がみられます。

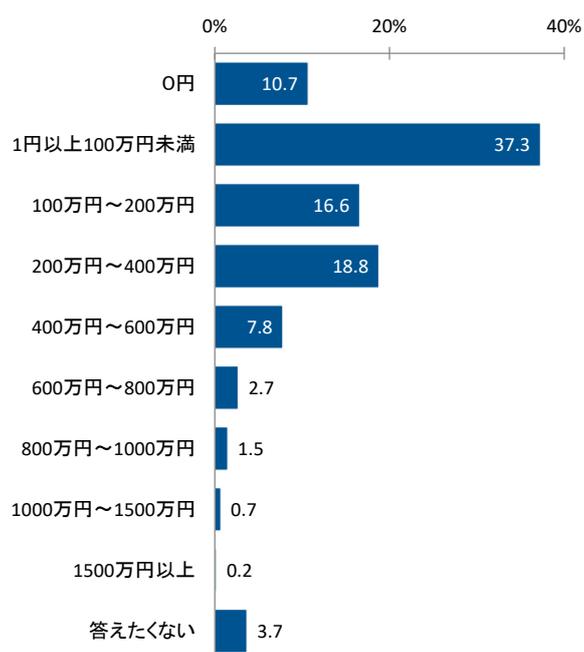
(問7 表現分野) × 問8 文化芸術活動の主な技能分野(1つ)



問9 文化芸術活動における直近の年度の総収入

「1円以上100万円未満」(37.3%)、「100万円(以上)～200万円(未満)」(16.6%)、「200万円(以上)～400万円(未満)」(18.8%)で、『400万円(未満)』(83.4%)となっています。

問9 あなたの文化芸術活動における直近の年度の総収入を教えてください。(N=410)





【主な活動地域（6地域）別でみた「文化芸術活動における直近の年度の総収入】

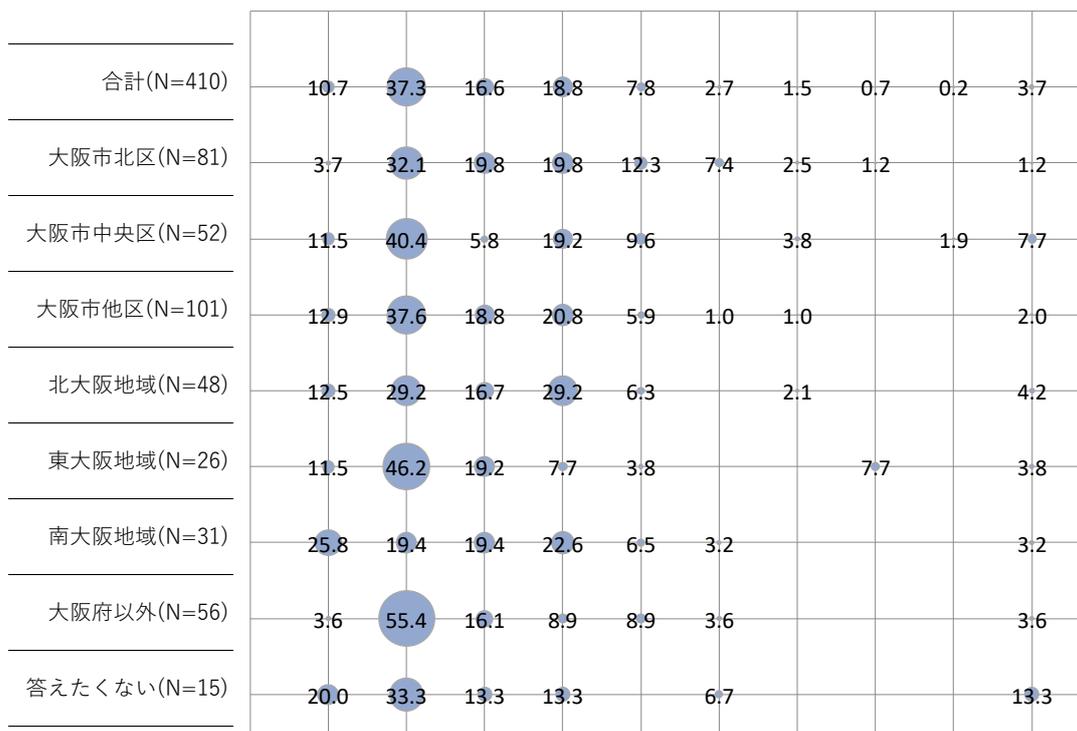
『200万円（未満）』の所得層については、「大阪市北区」（55.6%）、「大阪市中央区」（57.7%）、「北大阪地域」（58.4%）において、他の地域（64.6～76.9%）より低くなっています。

『200万円（以上）～600万円（未満）』の所得層については、「北大阪地域」（35.5%）、「大阪市北区」（32.1%）、「南大阪地域」（29.1%）、「大阪市中央区」（28.8%）、「大阪市他区」（26.7%）は、他の地域（11.5～17.8%）より高くなっています。

『600万円（以上）』の所得層においては、「大阪市北区」（11.1%）、「東大阪地域」（7.7%）、「大阪市中央区」（5.7%）が、他の地域（2.0～3.6%）より高くなっています。

（問5 主な活動地域（6地域）） × 問9 あなたの文化芸術活動における直近の年度の総収入を教えてください。

0 円	万 円	1 円	2 円	1 円	4 円	2 円	6 円	4 円	8 円	6 円	1 円	8 円	1 円	1 円	上	1 円	5 円	答 え た く な い
		未 満	以 上	万 円	0 万 円													
		1 0 0		万 円	0 万 円													
		0		）	）	）	）	）	）	）	円	）	円	）	円	）	円	
		0																

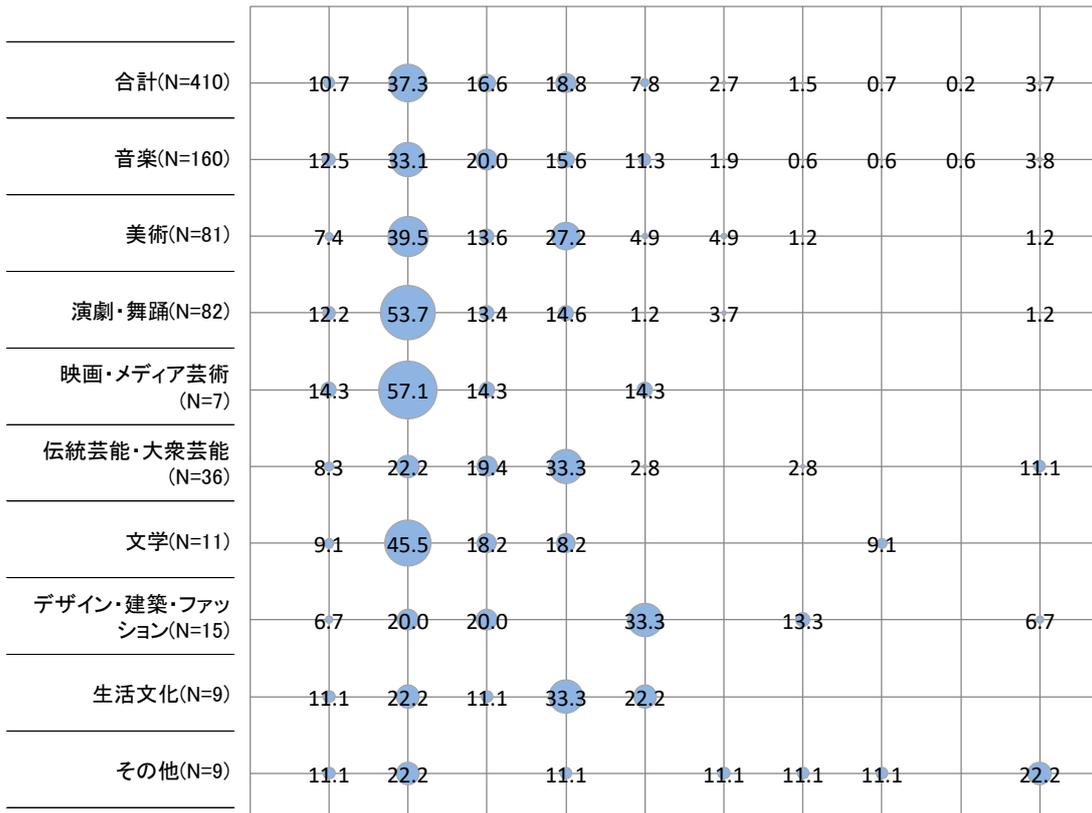


【表現分野別でみた「文化芸術活動における直近の年度の総収入】

「0円」「1円以上100万円未満」「100万円～200万円」を合わせた『200万円以下』の層では、「伝統芸能・大衆芸能」「デザイン・建築・ファッション」は5割未満ですが、「音楽」「美術」「演劇・舞踊」は6割～9割となっています。

(問7 表現分野) × 問9 あなたの文化芸術活動における直近の年度の総収入を教えてください。

0円	満1円以上100万円未満	円100万	円200万	円400万	円600万	円800万	円1000万	円1500万	円1500万以上	答えたくない
----	--------------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	----------	--------



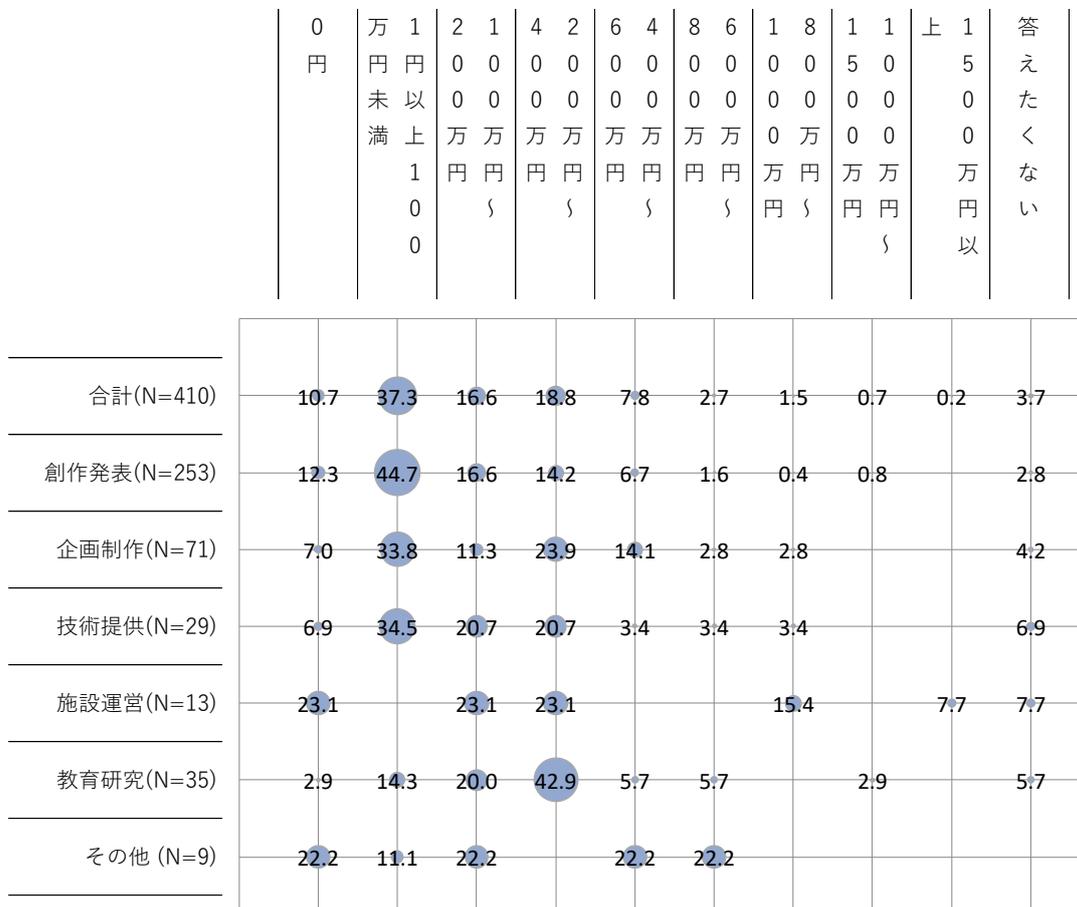
【技能分野別でみた「文化芸術活動における直近の年度の総収入」】

『200万円（未満）』の所得層では、「創作発表」（73.6%）、「技術提供」（62.1%）は他の技能分野（37.2～52.1%）より高くなっています。

『200万円（以上）～600万円（未満）』の所得層では、「教育研究」（48.6%）、「企画制作」（38.0%）は他の技能分野（20.9～24.1%）より高くなっています。

『600万円（以上）』の所得層では、「施設運営」（23.1%）は他の技能分野（2.8～8.6%）より高くなっています。

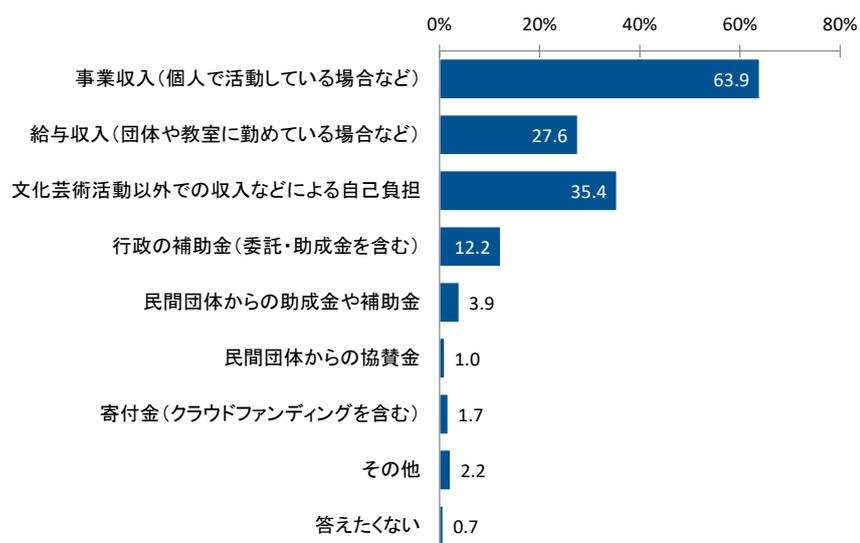
（問8 技能分野） × 問9 あなたの文化芸術活動における直近の年度の総収入を教えてください。



問 10 文化芸術活動の活動資金の入手先（複数回答）

「事業収入（個人で活動している場合など）」（63.9%）、「文化芸術活動以外での収入などによる自己負担」（35.4%）、「給与収入（団体や教室に勤めている場合など）」（27.6%）、「行政の補助金（委託・助成金を含む）」（12.2%）となっています。

問 10 あなたの文化芸術活動の活動資金はどこから得ていますか？（N=410）



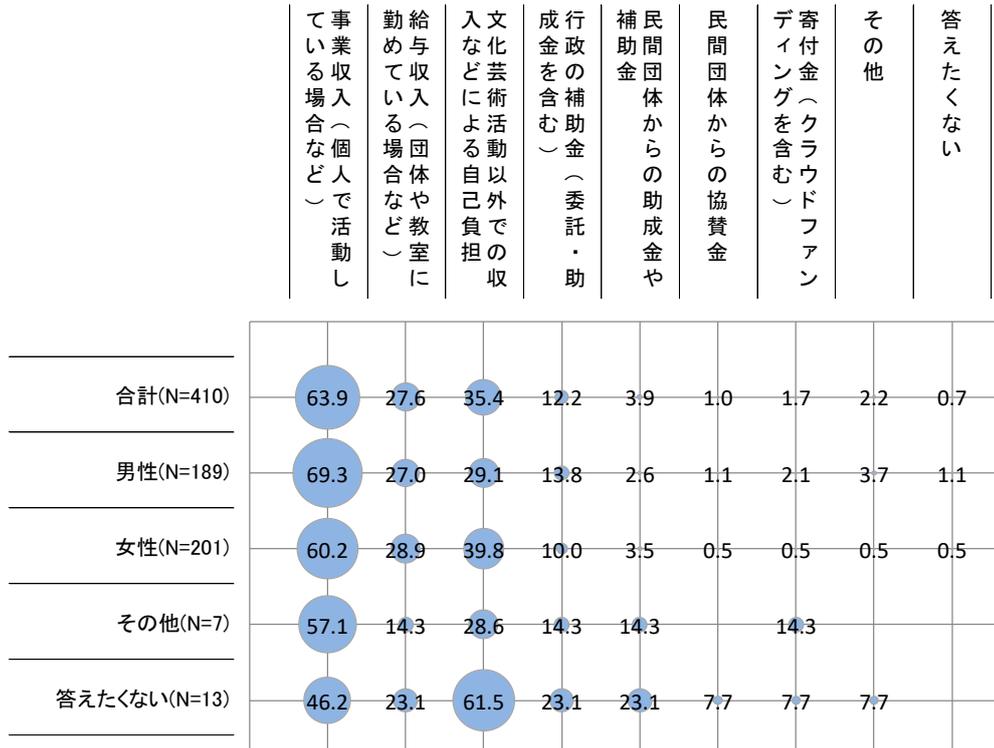
「その他」の場合の自由記述欄について：以下の8件の回答がありました。

- ・自己資金に関するもの：4件  
（「本業での収入」、「自腹」×2件、「自己資金」）
- ・アルバイトでの収入に関するもの：2件  
（「アルバイト等」、「アルバイト」）
- ・その他：2件  
（「事業委託費」、「行政の交付金」）

【性別でみた「文化芸術活動の活動資金の入手先】】

「事業収入」では、「女性」(60.2%)は「男性」(69.3%)より9.1ポイント低く、その一方で、「文化芸術活動以外での収入などによる自己負担」では、「女性」(39.8%)が「男性」(29.1%)より10.7ポイント高くなっており、男女で経済的基盤に差があることがわかります。

(問1 性別) × 問10 あなたの文化芸術活動の活動資金はどこから得ていますか？

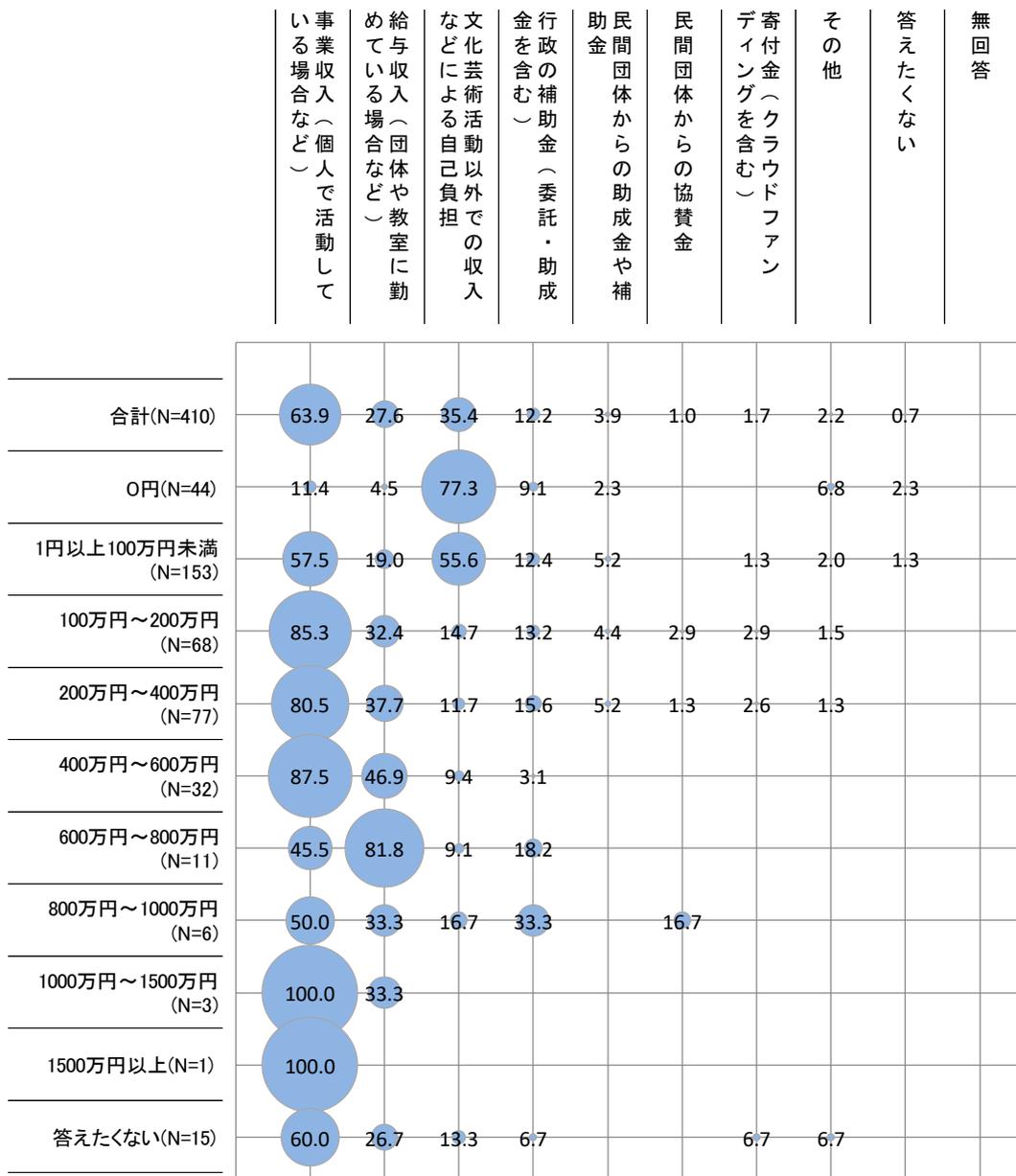


【文化芸術活動における直近の年度の総収入別でみた「文化芸術活動の活動資金の入手先」】

総収入が『100万円未満』では、活動資金の入手先として「文化芸術活動以外での収入などによる自己負担」が大きなウエイトを占めています。『100万円～600万円未満』では、「事業収入（個人で活動している場合など）」が8割～9割、「給与収入（団体や教室に勤めている場合など）」が3割～5割を占めています。

また、各総収入額に関わらず、『1000万円未満』では、「行政の補助金（委託・助成金を含む）」も文化芸術活動の活動資金を支える役割を担っていることがわかります。

（問9 文化芸術活動における直近の年度の総収入） × 問10 あなたの文化芸術活動の活動資金はどこから得ていますか？

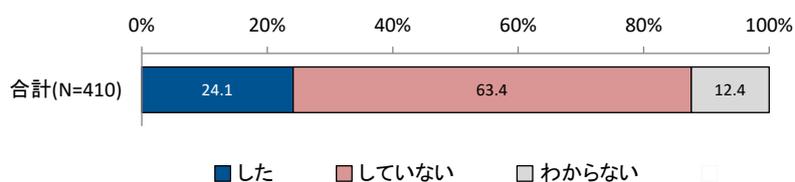


問 11 過去 2 回実施された調査※に回答しましたか？

※「大阪における文化芸術関係者への新型コロナウイルスの影響に関する実態調査」  
(2020 年：一般財団法人おおさか創造千島財団、2021 年：大阪市文化課)

「した」(24.1%)、「していない」(63.4%)、「わからない」(12.4%) となっています。

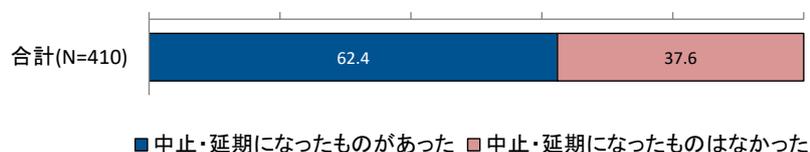
問 11 過去 2 回実施された調査に回答しましたか？



問 12 あなたが関わる公演、展示、イベント等において、直近 1 年間に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止・延期になったものはありましたか？

「あった」(62.4%)、「なかった」(37.6%) となっています。

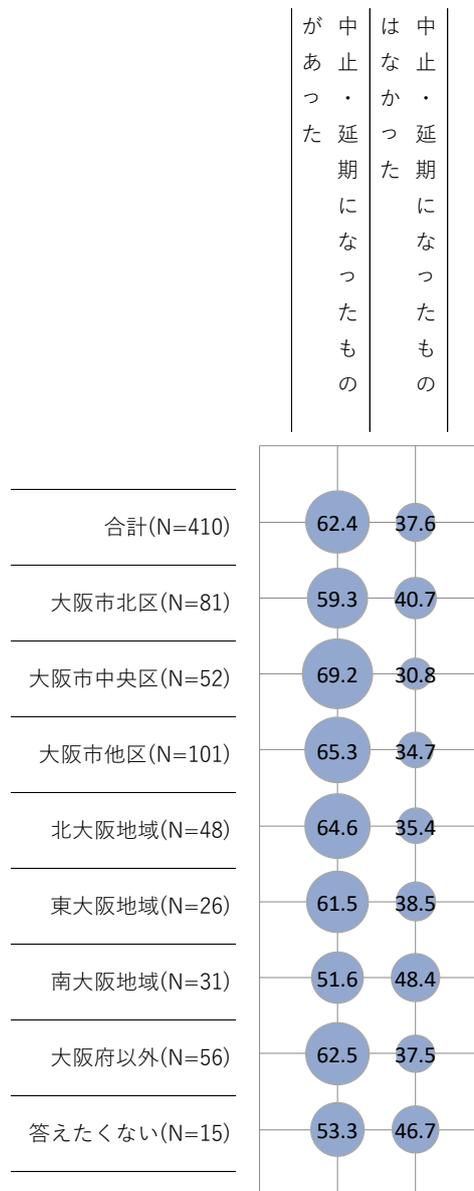
問 12 あなたが関わる公演、展示、イベント等において、直近 1 年間に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止・延期になったものはありましたか？



【主な活動地域（6地域）別でみた「直近1年間に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止・延期になったものがあったかどうか」】

「中止・延期になったものがあった」では、地域別には大きな差はありませんが、「南大阪地域」（51.6%）は他地域より低くなっています。

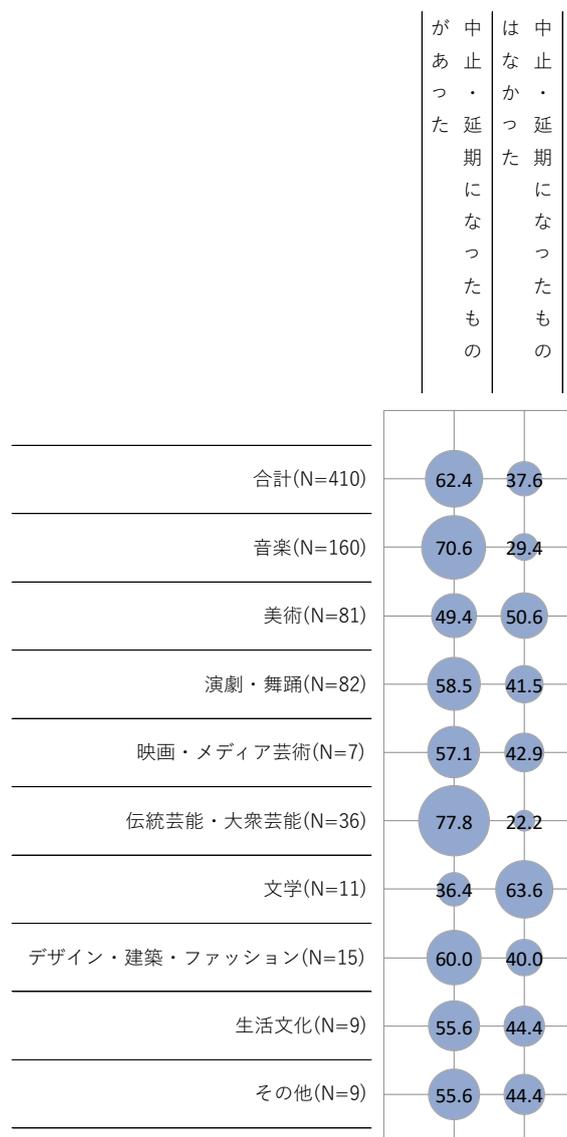
（問5 主な活動地域（6地域）） × 問12 あなたが関わる公演、展示、イベント等において、直近1年間に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止・延期になったものはありましたか？



【表現分野別でみた「直近1年間に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止・延期になったものがあったかどうか」】

「中止・延期になったものがあった」では、「伝統芸能・大衆芸能」、「音楽」は7割以上となっています。

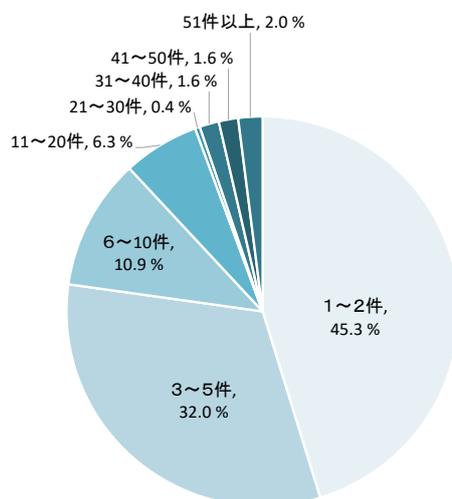
(問7 表現分野) × 問12 あなたが関わる公演、展示、イベント等において、直近1年間に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止・延期になったものはありましたか？



問 12-1 問 12 の中止・延期になった件数

「1～2件」(45.3%)、「3～5件」(32.0%)、「6～10件」(10.9%)で、『10件以下』(88.2%)、『11件以上』(11.9%)となっています。

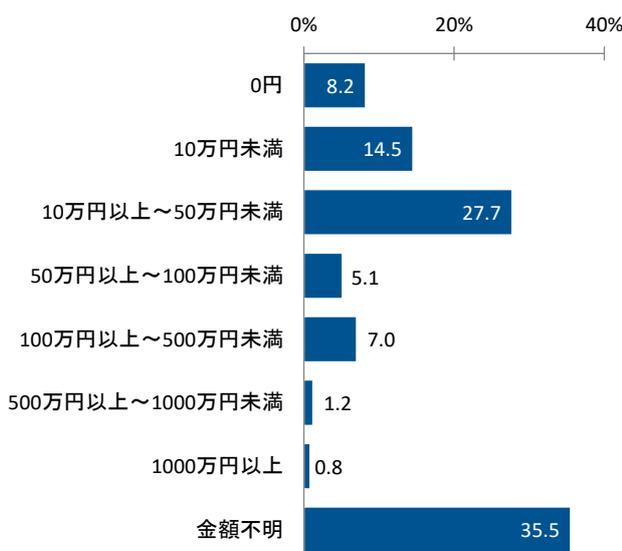
問 12-1 問 12 の中止・延期になった件数を教えてください。(N=256)



問 12-2 問 12 の中止・延期により、あなた自身が受け取る予定だった収入の損失額はどのくらいですか？（直近 1 年間の積算額）

「0 円」(8.2%)、「10 万円未満」(14.5%)、「10 万円以上～50 万円未満」(27.7%)で、『50 万円未満』(50.4%)、『50 万円以上』(14.1%)、「金額不明」(35.5%)となっています。

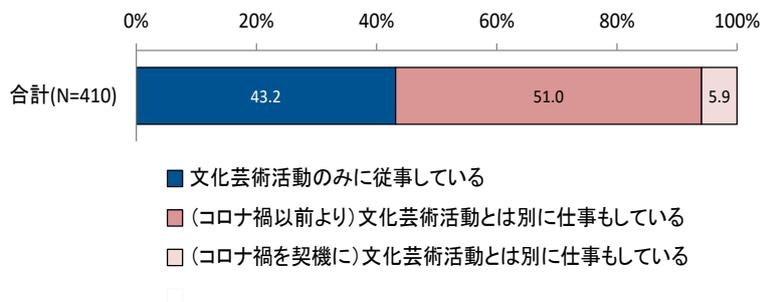
問 12-2 問 12 の中止・延期による損失額はどのくらいですか？ (N=256)



問 13 あなたは文化芸術活動とは別に仕事をお持ちですか？

「文化芸術活動のみに従事している」(43.2%)、「(コロナ禍以前より)文化芸術活動とは別に仕事もしている」(51.0%)、「(コロナ禍を契機に)文化芸術活動とは別に仕事もしている」(5.9%)となっています。

問 13 あなたは文化芸術活動とは別に仕事をお持ちですか？

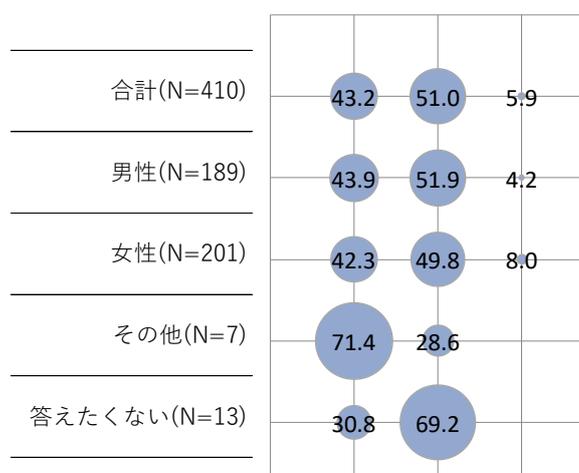


【性別でみた「文化芸術活動とは別の仕事の有無」】

「男性」、「女性」に大きな差はありません。

(問1 性別) × 問13 あなたは文化芸術活動とは別に仕事をお持ちですか？

る	文	活	活
化	動	(	(
芸	と	コ	コ
術	は	ロ	ロ
活	別	は	は
動	に	ナ	ナ
の	以	禍	禍
み	前	に	を
に	事	仕	契
従	も	事	機
事	し	も	に
し	て	し	)
て	い	て	文
い	る	い	化
	芸	る	芸
	術	る	術



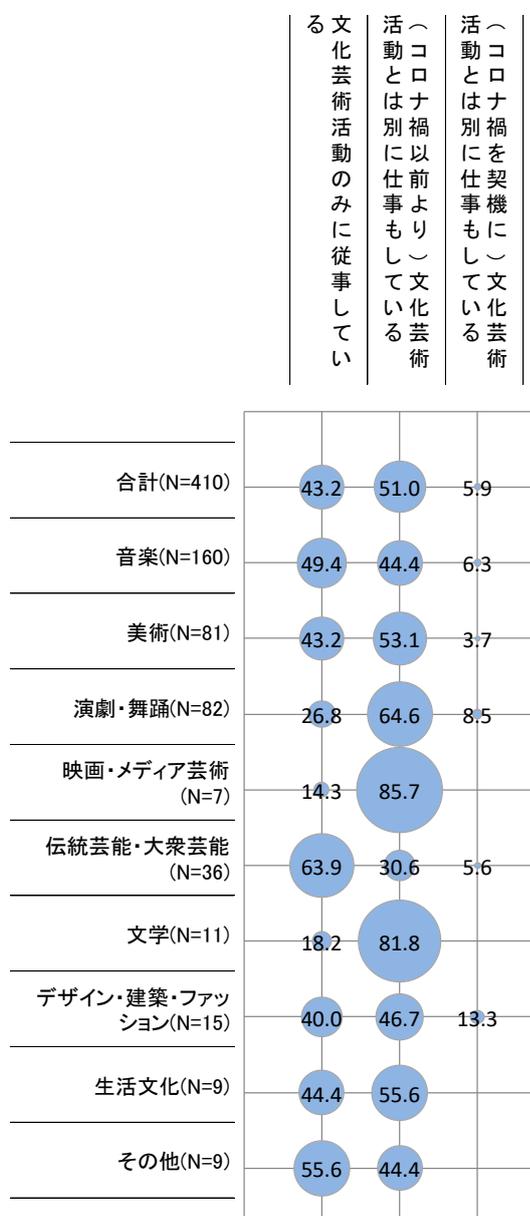
【表現分野別でみた「文化芸術活動とは別の仕事の有無」】

「文化芸術活動のみに従事している」では、「伝統芸能・大衆芸能」(63.9%)のみが50%以上となっています。

また、「(コロナ禍以前より)文化芸術活動とは別に仕事もしている」では、「文学」(81.8%)、「演劇・舞踊」(64.6%)、「美術」(53.1%)が50%以上となっています。

「(コロナ禍を契機に)文化芸術活動とは別に仕事もしている」では、「デザイン・建築・ファッション」(13.3%)、「演劇・舞踊」(8.5%)、「音楽」(6.3%)、「伝統芸能・大衆芸能」(5.6%)が5%以上となっています。

(問7 表現分野) × 問13 あなたは文化芸術活動とは別に仕事をお持ちですか？



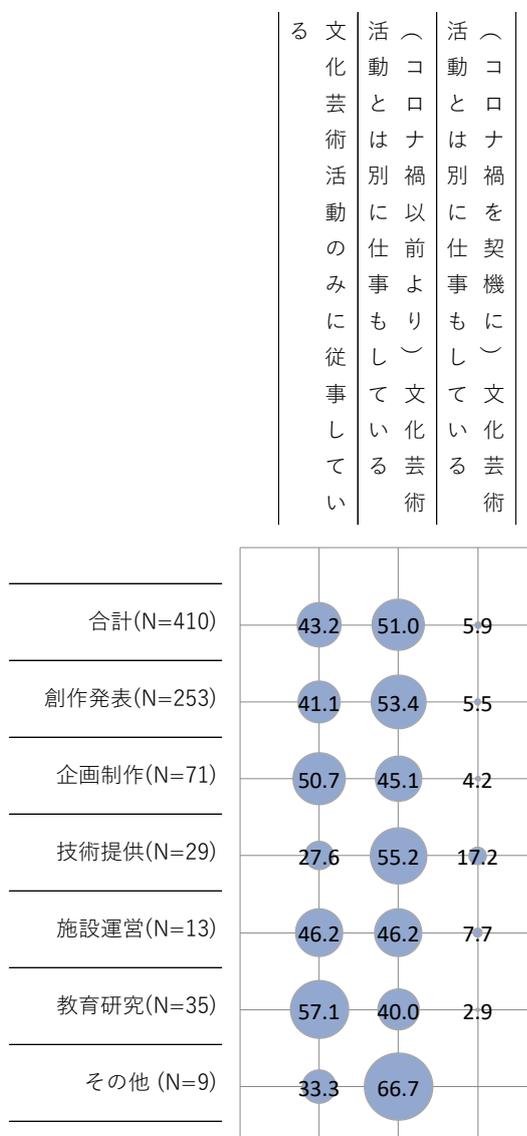
【技能分野別でみた「文化芸術活動とは別の仕事の有無」】

「文化芸術活動のみに従事している」では、「技術提供」(27.6%)は他の技能分野より低くなっています。

「(コロナ禍以前より)文化芸術活動とは別に仕事もしている」では、「技術提供」(55.2%)、「創作発表」(53.4%)は他の技能分野より高くなっています。

「(コロナ禍を契機に)文化芸術活動とは別に仕事もしている」では、「技術提供」(17.2%)は他の技能分野より高くなっています。

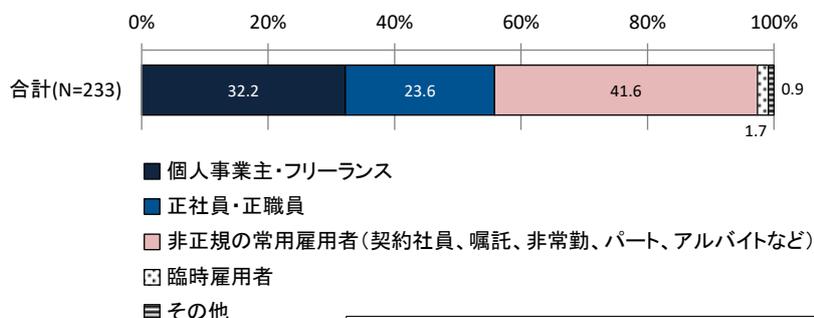
(問8 技能分野) × 問13 あなたは文化芸術活動とは別に仕事をお持ちですか？



問 13-1 文化芸術活動以外の主な仕事での雇用形態

「非正規の常用雇用者」(41.6%)、「個人事業主・フリーランス」(32.2%)、「正社員・正職員」(23.6%)、「臨時雇用者」(1.7%)となっています。

問 13-1 文化芸術活動以外の主な仕事での雇用形態を教えてください。  
(N=233)

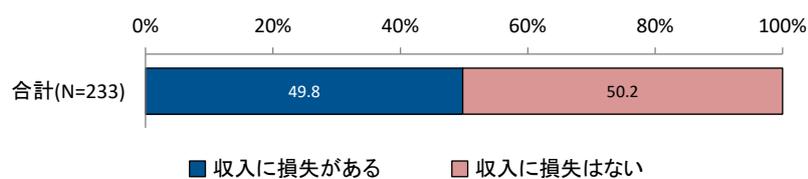


「その他」の場合の自由記述欄について：  
1件の回答がありました。「会社役員」

問 13-2 直近1年間の文化芸術活動以外の仕事での収入における、新型コロナウイルス感染症の影響による損失の有無

「収入に損失がある」(49.8%)、「収入に損失はない」(50.2%)となっています。

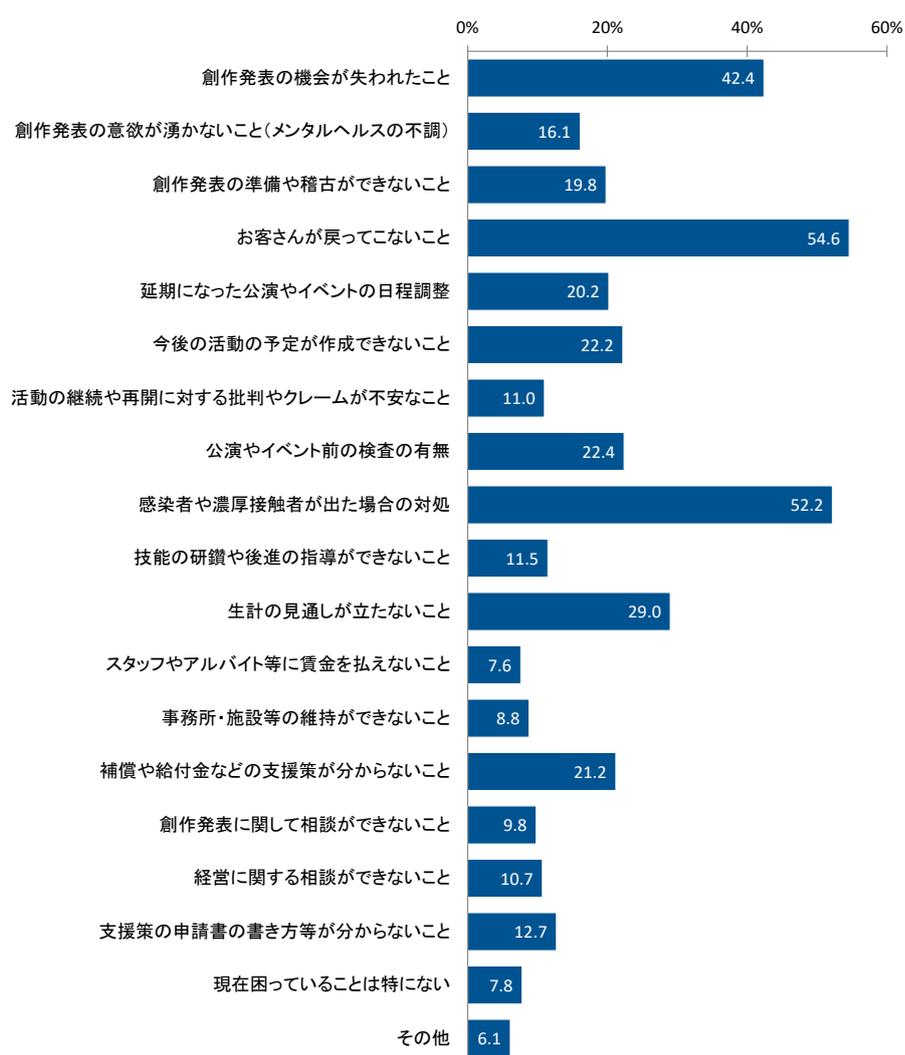
問 13-2 直近1年間の文化芸術活動以外の仕事で、新型コロナウイルス感染症の影響による損失はありましたか？(N=233)



問 14 新型コロナウイルス感染症の影響により【現在困っていること】（複数回答）

「お客さんが戻ってこないこと」（54.6%）、「感染者や濃厚接触者が出た場合の対処」（52.2%）、「創作発表の機会が失われたこと」（42.4%）、「生計の見通しが立たないこと」（29.0%）、「公演やイベント前の検査の有無」（22.4%）、「今後の活動の予定が作成できないこと」（22.2%）、「補償や給付金などの支援策が分からないこと」（21.2%）となっています。

問 14 新型コロナウイルス感染症の影響により、あなたが【現在困っていること】を教えてください。（N=410）



【その他】の場合の自由記述欄について： 以下の 24 件の回答がありました。

「補助金頼みになりはじめた自分を含めた業界のやる気のないメンタル」

「補助金が終了となった途端、ライブハウスが値段を上げる所が増えると情報が入っています。そうなれば、集客ある人しか使えないが、集客ある人が今本当に少ない。そうするとライブハウス、ホールで公演ができないといった未来が想像できます。」

「舞台上の人数を制限しなければならないため、合唱の人数を減らす、オーケストラ伴奏をやめてオルガンやピアノ伴奏にする、舞台の並びを変えるなどの対策が必要になり、演目の変更、演奏形式の妥協によりクオリティ維持が困難な事がある。また歌手のマスク着用により演奏クオリティが低下することもある」

「不安定な賃金による人手不足」

「資金」

「支援等の申請の必要書類が多すぎかつ細かすぎて諦めてしまう。」

「公演中止のリスクが常に付きまとうこと」

「芸術が否定され、オンラインや静かな公演だけが求められる間に芸術への意欲が粉々にされた、自己が全否定されたまま心がふさいでいる」

「業界の将来の不安、支援策がもたらす功罪」

「急な感染で公演中止になる恐怖」

「客席の増席がし難い。劇場本来の定員数の座席組で集客することにためらい。舞台との距離、席と席との距離」

「感染対策への意識にバラつきがあること。」

「感染症対策のための手間が増えているのに加え、お客様とのコミュニケーションが取りづらくなっている」

「感染者が出た際の対応や公演中止に掛かる経費が負担出来ないこと。」

「歌を伴うため、ホテルのバーラウンジでの生演奏ができない。まだオフアワーが以前のように戻らない。オフアワーがあっても客席制限で客入りを制限する必要があるので収入が半分以下になりました。」

「演奏や歌唱に於けるマスクの着用がパフォーマンスに悪影響」

「ワーク等学ぶ場が開催されない」

「マスク着用での歌唱が辛い」

「マスクがないともっと幅が広がる」

「コロナの影響でパートの収入が減り、制作や発表の為の費用が十分に準備出来ない」

「オンライン常駐に関わる金銭的および時間的なコスト増加」

「イベント復活にあたり人材にたいしてニーズが上回っている」

「イベントによるインプットが少ない」

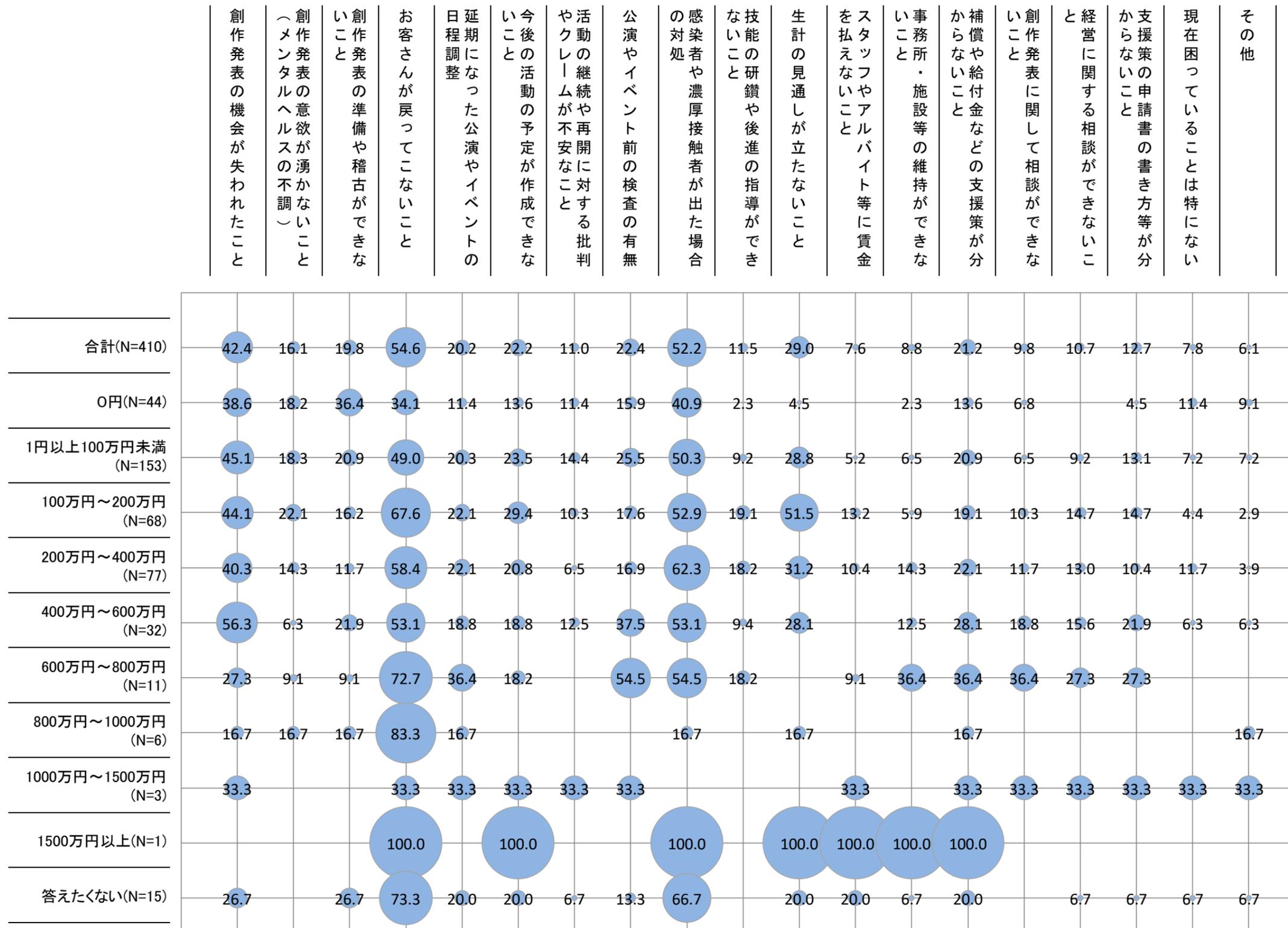
「イベントにコロナ理由や条件がつくこと（あること）」

**【文化芸術活動における直近の年度の総収入別でみる「新型コロナウイルス感染症の影響により【現在困っていること】】】**

「お客さんが戻ってこないこと」や「感染者や濃厚接触者が出た場合の対処」については、総収入が『800万円未満』では、困っていることの1、2位を占めています。

また、総収入が『1円以上600万円未満』では、「生計の見通しが立たないこと」が3割～5割を占めています。

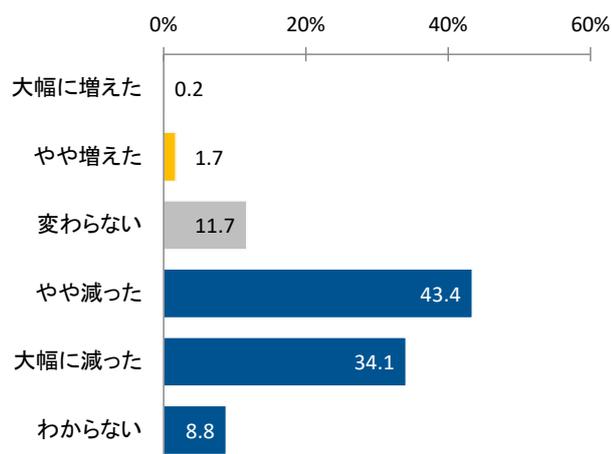
(問9 文化芸術活動における直近の年度の総収入) × 問14 新型コロナウイルス感染症の影響により、あなたが【現在困っていること】を教えてください。



問 15 新型コロナウイルス感染症の影響によるお客さんの増減

「大幅に増えた」(0.2%)、「やや増えた」(1.7%)を合わせて『増えた』は1.9%、  
「変わらない」は11.7%、「やや減った」(43.4%)と「大幅に減った」(34.1%)を合  
わせて『減った』は77.5%となっています。

問 15 新型コロナウイルス感染症の影響により、以前よりお客さんが増えて  
いるか、または減っているかについて教えてください。(N=410)



【主な活動地域（6地域）別でみた「新型コロナウイルス感染症の影響によるお客さんの増減」】

「大幅に減った」と「やや減った」を合わせた『減った』では、「南大阪地域」（45.1%）以外の地域は7～9割となっています。「大幅に減った」では、「大阪市中央区」（46.2%）、「東大阪地域」（42.3%）が他の市域より高くなっています。

（問5 主な活動地域（6地域））×問15 新型コロナウイルス感染症の影響により、以前よりお客さんが増えているか、または減っているかについて教えてください。

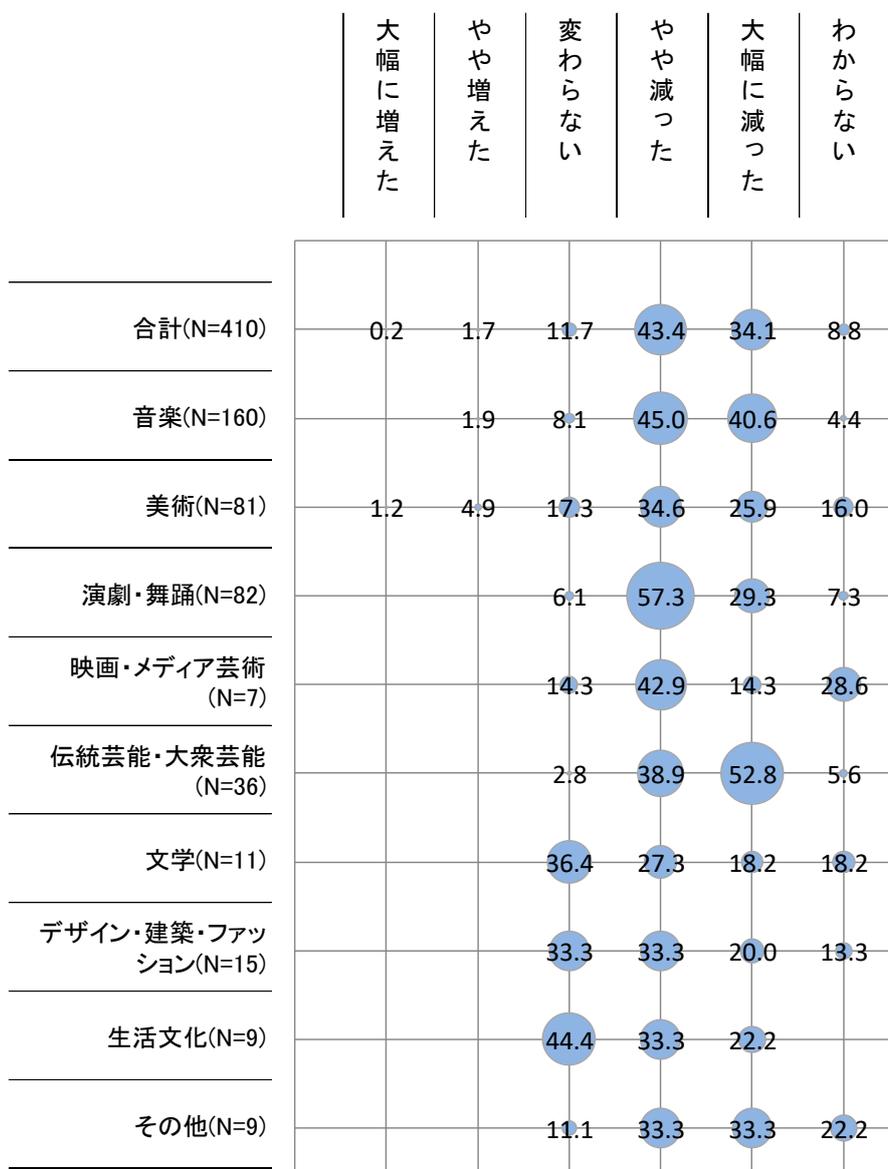


【表現分野別でみる「新型コロナウイルス感染症の影響によるお客さんの増減」】

「大幅に減った」と「やや減った」を合わせた『お客さんが減少した』では、「文学」を除く全ての表現分野において5割以上となっています。特に、「伝統芸能・大衆芸能」(91.7%)「演劇・舞踊」(86.6%)「音楽」(85.6%)の減少が顕著です。

「大幅に減った」では、「伝統芸能・大衆芸能」(52.8%)「音楽」(40.6%)が他の分野より高くなっています。

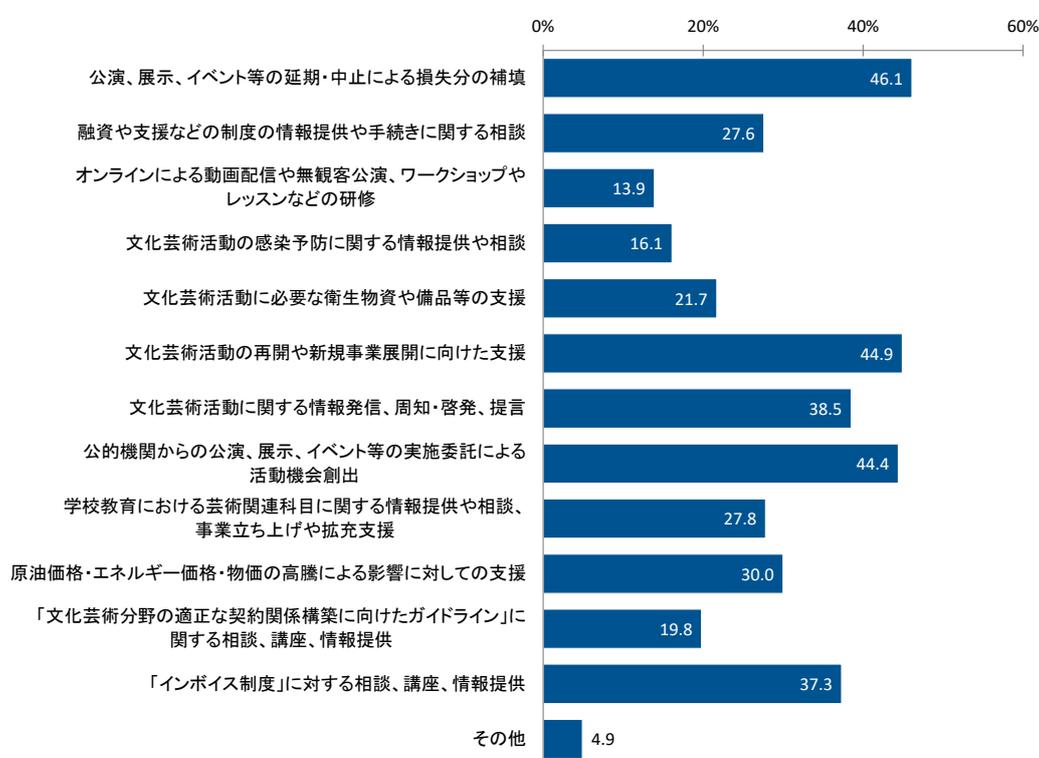
(問7 表現分野) × 問15 新型コロナウイルス感染症の影響により、以前よりお客さんが増えているか、または減っているかについて教えてください。



問 16 文化芸術活動に対してあなたが今後必要としている支援（複数回答）

「公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の補填」（46.1%）、「文化芸術活動の再開や新規事業展開に向けた支援」（44.9%）、「公的機関からの公演、展示、イベント等の実施委託による活動機会創出」（44.4%）、「文化芸術活動に関する情報発信、周知・啓発、提言」（38.5%）、「「インボイス制度」に対する相談、講座、情報提供」（37.3%）、「原油価格・エネルギー価格・物価の高騰による影響に対しての支援」（30.0%）、「学校教育における芸術関連科目に関する情報提供や相談、事業立ち上げや拡充支援」（27.8%）、「融資や支援などの制度の情報提供や手続きに関する相談」（27.6%）、「文化芸術活動に必要な衛生物資や備品等の支援」（21.7%）となっています。

問 16 あなたが文化芸術活動を行うにあたり、今後必要としている支援を教えてください。（N=410）



【その他】の場合の自由記述欄について：以下の18件の回答がありました。

「労働基準の見直し」

「練習場所の確保(拒絶防止)」

「無観客ライブへの機材やスタッフ支援」

「未だライブハウスが悪の巣窟と思っている盲目的な羊国民が溢れています。箱に行くとも感染するといった科学的根拠もクソもない見解が改善されておられません。それもこれもメディアによる過剰なミスリードによる洗脳工作が解けていないからでしょう。ライブ=会社にも家族にも堂々に行って問題がない場所と、改めて正式な場所で発表してもらいたい。」

「補助金等の手続きの明確化。申請受付担当者によって判断や対応が変わる事の無いようルールや基準を明確にする事。現場の実態を踏まえた補助金制度にする事。」

「文化芸術従事者向けの育成プログラム」

「特に無し」

「長い期間でみた文化、音楽に対する裾野を広げる運動への支援」

「相談できる場所・機会の拡充」

「創客、アウトリーチ」

「困りごとが言語化できない方を見かけることが多いので、もやもやを話せる場があればいいのではないのでしょうか。」

「継続的な支援」

「金銭的支援」

「感染症対策とやらを一刻も早く撤廃してほしい」

「学校公演とか幼稚園公演とか自治体主催の町中ライブとかたくさん行っていたのにやらないのが当たり前になってしまいました。音楽もオンラインでいいみたいな風潮ができあがってしまいました。生の音楽聴こう！再び演奏しよう！とコロナで眠ってしまったたくさんの音楽家たちに意欲をかきたてて演奏しなくなるように「演奏の機会」と「ギャラ」と「お客さん」が準備された、集客と企画をしなくてもまずは演奏して仕事になる空間と場がたくさん提供されるように戻してほしい。」

「どうすれば、お客さんがまた足を運んでくれるのか。オンラインでのライブ以外に方法はないのか。試行錯誤や模索の場がほしい。」

「できるだけ自力でやっていきたいです。」

「インボイス制度の廃止、消費税撤廃」

【主な活動地域（6地域）別でみた「文化芸術活動を行うにあたり、今後必要としている支援」】

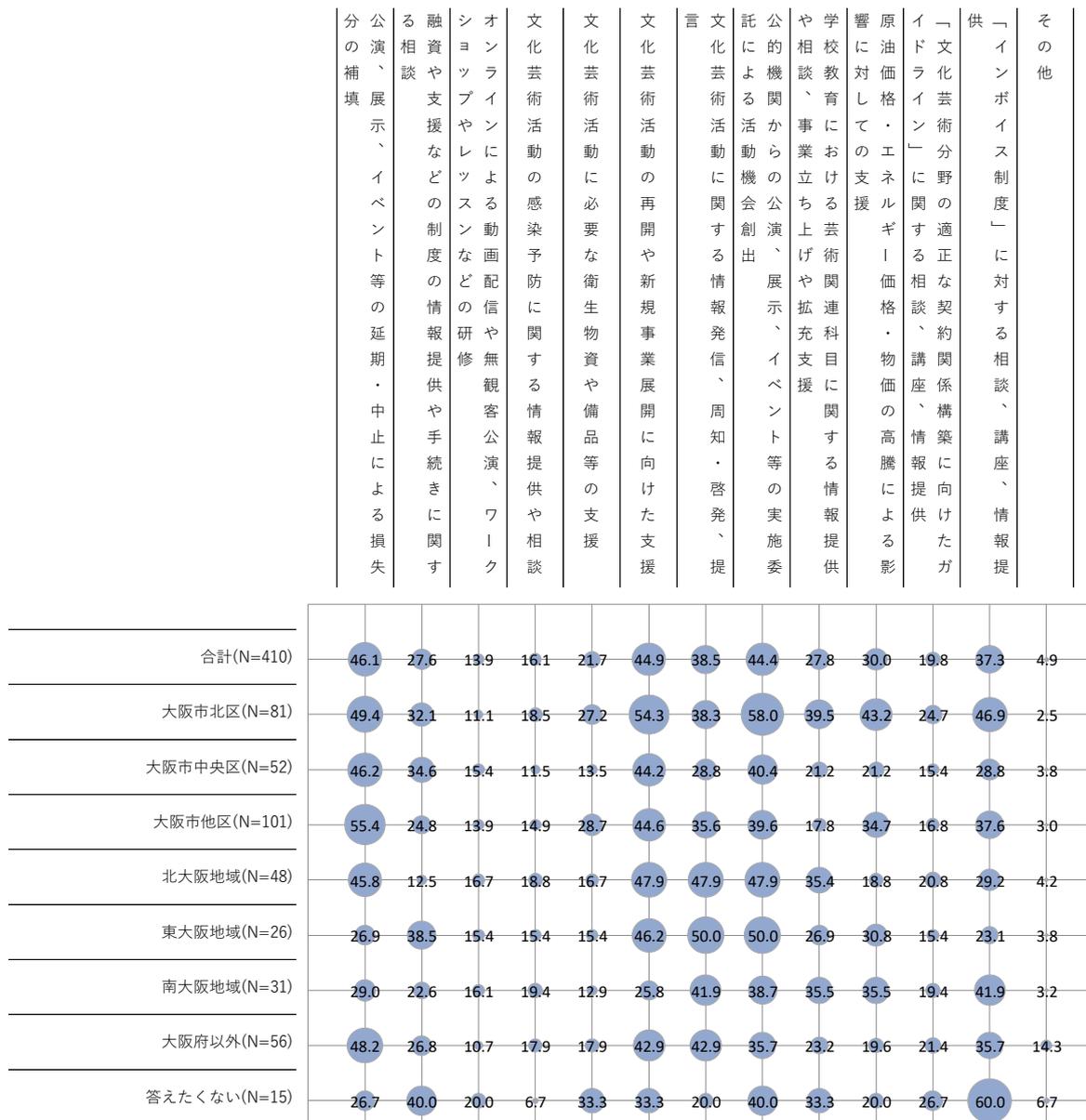
「公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の補填」では、「東大阪地域」(26.9%)「南大阪地域」(29.0%)を除いた地域は5割前後となっています。

「文化芸術活動の再開や新規事業展開に向けた支援」では、「南大阪地域」(25.8%)を除いた地域は4～5割となっています。

「公的機関からの公演、展示、イベント等の実施委託による活動機会創出」では、「大阪市北区」(58.0%)、「東大阪地域」(50.0%)、北大阪地域(47.9%)が他の地域より高くなっています。

「文化芸術活動に関する情報発信、周知・啓発、提言」では、「東大阪地域」(50.0%)、「北大阪地域」(47.9%)は他の地域より高くなっています。

(問5 主な活動地域（6地域）) × 問16 あなたが文化芸術活動を行うにあたり、今後必要としている支援を教えてください。



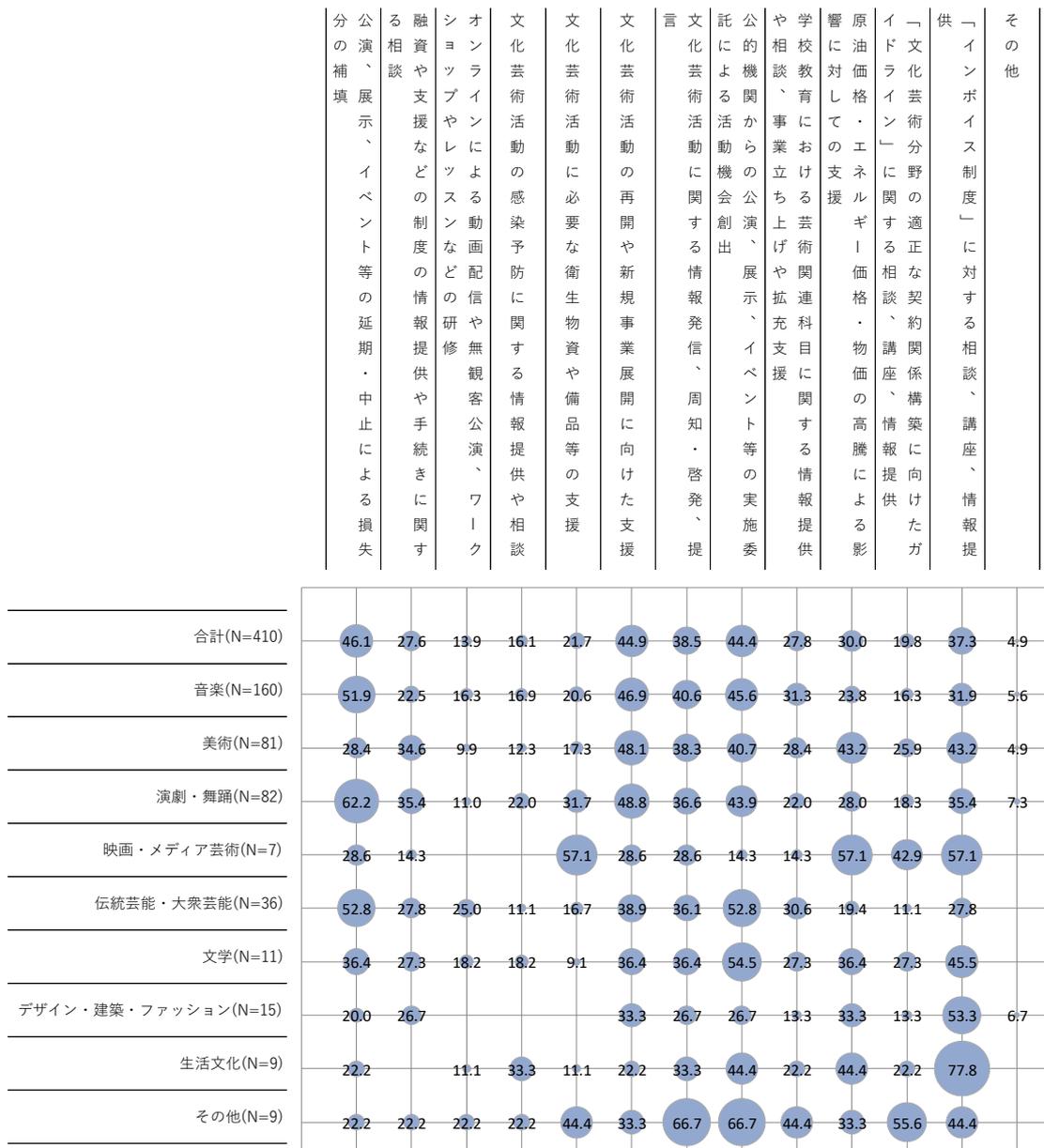
【表現分野別でみた「文化芸術活動を行うにあたり、今後必要としている支援」】

「公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の補填」では、「演劇・舞踊」(62.2%)、「伝統芸能・大衆芸能」(52.8%)、「音楽」(51.9%)は他の表現分野より高くなっています。

「文化芸術活動の再開や新規事業展開に向けた支援」では、「演劇・舞踊」(48.8%)、「美術」(48.1%)、「音楽」(46.9%)は他の表現分野より高くなっています。

「公的機関からの公演、展示、イベント等の実施委託による活動機会創出」では、「文学」(54.5%)、「伝統芸能・大衆芸能」(52.8%)、「音楽」(45.6%)が他の表現分野より高くなっています。

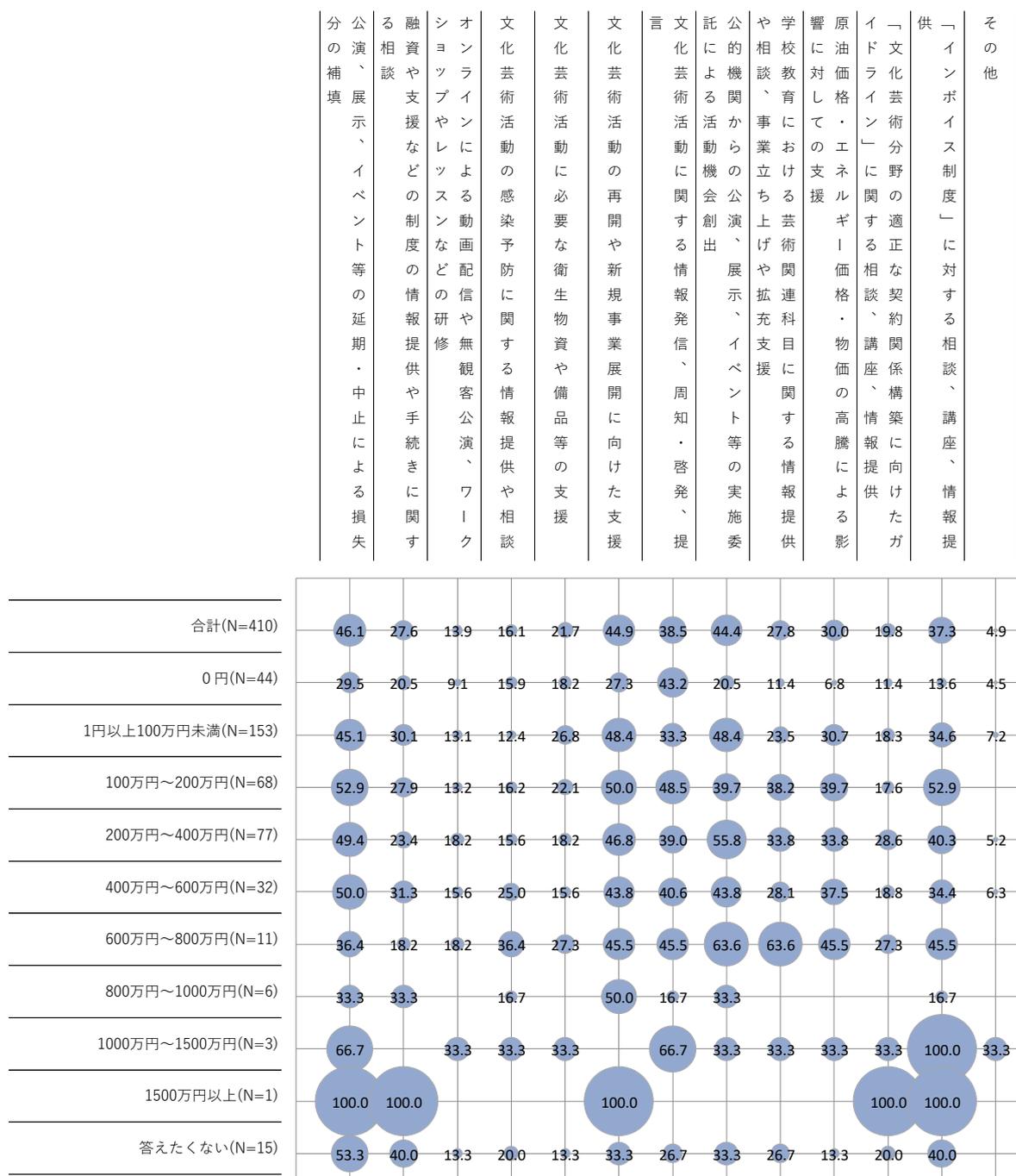
(問7 表現分野) × 問16 あなたが文化芸術活動を行うにあたり、今後必要としている支援を教えてください。



【文化芸術活動における直近の年度の総収入別でみた「今後必要としている支援」】

総収入が『600万円未満』では、「公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の補填」による直接的な経済支援に加え、「文化芸術活動の再開や新規事業展開に向けた支援」への支援要望が顕著ですが、総収入が『600万円～800万円未満』では、「公的機関からの公演、展示、イベント等の実施委託による活動機会創出」・「学校教育における芸術関連科目に関する情報提供や相談、事業立ち上げや拡充支援」が1、2位を占めています。

(問9 文化芸術活動における直近の年度の総収入) × 問16 あなたが文化芸術活動を行うにあたり、今後必要としている支援を教えてください。

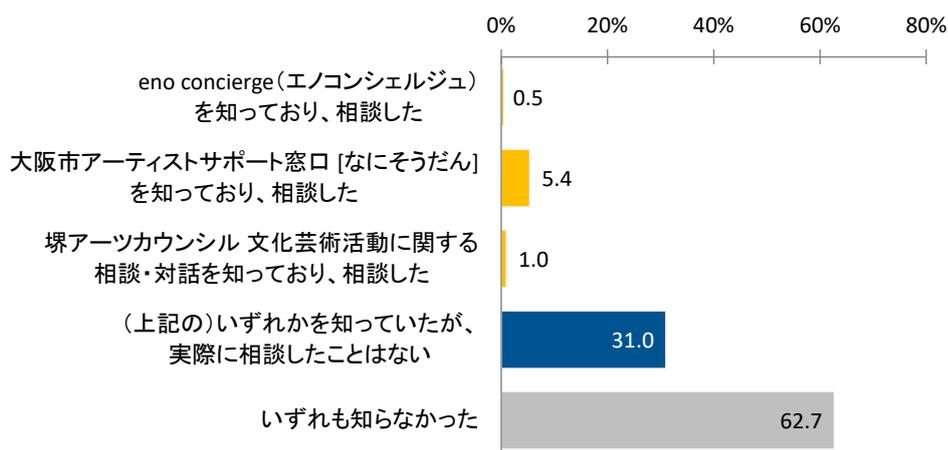


問 17 大阪府内にアーティストや文化芸術団体の相談窓口があることを知っていますか？また、実際に相談したことはありますか？（複数回答）

※相談窓口：「eno concierge（エノコンシェルジュ）」、「大阪市アーティストサポート窓口 [なにそうだん]」、「堺アーツカウンシル 文化芸術活動に関する相談・対話」

「大阪市アーティストサポート窓口 [なにそうだん] を知っており、相談した」（5.4%）、「堺アーツカウンシル 文化芸術活動に関する相談・対話を知っており、相談した」（1.0%）「eno concierge（エノコンシェルジュ）を知っており、相談した」（0.5%）、「（上記の）いずれかを知っていたが、実際に相談したことはない」（31.0%）で、『知っていた』（37.3%）、「いずれも知らなかった」（62.7%）となっています。

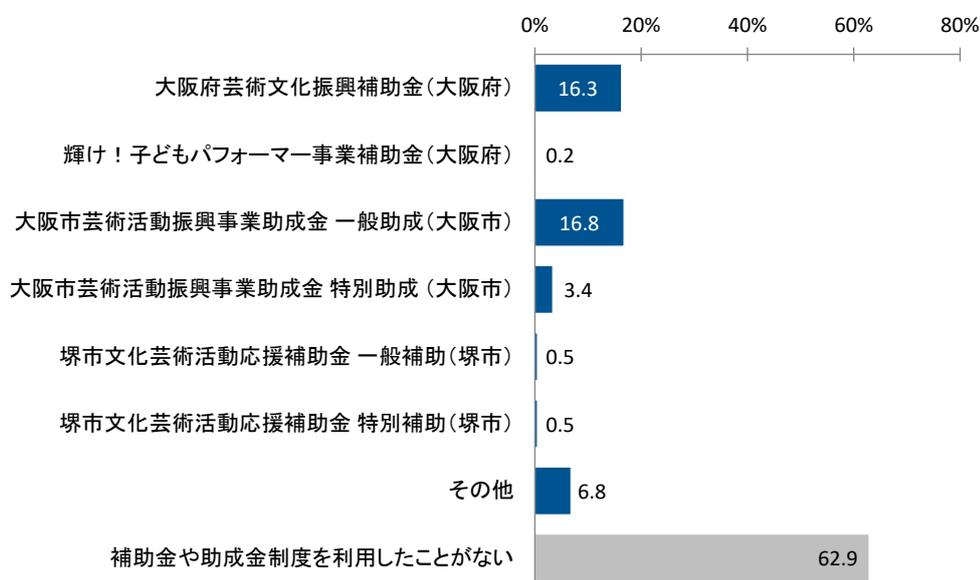
問 17 あなたは大阪府内にアーティストや文化芸術団体の相談窓口があることを知っていますか？また、実際に相談したことはありますか？（N=410）



問 18 大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村が行っている、文化芸術活動を支援する補助金や助成金制度を利用したことがありますか？（複数回答）

「大阪市芸術活動振興事業助成金 一般助成（大阪市）」（16.8%）、「大阪府芸術文化振興補助金（大阪府）」（16.3%）、「その他」（6.8%）、「大阪市芸術活動振興事業助成金 特別助成（大阪市）」（3.4%）、「堺市文化芸術活動応援補助金 一般補助（堺市）」（0.5%）、「堺市文化芸術活動応援補助金 特別補助（堺市）」（0.5%）、「輝け！子どもパフォーマー事業補助金（大阪府）」（0.2%）で、『補助金や助成金制度を利用したことがある』（37.1%）、「補助金や助成金制度を利用したことがない」（62.9%）となっています。

問 18 大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村が行っている、文化芸術活動を支援する補助金や助成金制度を利用したことがありますか？（N=410）



【その他】の場合の自由記述欄について：以下の 21 件の回答がありました。

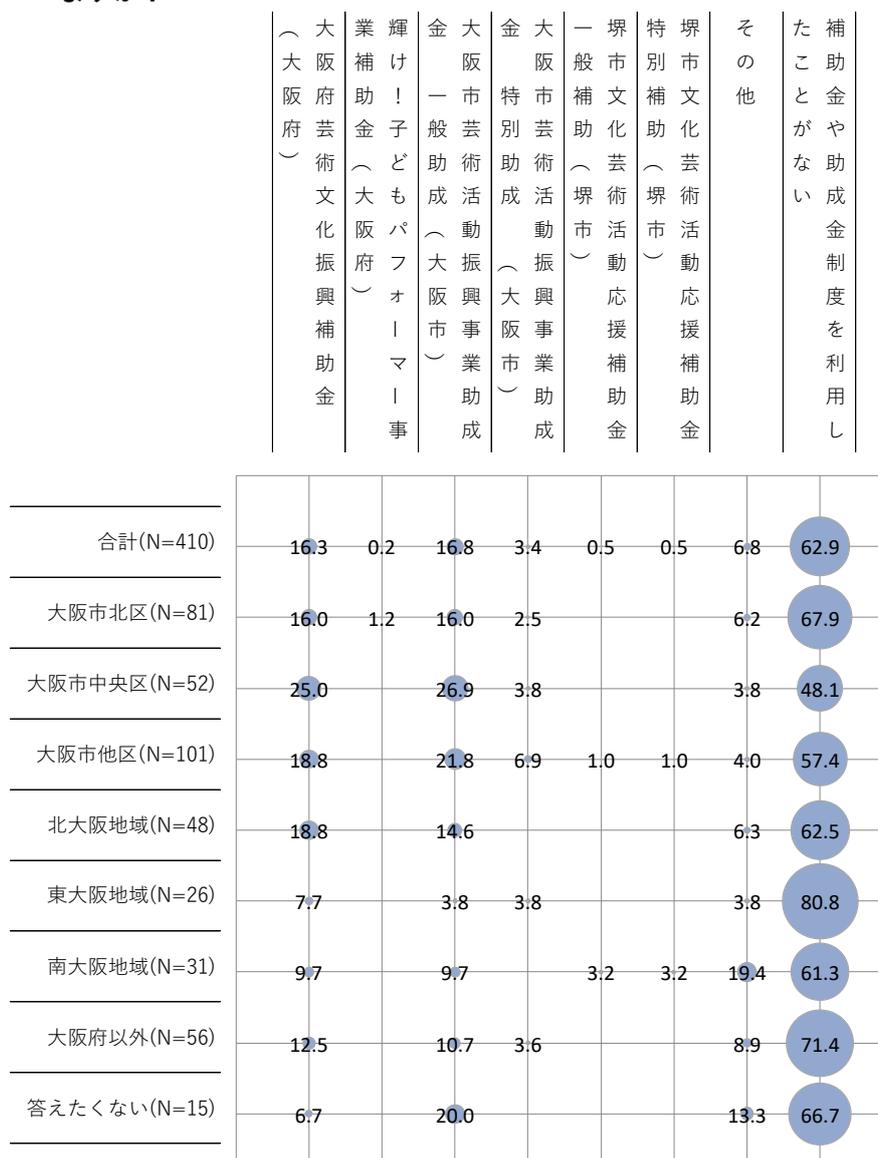
- 「和泉市市民活動推進支援事業」
- 「文化庁の補助金」
- 「文化庁 AFF2」
- 「AFF」
- 「文化庁」
- 「奈良市の補助金」
- 「知らないし知っても制度が難しすぎて多分使うのを断念しよう」
- 「知ってはいるが、活動内容に当てはまらず利用出来ない」
- 「大阪文化芸術創出事業 活動支援補助金」× 3 件
- 「大阪文化芸術創出事業」× 2 件
- 「大阪府文化芸術創出事業補助金」
- 「大阪府芸術文化振興補助金に応募したが、落選した。そのため、援助を受けられていないです。」
- 「申請したが通らなかった」
- 「申請したが受けられなかった」
- 「事業復活支援金」
- 「国庫補助、企業・団体による助成」
- 「個人では利用していないが、所属する合唱団等で利用していると思われる」
- 「アーツサポート関西」

【主な活動地域（6地域）別でみた「文化芸術活動を支援する補助金や助成金制度の利用状況】

大阪府芸術文化振興補助金（大阪府）」では、「大阪市中心区」（25.0%）、「大阪市他区」（18.8%）「北大阪地域」（18.8%）、「大阪市北区」（16.0%）の順に利用した経験が多くなっています。また、「大阪市芸術活動振興事業助成金 一般助成（大阪市）」では、「大阪市中心区」（26.9%）、「大阪市他区」（21.8%）、「大阪市北区」（16.0%）、「北大阪地域」（14.6%）の順に利用した経験が多くなっており、それぞれの地域において他の地域よりもこれらの補助金・助成金を利用している傾向が高く見られます。

「補助金や助成金制度を利用したことがない」では、「東大阪地域」（80.8%）が最も高く、次いで「大阪市北区」（67.9%）、「北大阪地域」（62.5%）、「南大阪地域」（61.3%）で、「大阪府以外」は（71.4%）となっています。

（問5 主な活動地域（6地域） × 問18 大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村が行っている、文化芸術活動を支援する補助金や助成金制度を利用したことがありますか？

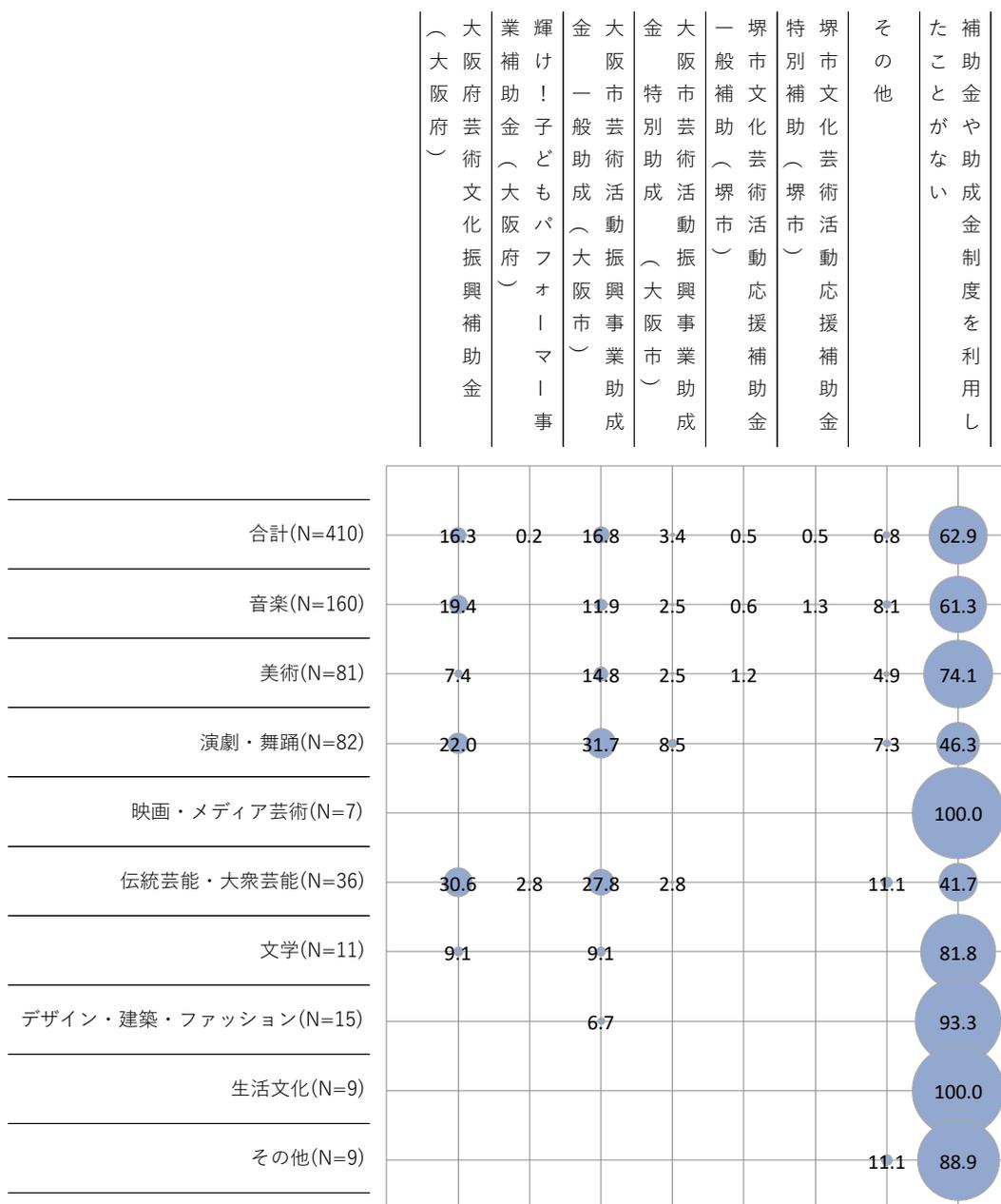


【表現分野別でみた「文化芸術活動を支援する補助金や助成金制度の利用状況】

「大阪府芸術文化振興補助金（大阪府）」では、「伝統芸能・大衆芸能」（30.6%）、  
「演劇・舞踊」（22.0%）、「音楽」（19.4%）の順に利用した割合が高くなっています。

「大阪市芸術活動振興事業助成金 一般助成（大阪市）」では、「演劇・舞踊」  
（31.7%）、「伝統芸能・大衆芸能」（27.8%）、「美術」（14.8%）の順に利用した割合が  
高くなっています。

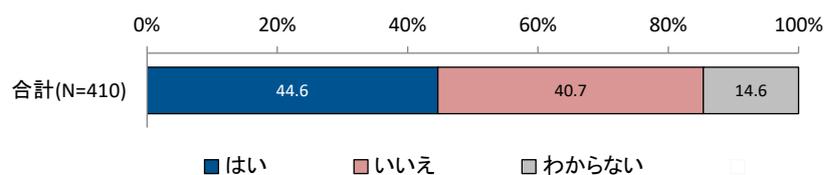
（問7 表現分野） × 問18 大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村が行っている、  
文化芸術活動を支援する補助金や助成金制度を利用したことがありますか？



問 19 大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村の文化事業に関わったことがありますか？（補助金・助成金事業や観客としての関わりは除く）

「はい」(44.6%)、「いいえ」(40.7%)、「わからない」(14.6%) となっています。

問 19 あなたはこれまで大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村の文化事業に関わったことがありますか？



【主な活動地域別でみた「大阪府や市町村の文化事業に関わった経験の有無】

「はい（文化事業に関わったことがある）」では、「南大阪地域」（58.1%）、「大阪市中央区」（48.1%）、「大阪市他区」（46.5%）、「東大阪地域」（46.2%）で、「大阪府以外」（51.8%）の順で多くなっています。

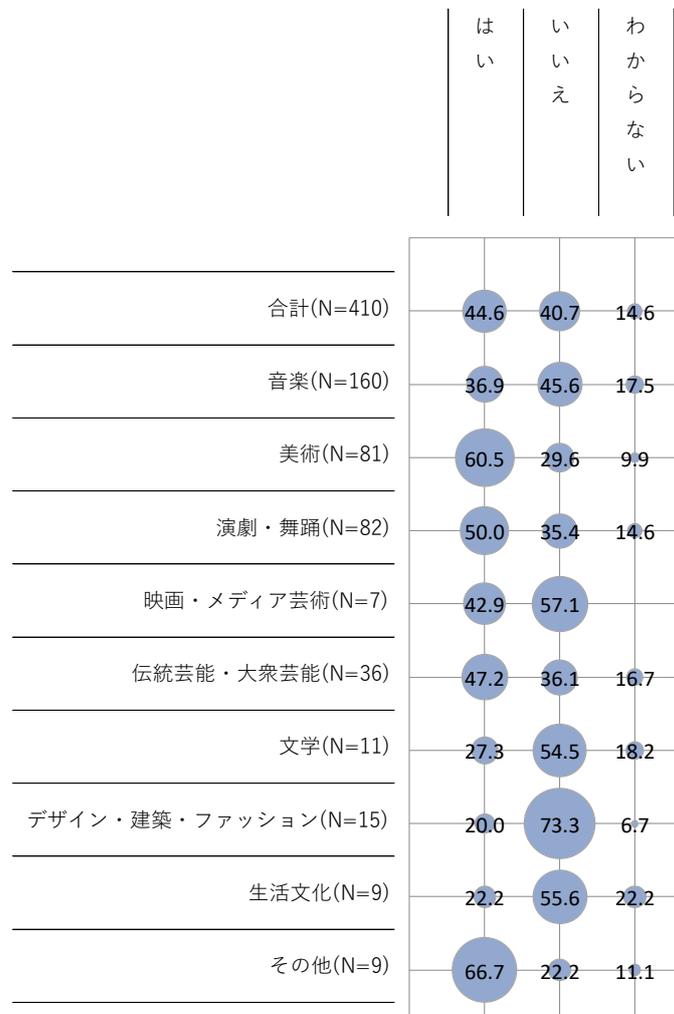
（問5 主な活動地域（6地域）） × 問19 あなたはこれまで大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村の文化事業に関わったことがありますか？



【表現分野別でみた「大阪府や市町村の文化事業に関わった経験の有無」】

「はい（文化事業に関わったことがある）」では、「美術」（60.5%）、「演劇・舞踊」（50.0%）、「伝統芸能・大衆芸能」（47.2%）の順で多くなっています。

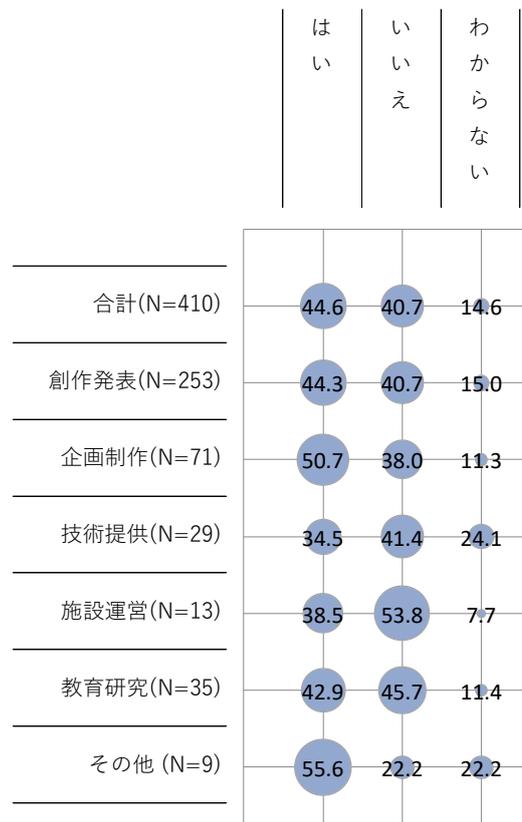
（問7 表現分野） × 問19 あなたはこれまで大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村の文化事業に関わったことがありますか？



【技能分野別でみた「大阪府や市町村の文化事業に関わった経験の有無」】

「はい（文化事業に関わったことがある）」では、「企画制作」（50.7%）、「創作発表」（44.3%）、「教育研究」（42.9%）、「施設運営」（38.5%）、「技術提供」（34.5%）の順で高くなっています。

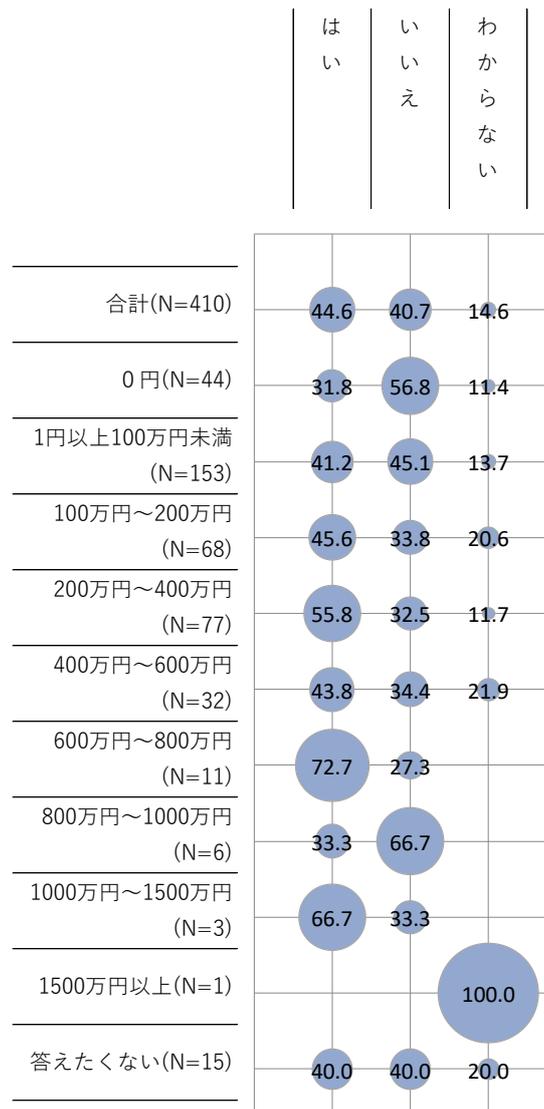
（問8 技能分野） × 問19 あなたはこれまで大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村の文化事業に関わったことがありますか？



【文化芸術活動における直近の年度の総収入別でみた「大阪府や市町村の文化事業に関わった経験の有無】

「はい（文化事業に関わったことがある）」では、「600万円（以上）～800万円（未満）」（72.7%）、「200万円（以上）～400万円（未満）」（55.8%）となっています。

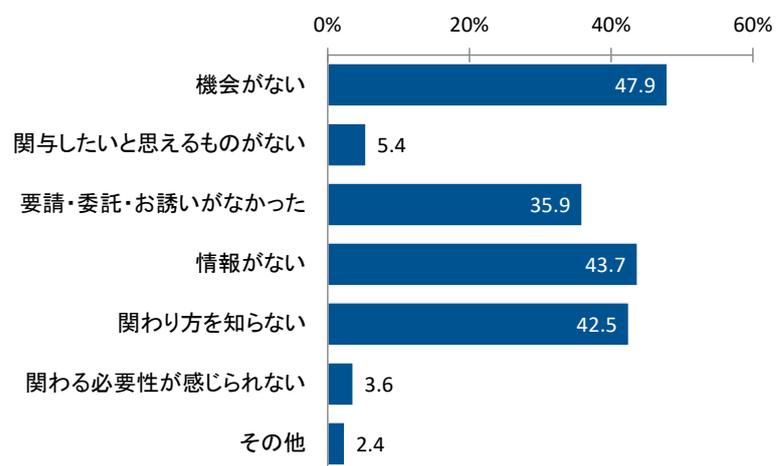
（問9 文化芸術活動における直近の年度の総収入） × 問19 あなたはこれまで大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村の文化事業に関わったことがありますか？



問 19-1 問 19 で「いいえ」と答えた理由（複数回答）

「機会がない」（47.9%）、「情報がない」（43.7%）、「関わり方を知らない」（42.5%）、「要請・委託・お誘いがなかった」（35.9%）となっています。

問 19-1 問 19 に「いいえ」と答えた方は、その理由を教えてください。  
(N=167)



【その他】の場合の自由記述欄について：以下の2件の回答がありました。

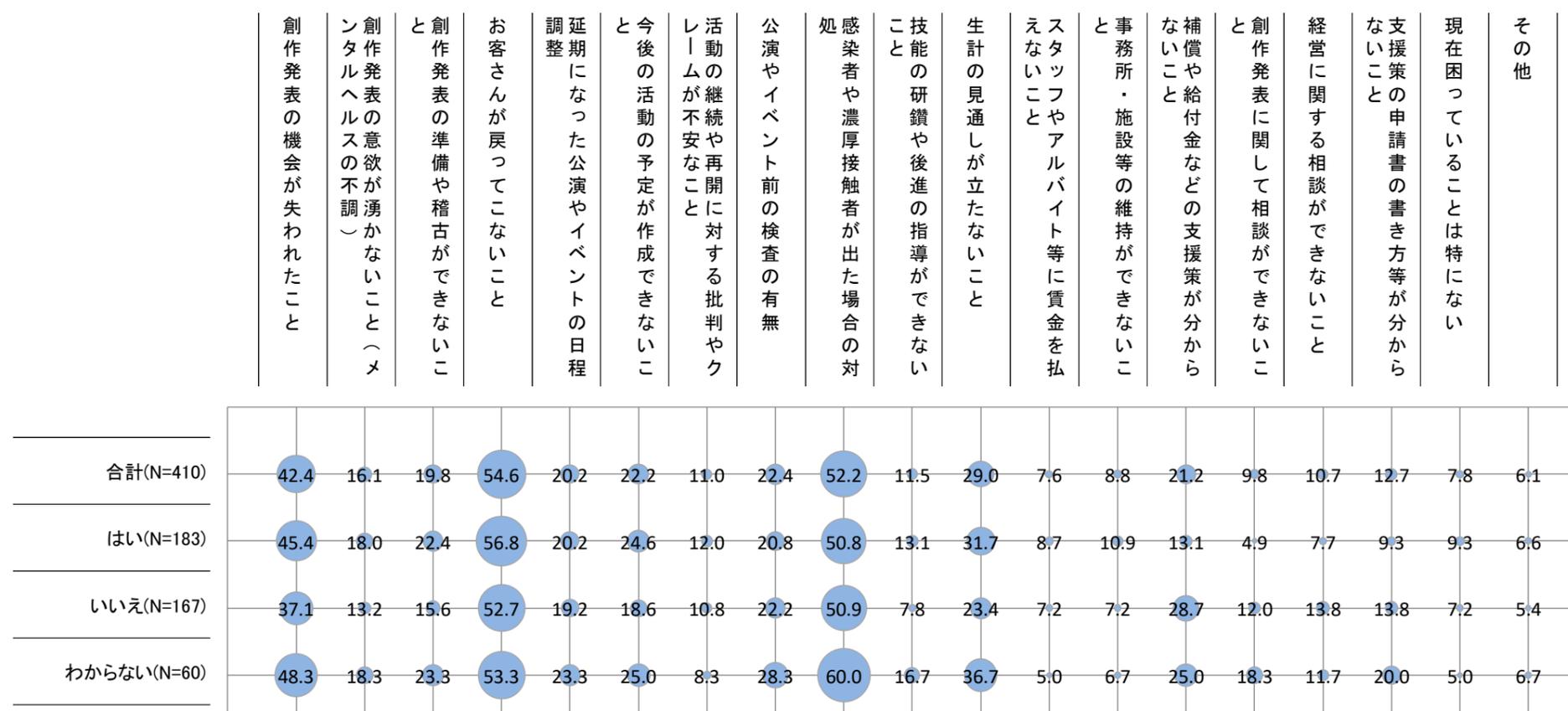
「大阪府芸術文化振興補助金に応募したが、落選した。そのため、援助を受けられていません。」

「時間が無い」

**【「大阪府や市町村の文化事業に関わった経験の有無」別でみる新型コロナウイルス感染症の影響により【現在困っていること】】**

大阪府や市町村の文化事業に関わった経験の有無では大きな差はみられませんが、「補償や給付金などの支援策が分からないこと」では、「いいえ（文化事業に関わったことがない）」（28.7%）が「はい（文化事業に関わったことがある）」（13.1%）より割合が高くなっています。

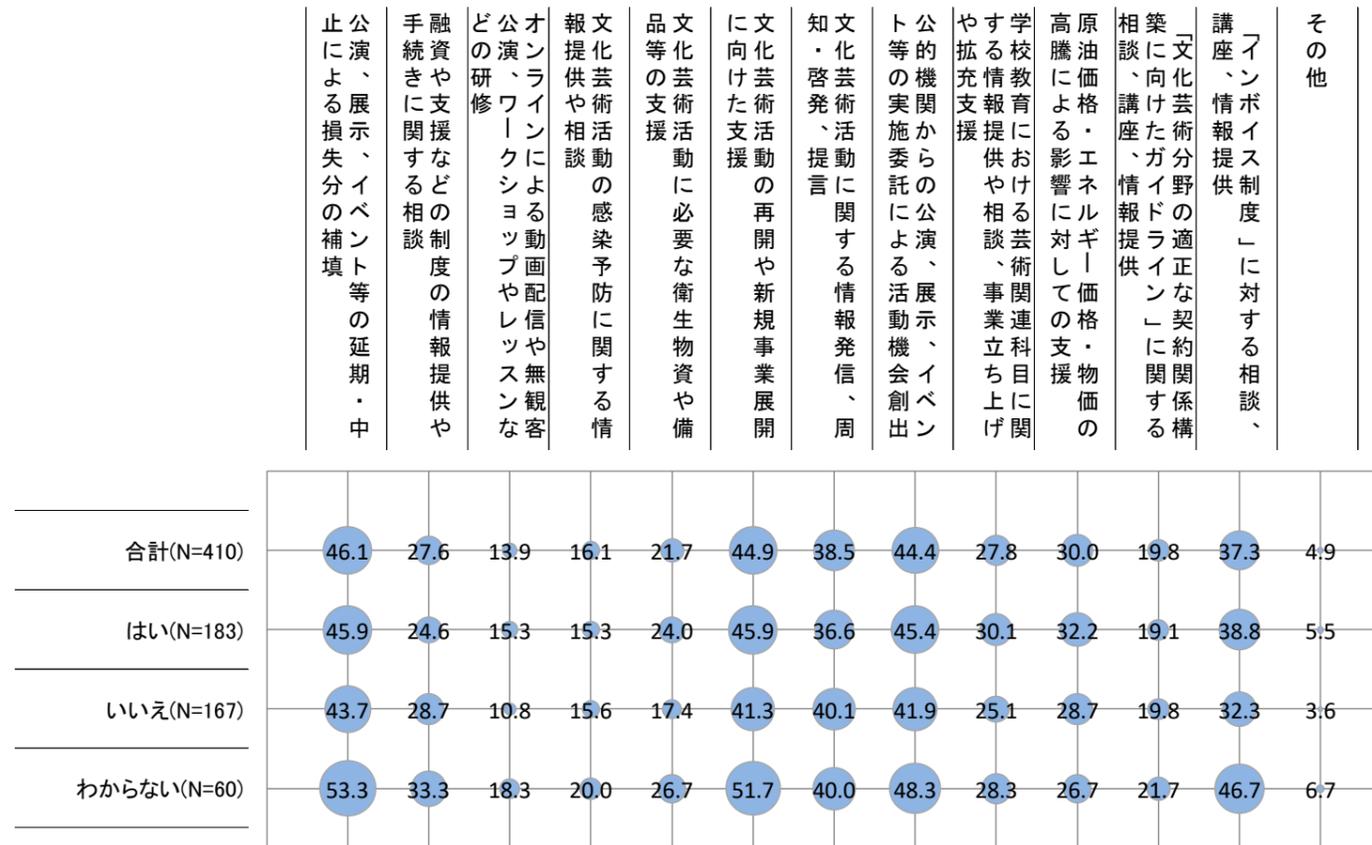
問 19 大阪府や市町村の文化事業に関わった経験の有無 × (問 14 新型コロナウイルス感染症の影響により、あなたが【現在困っていること】を教えてください。)



【「大阪府や市町村の文化事業に関わった経験の有無」別でみる「今後必要としている支援」】

大阪府や府内市町村の文化事業に関わった経験の有無で、「今後必要としている支援」の項目に大きな差はみられません。

問 19 大阪府や市町村の文化事業に関わった経験の有無 × (問 16 あなたが文化芸術活動を行うにあたり、今後必要としている支援を教えてください。)

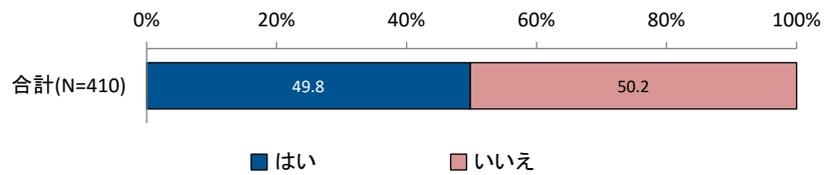


### 3. 大阪アーツカウンシル・堺アーツカウンシルについて

問 20 大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルのことを知っていますか？

「はい」(49.8%)、「いいえ」(50.2%) となっています。

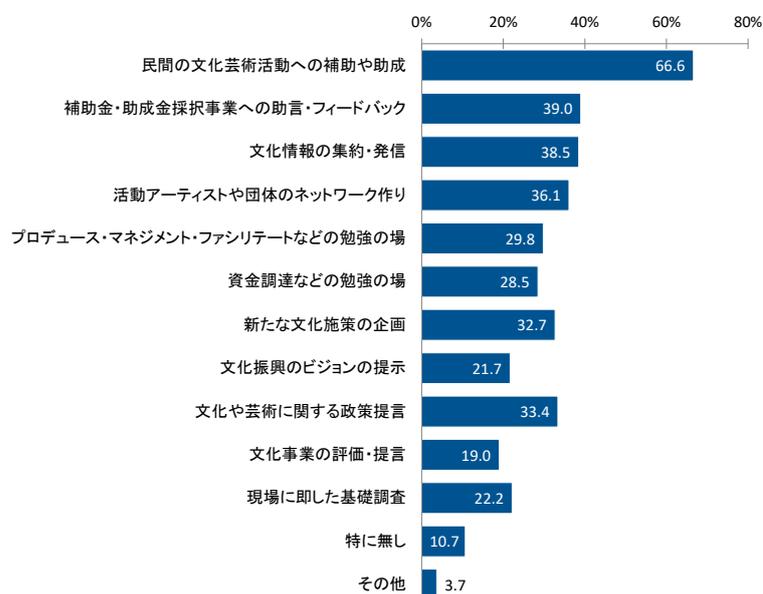
問 20 大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルのことを知っていますか？



問 21 大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルに期待する役割（複数回答）

「民間の文化芸術活動への補助や助成」（66.6%）、「補助金・助成金採択事業への助言・フィードバック」（39.0%）、「文化情報の集約・発信」（38.5%）、「活動アーティストや団体のネットワーク作り」（36.1%）、「文化や芸術に関する政策提言」（33.4%）、「新たな文化施策の企画」（32.7%）、「プロデュース・マネジメント・ファシリテートなどの勉強の場」（29.8%）、「資金調達などの勉強の場」（28.5%）、「現場に即した基礎調査」（22.2%）、「文化振興のビジョンの提示」（21.7%）、「文化事業の評価・提言」（19.0%）、「特に無し」（10.7%）、「その他」（3.7%）となっています。

問 21 大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルに期待する役割はありますか？ある場合、その内容について教えてください。（N=410）



【その他】の場合の自由記述欄について：以下の 15 件の回答がありました。

- 「予算の拡充による、体制の強化。アーツカウンシルが主催する事業の実施」
- 「文化芸術として本当に採用されるべき内容が落ちていたり、内容のあまりそぐわないものが採用されていることにより、真面目に芸術と向き合っている人にちゃんとお金が降りていない事への精査をお願い出来ればよいと思います。」
- 「当方ミュージシャンですが、補助金ははっきり申し上げて文化回復への道にはつながりません。客増やさないといけない。その為に国民が今何を躊躇って会場へ来れないか。その打開策を生まない限りはライブ文化は必ず死んでいきます。」
- 「自然科学系博物館も含めた連携」
- 「在阪経済界とアーティストの交流や勉強会」
- 「行政への適切な働きかけ」
- 「公平な審査」
- 「継続的な事業（アートプロジェクト）運営」
- 「期待できないため大阪府内での活動を諦め京都市内に活動拠点を移さざるを得なかった。大阪で踏ん張ってきましたが、キャリア半ばにして残念です。」
- 「頑張っ欲しい」
- 「官公ではできない、活動者に対するゆるい支援。10代など若年層への支援。」
- 「演奏の仕事の場の機会の創出と提供と集客」
- 「わからない」
- 「そもそもどういうものか知らない」
- 「アーティストの雇用の場の創出、働き方の提案、ハラスメント防止の研修・講習など」

## 【主な活動地域（6地域）別でみた「大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルに期待する役割】

「民間の文化芸術活動への補助や助成」では、すべての地域が6割以上となっています。

「補助金・助成金採択事業への助言・フィードバック」では、「東大阪地域」（50.0%）、「大阪府以外」（46.4%）、「大阪市北区」（44.4%）、「大阪市中央区」（42.3%）は他の地域より高くなっています。

「文化情報の集約・発信」では、「東大阪地域」（57.7%）、「大阪府以外」（44.6%）、「大阪市北区」（42.0%）は他の地域より高くなっています。

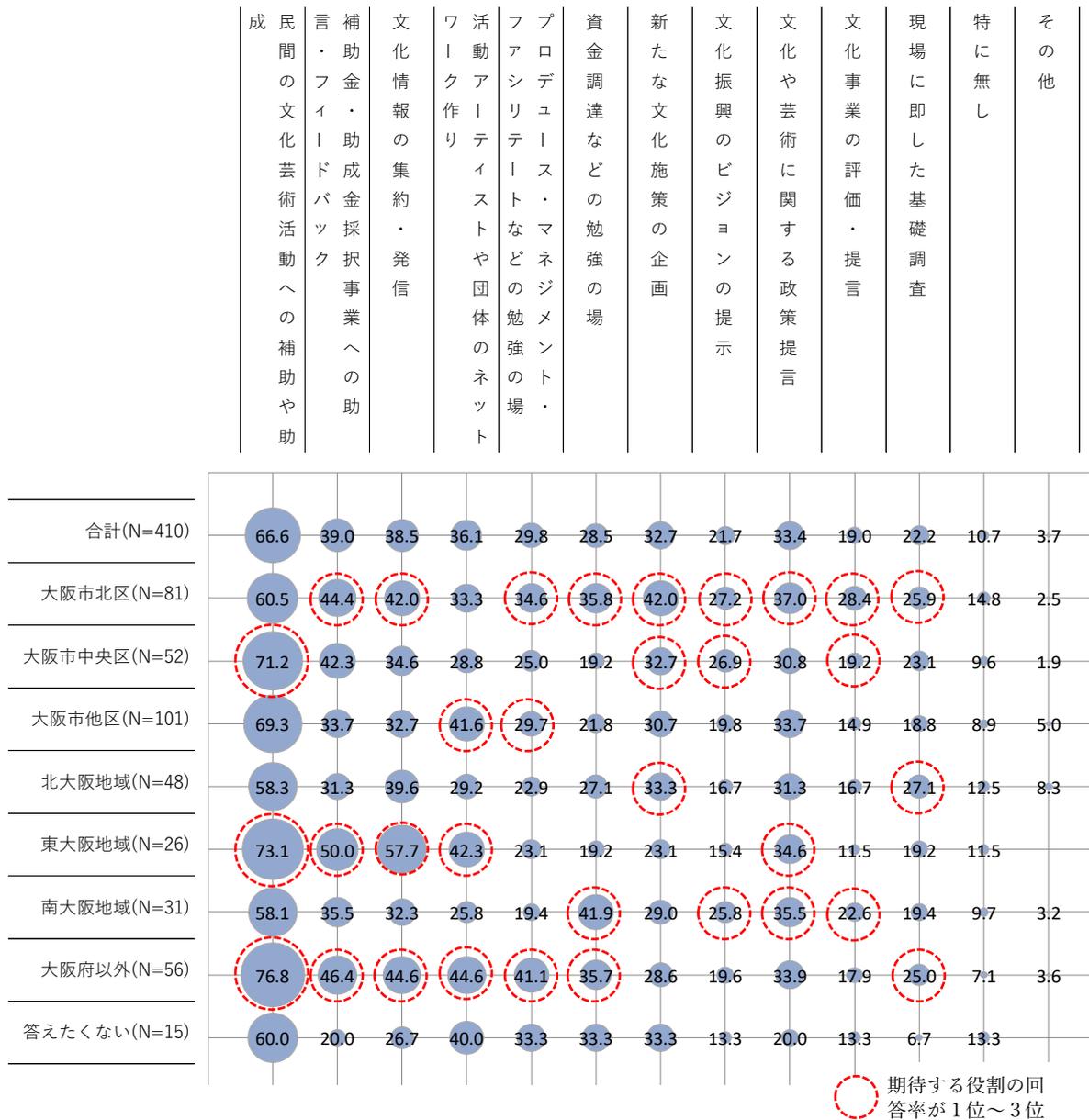
「活動アーティストや団体のネットワーク作り」では、「大阪府以外」（44.6%）、「東大阪地域」（42.3%）、「大阪市他区」（41.6%）は他の地域より高くなっています。

「プロデュース・マネジメント・ファシリテートなどの勉強の場」では「大阪府以外」（41.1%）、「大阪市北区」（34.6%）、「資金調達などの勉強の場」では「南大阪地域」（41.9%）、「大阪市北区」（35.8%）、「大阪府以外」（35.7%）、「新たな文化施策の企画」では「大阪市北区」（42.0%）が他の地域より高くなっています。

期待する役割の回答率が1位～3位の項目数をみると、「大阪市北区」は9個、「大阪府以外」は7個で、「東大阪地域」は5個、大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルに期待する役割が強いとみられます。

また、「民間の文化芸術活動への補助や助成」では、「南大阪地域」（58.1%）は最も低く、財政的支援への期待よりも施策・政策提案などへの役割期待が強いとみられます。

(問5 主な活動地域(6地域)) × 問21 大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルに期待する役割はありますか?ある場合、その内容について教えてください。



#### 4. その他

問 22 2025 年に開催される大阪・関西万博の機運醸成に向けてどのような形で関わってみたいと考えますか？

回答者 410 人のうち、203 人から回答がありました。「関わりたい・関わるつもりである」(60.1%)、「条件によっては関わりたい」(3.4%)、「関わり方が不明」(3.4%)、「わからない・未定・特になし・検討中」(10.3%)、「関わりたくない・興味や関心がない」(13.3%) となっているほか、「参加機会・参加方法・参加条件などについての要望・希望」についての回答 (6.4%) もありました。

なお、回答内容の傾向にかかる分析については、117 ページ以降に掲載していません。

問 22 大阪・関西万博の機運醸成への関わり方

カテゴリー		件数 (件)	構成比 (%)
関わりたい・ 関わるつもりである	音楽	27	13.3
	美術	9	4.4
	演劇	5	2.5
	舞踊	2	1.0
	写真・映像	5	2.5
	伝統芸能・大衆芸能・生活文化	4	2.0
	企画・運営・技術	11	5.4
	文化・芸術教育	3	1.5
	イベント参加	14	6.9
	PRや情報発信	6	3.0
	ボランティア	2	1.0
	その他	34	16.7
	条件によっては関わりたい	7	3.4
関わり方が不明	7	3.4	
わからない・未定・特になし・検討中	21	10.3	
関わりたくない・興味や関心がない	27	13.3	
参加機会・参加方法・参加条件などについての要望・希望	13	6.4	
その他	6	3.0	
合計		203	100.0

問 23 文化芸術活動を取り巻く状況に対するご意見や今後の支援策についてのご提案、すでに実践されている取り組みなどがあれば、ご自由にお書きください。

回答者 410 人のうち、170 人から回答がありました。

構成比 (%) を計算するにあたり、回答が複数のカテゴリーに該当すると判断された場合は、該当するカテゴリーごとに 1 件として計上しているため、下記の表では回答の件数 = 総計 191 件と表記しています。

カテゴリー別で見ると、「補助金・助成金など経済的な支援について」(22.0%)、「その他の支援や施策などについて」(28.3%)、「大阪アーツカウンシルについて」(9.9%) が多くなっています。

なお、回答内容の傾向にかかる分析については、120 ページ以降に掲載しています。

**問 23 文化芸術活動に対するご意見や支援策のご提案、実践されている取り組みなど**

カテゴリー		件数 (件)	構成比 (%)
文化芸術活動を取り巻く状況に対する意見や今後の支援策についての提案・要望、その他コメントなど	補助金・助成金など経済的な支援について	42	22.0
	文化芸術のための施設や場所について	11	5.8
	広報・情報発信について	9	4.7
	人材・担い手の育成、活用について	6	3.1
	相談窓口について	6	3.1
	その他の支援や施策などについて	54	28.3
	大阪アーツカウンシルについて	19	9.9
	文化芸術に対する評価について	3	1.6
	感染症対策について	5	2.6
	他の都市との比較や関わりについて	3	1.6
実践している(または実践したい)取り組みについて		13	6.8
その他		20	10.5
総計		191	100.0

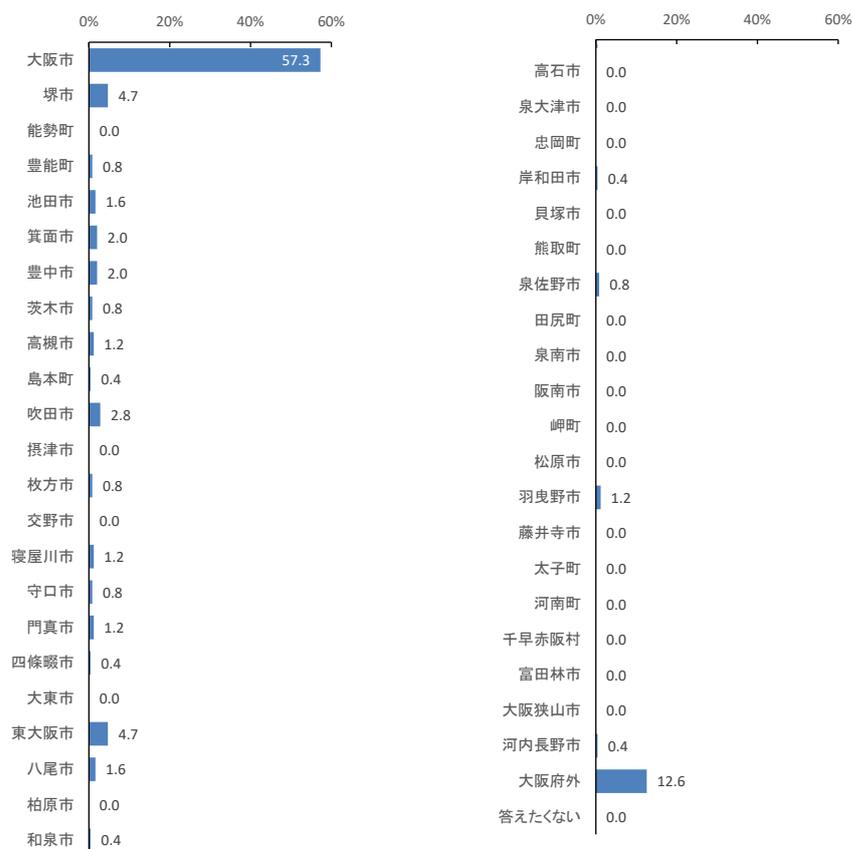
## 4 - 2 文化芸術関係者（団体・法人）

### 1. 回答者の属性

#### 問1 貴団体・事業所の所在地（主たる事業所等）

「大阪市」(57.3%)、「大阪府外」(12.6%)、「堺市」(4.7%)、「東大阪市」(4.7%)、「吹田市」(2.8%)、「箕面市」(2.0%)、「豊中市」(2.0%) となっています。

#### 問1 貴団体・事業所の所在地（主たる事業所等）を教えてください。(N=253)

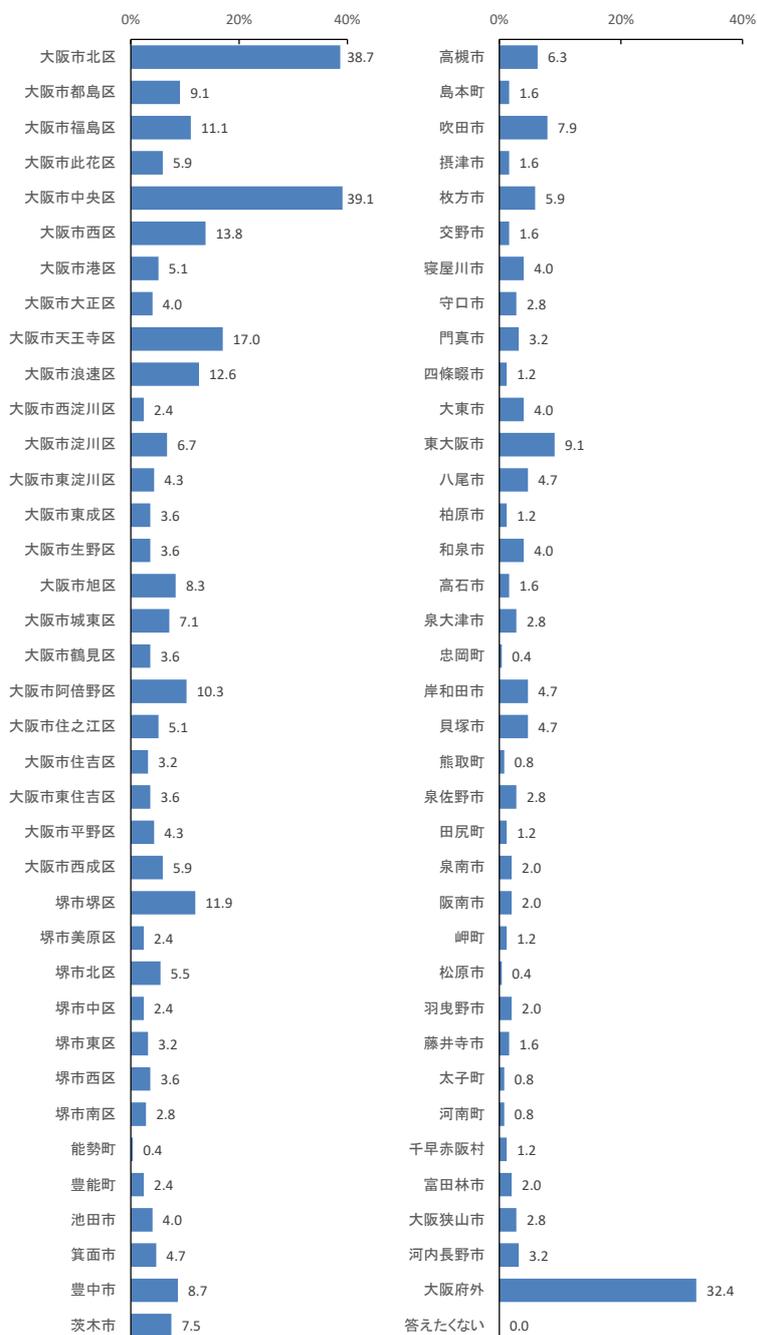


## 2. 貴団体・事業所の文化芸術活動について

### 問2 文化芸術活動を行っている活動地（複数回答）

「大阪市中央区」（39.1%）、「大阪市北区」（38.7%）、「大阪府外」（32.4%）、「大阪市天王寺区」（17.0%）、「大阪市西区」（13.8%）、「大阪市浪速区」（12.6%）、「堺市堺区」（11.9%）、「大阪市福島区」（11.1%）、「大阪市阿倍野区」（10.3%）となっています。

問2 貴団体・事業所が文化芸術活動を行っている活動地を全て教えてください。（N=253）



### 【表現分野別でみた「文化芸術活動を行っている活動地」】

表現分野別にみると、いずれの分野も「大阪市北区」「大阪市中央区」が活動の中心となっていますが、この2地区を除いて20%以上の活動地をみると、

「音楽(N=89)」は「大阪府外」(40.4%)となっています。

「美術(N=36)」は「大阪府外」(22.2%)となっています。

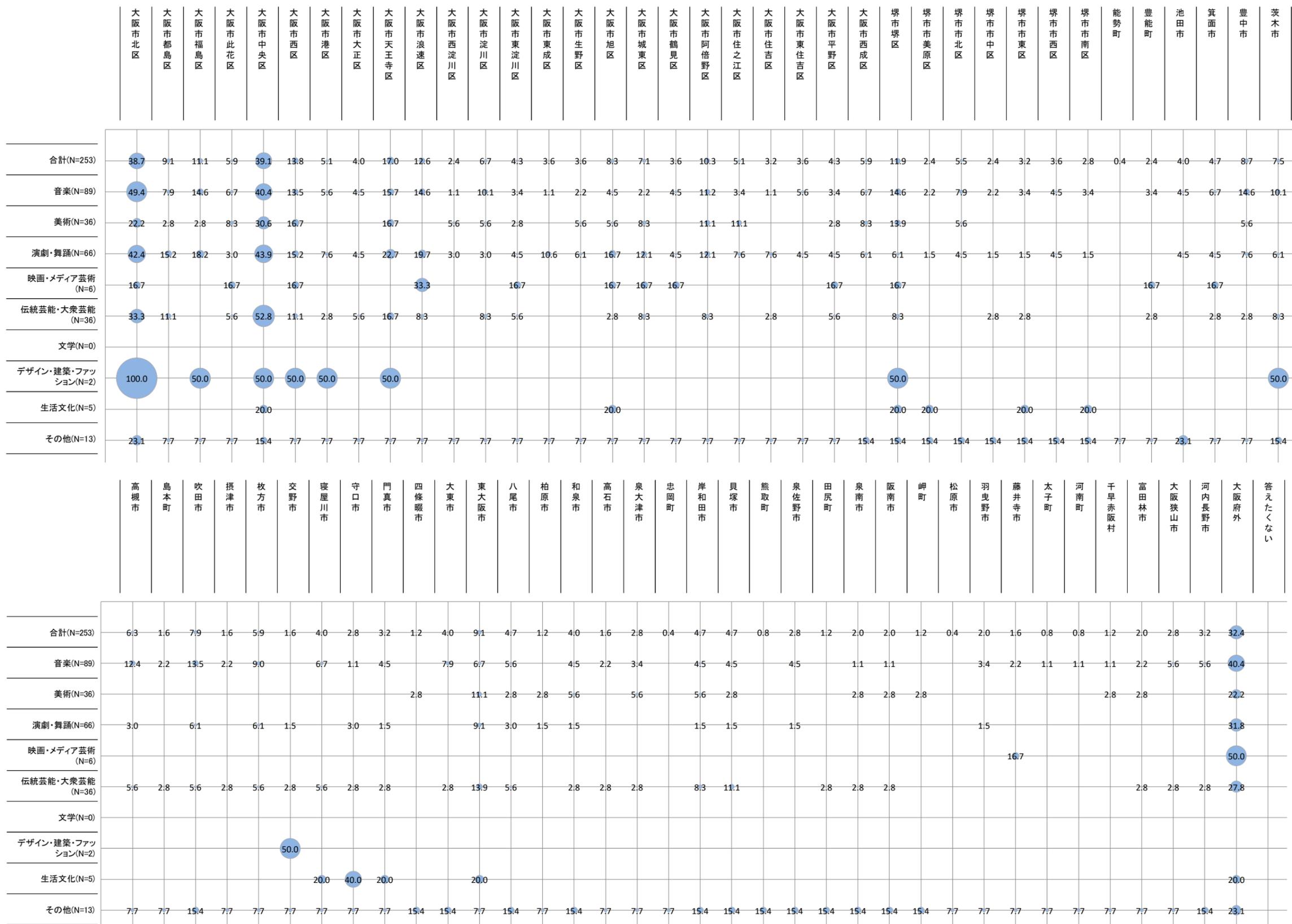
「演劇・舞踊(N=66)」は「大阪市天王寺区」(22.7%)、「大阪府外」(31.8%)となっています。

「伝統芸能・大衆芸能(N=36)」は、「大阪府外」(27.8%)となっています。

「その他(N=13)」は、「大阪府外」(23.1%)となっています。

以上のように、ほとんどの表現分野の活動地は大阪府内においては2つの地域に集中している中で、「演劇・舞踊(N=66)」における「大阪市天王寺区」は特徴的です。

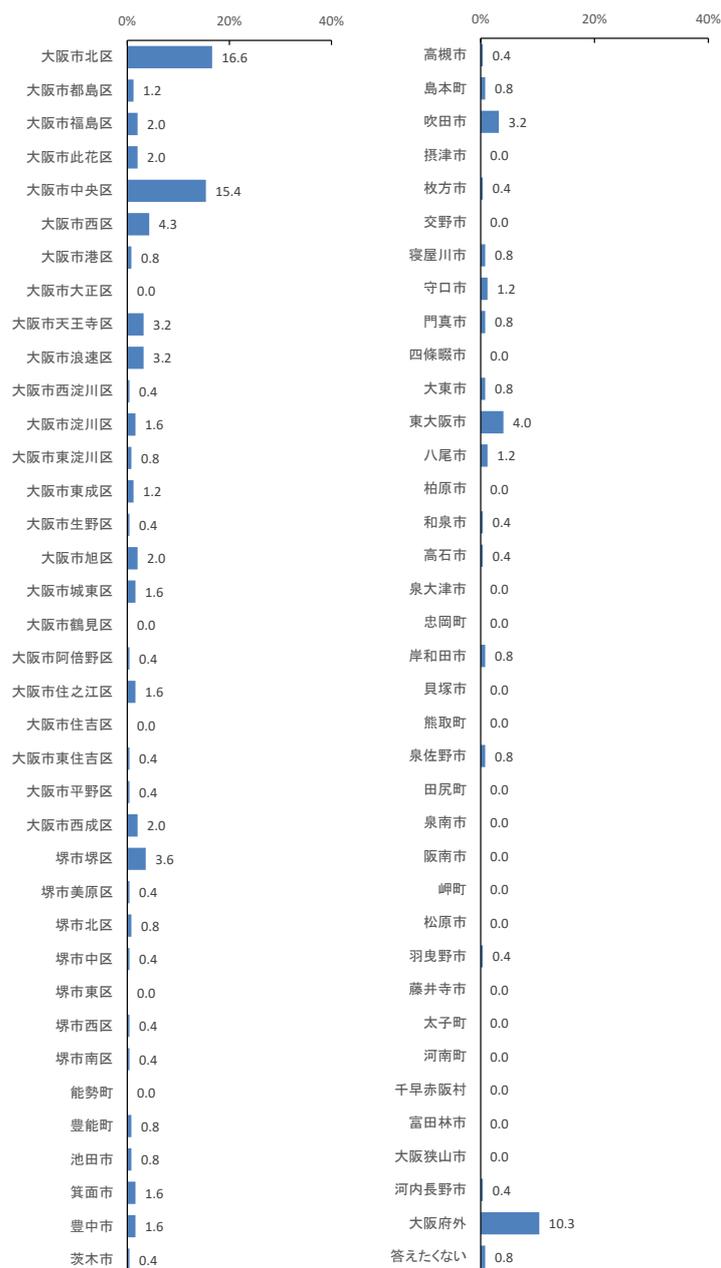
(問7 表現分野) × 問2 貴団体・事業所が文化芸術活動を行っている活動地を全て教えてください。



### 問3 主な活動地（1つ）

「大阪市北区」（16.6%）、「大阪市中央区」（15.4%）、「大阪府外」（10.3%）、「大阪市西区」（4.3%）、「東大阪市」（4.0%）となっています。

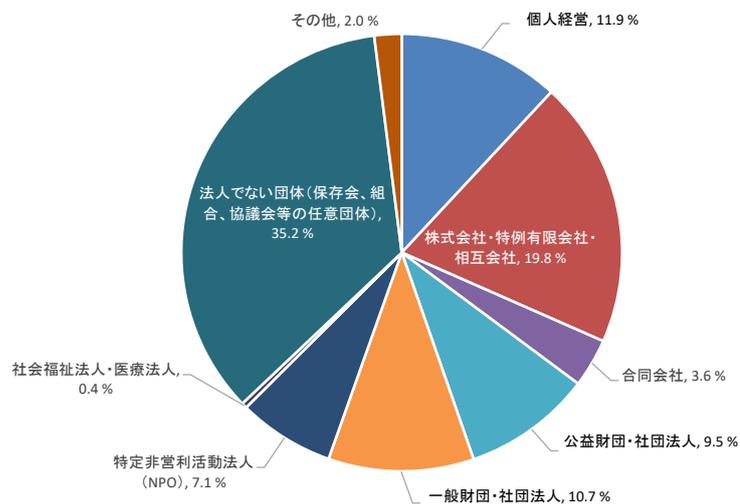
### 問3 問2で答えた活動地のうち、貴団体・事業所が最も活動を行っている活動地を教えてください。（N=253）



#### 問4 団体・事業所の経営形態

「法人でない団体（保存会、組合、協議会等の任意団体）」(35.2%)、「株式会社・特例有限会社・相互会社」(19.8%)、「個人経営」(11.9%)、「一般財団・社団法人」(10.7%)、「公益財団・社団法人」(9.5%)、「特定非営利活動法人（NPO）」(7.1%)となっています。

#### 問4 貴団体・事業所の経営形態を教えてください。(N=253)



問4 【その他】の場合の自由記述欄について：以下の5件の回答がありました。

- 「地方独立行政法人」
- 「指定管理者」
- 「市民団体」
- 「共同事業体」
- 「サークル」

【表現分野別でみた「団体・事業所の経営形態】

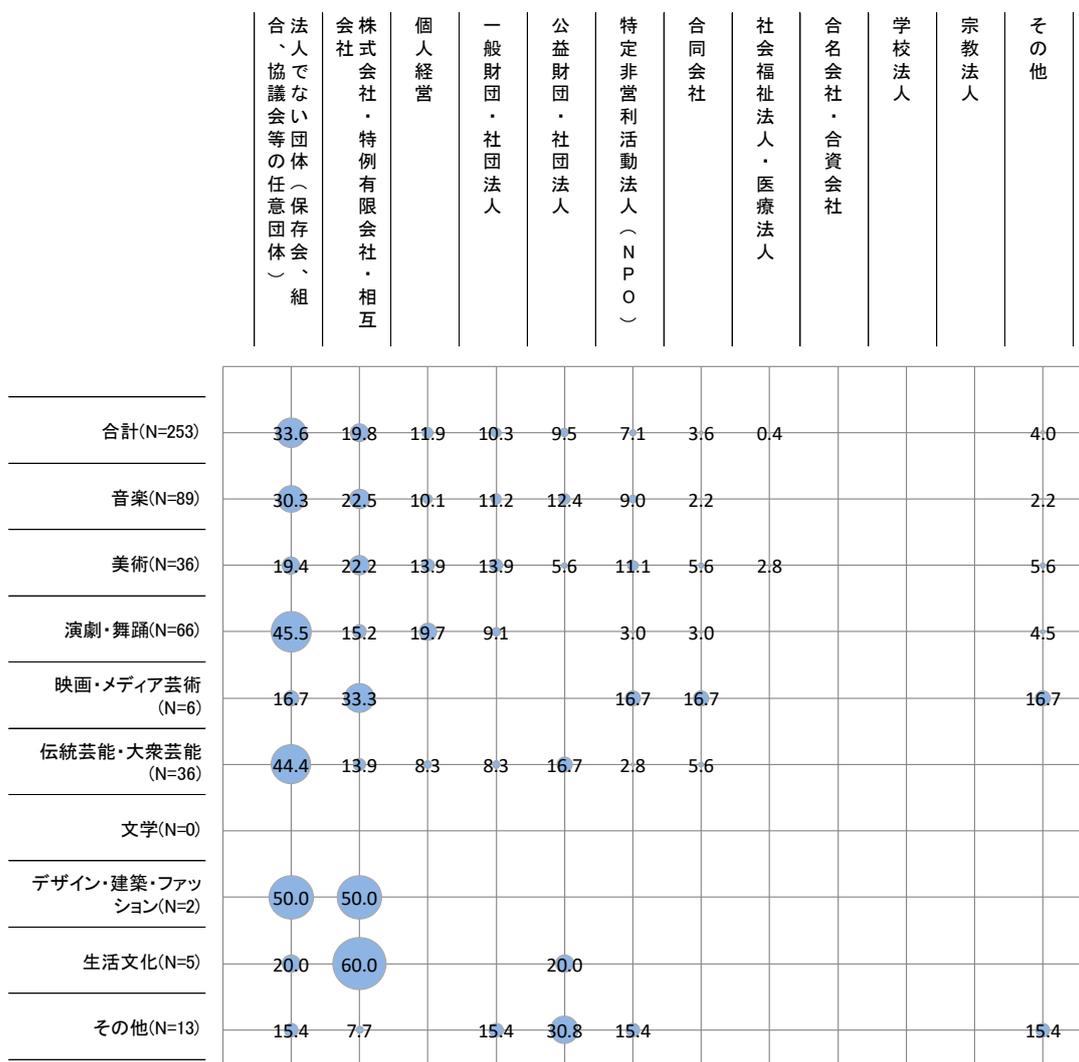
「音楽(N=89)」では、「法人でない団体（保存会、組合、協議会等の任意団体）」が3割、「株式会社・特例有限会社・相互会社」が2割となっています。

「美術(N=36)」では、「法人でない団体（保存会、組合、協議会等の任意団体）」と「株式会社・特例有限会社・相互会社」が、それぞれ2割ずつを占めています。

「演劇・舞踊(N=66)」「伝統芸能・大衆芸能(N=36)」では、「法人でない団体（保存会、組合、協議会等の任意団体）」が4～5割となっています。

「その他(N=13)」では「公益財団・社団法人」が3割となっています。

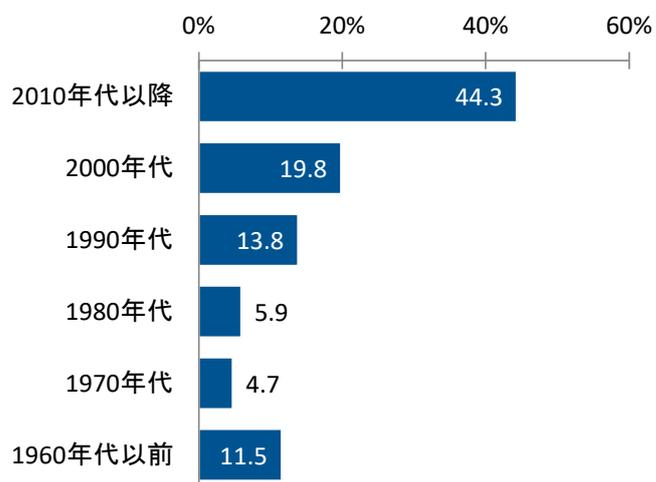
(問7 表現分野) × 問4 貴団体・事業所の経営形態を教えてください。(N=253)



問5 団体・事業所が事業を開始した年

「2010年代以降」(44.3%)、「2000年代」(19.8%)、「1990年代」(13.8%)、「1980年代」(5.9%)、「1970年代」(4.7%)、「1960年代以前」(11.5%)となっています。

問5 貴団体・事業所が事業を開始した年を教えてください。(N=253)

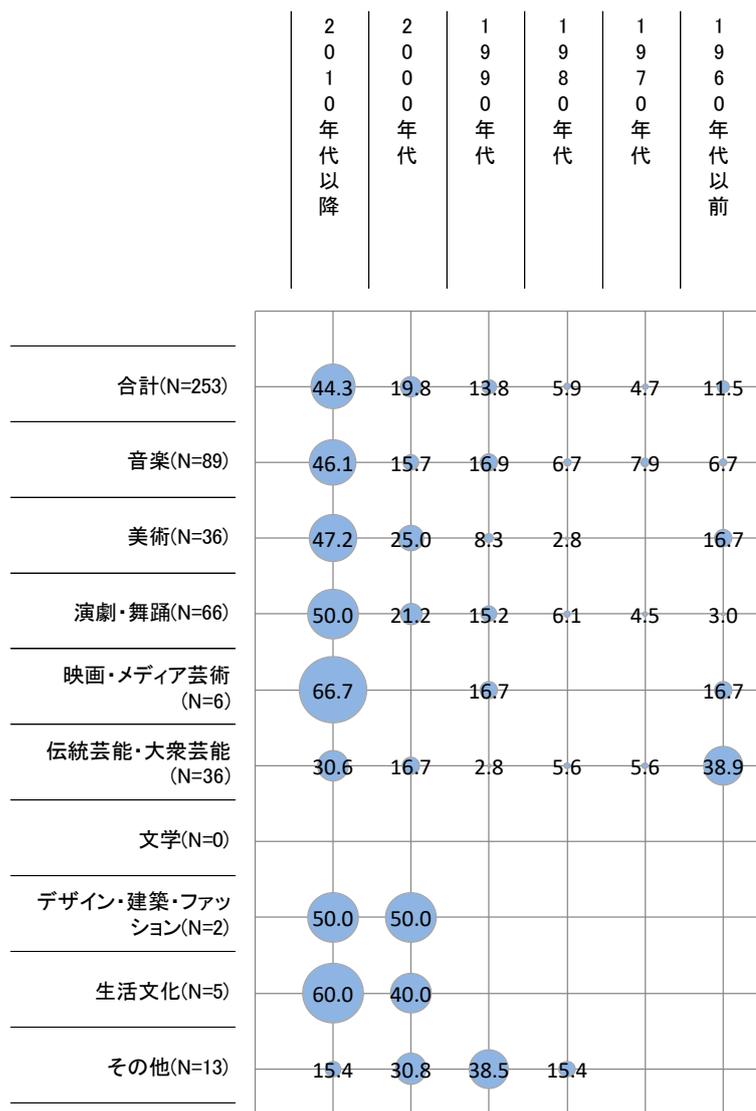


【表現分野でみた「団体・事業所が事業を開始した年」】

「音楽(N=89)」「美術(N=36)」「演劇・舞踊(N=66)」では、「2010年代以降」は5割、「2000年代」以降では6割以上となっています。

「伝統芸能・大衆芸能(N=36)」では、「2000年代」以降が5割で、「1960年代以前」は4割となっています。

(問7 表現分野) × 問5 貴団体・事業所が事業を開始した年を教えてください。(N=253)



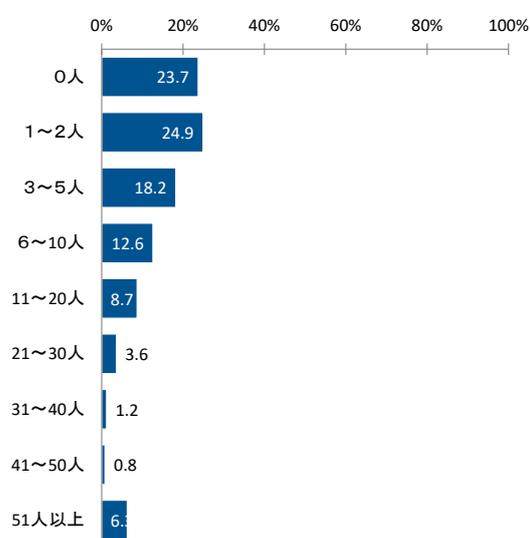
## 問6 団体・事業所の従業者数等について

「事業主等+常用雇用の人数合計①~④」（常勤）では、「0人」（23.7%）と「1~2人」（24.9%）と合わせて5割、『5人以下』では7割となっています。

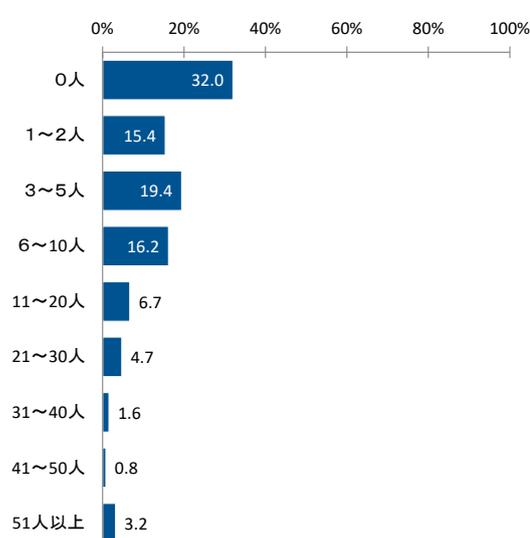
「非常用雇業者（ボランティアを含む）の人数合計⑤⑥」（非常勤）では、「0人」（32.0%）と「1~2人」（15.4%）と合わせて5割、『5人以下』では7割となっています。

「全従業員」では、「6~10人」（23.3%）が最も高く、「11~20人」（18.6%）、「3~5人」（18.2%）となっています。『10人以下』が6割を占めています。

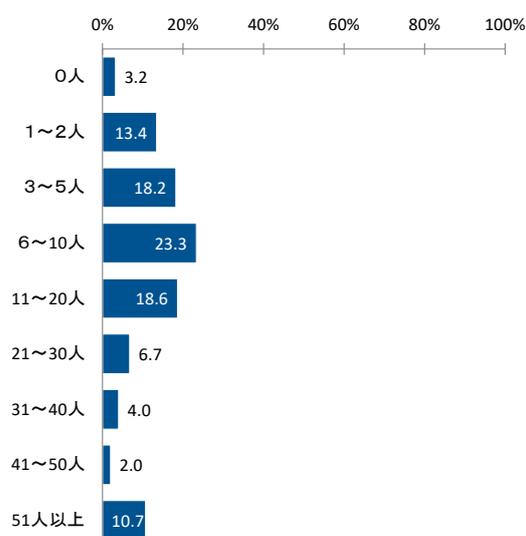
### 問6 ①~④（常勤）の人数合計



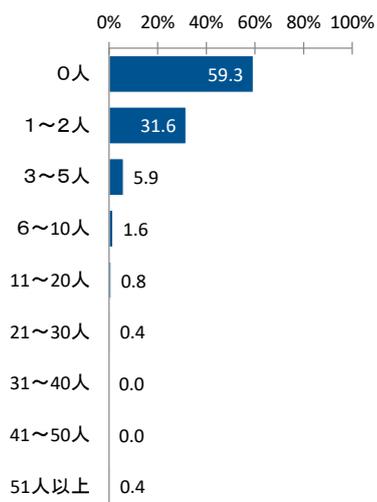
### 問6 ⑤~⑥（非常勤）の人数合計



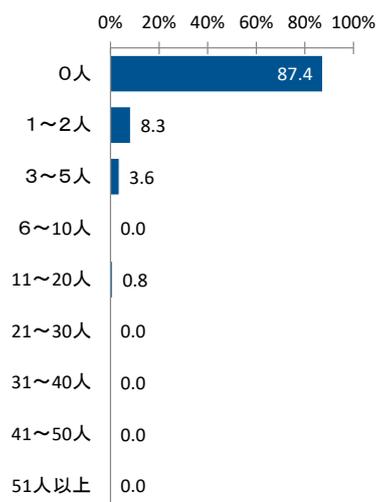
### 問6 ①~⑥（全従業員）の人数合計



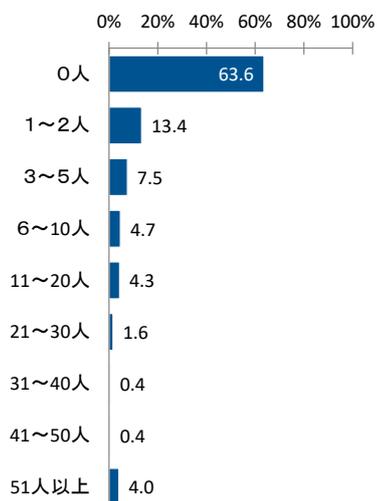
問6① 個人事業主の人数



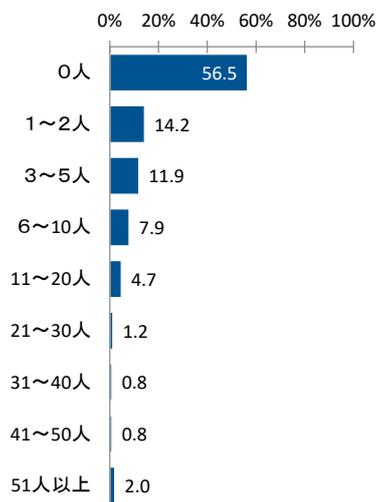
問6② 個人事業主の家族等の人数



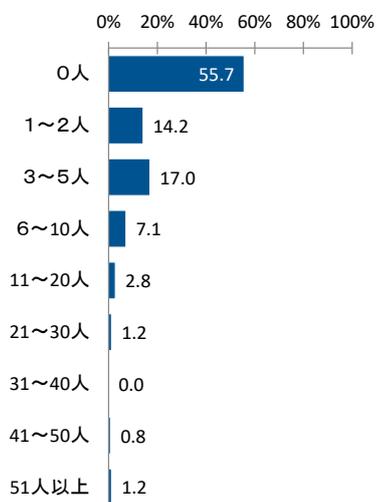
問6③ 正社員・正職員の人数



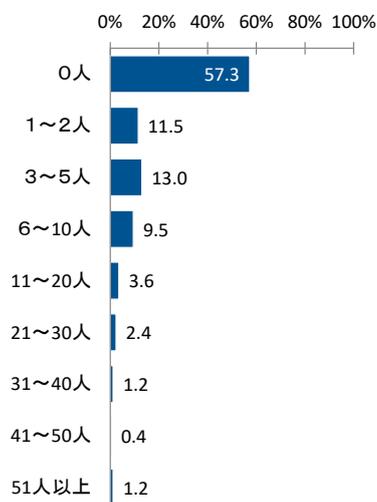
問6④ 正社員・正職員にあてはまらない常用雇用者の人数



問6⑤ 臨時雇用者の人数



問6⑥ ボランティアや無給のスタッフ等の人数



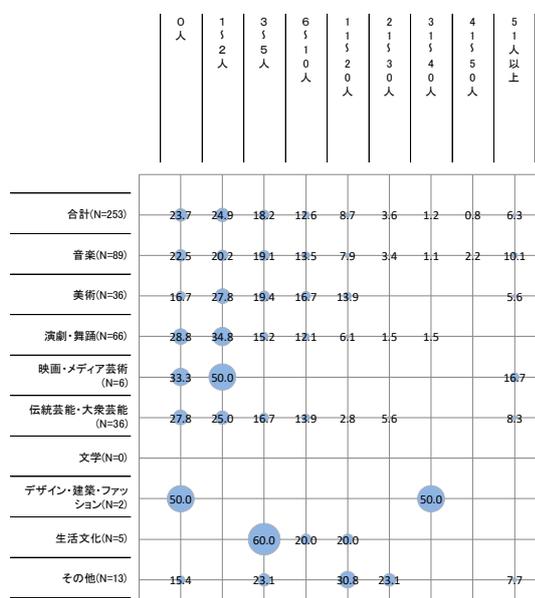
### 【表現分野別でみた「団体・事業所の従業者数等】

回答団体・事業者が10件以上だった表現分野のうち、「事業主等+常用雇用者の人数合計①~④」（常勤）では、『2人以下』が5割以上を占める表現分野は「演劇・舞踊(N=66)」（63.6%）と「伝統芸能・大衆芸能(N=36)」（52.8%）のみとなっており、『5人以下』で見ると、「その他(N=13)」を除くすべての分野で6割以上となっています。

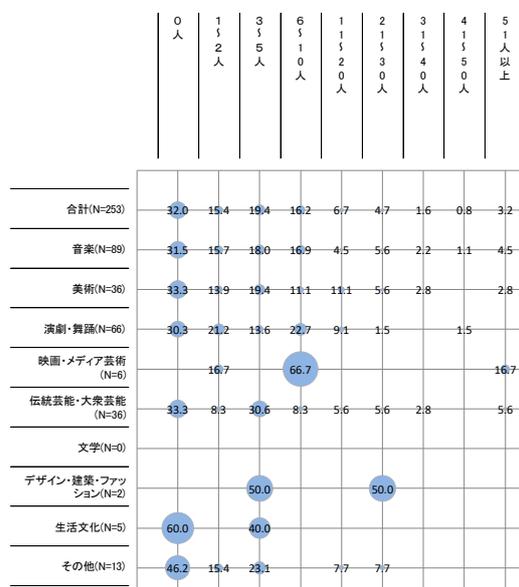
「非常用雇用者（ボランティアを含む）の人数合計⑤⑥」（非常勤）では、『2人以下』が5割以上を占める表現分野は「演劇・舞踊(N=66)」と「その他(N=13)」で、すべての分野で「5人以下」が7割以上となっています。

「全従業員」では、『5人以下』は「その他(N=13)」を除くすべての分野が3割以上となっています。「その他(N=13)」は7割が『11人以上』となっています。

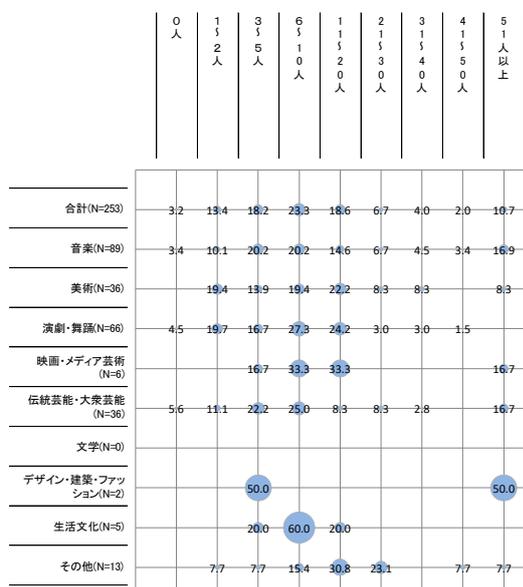
(問7 表現分野) × 問6 事業主等+常用雇用者の人数合計①~④



(問7 表現分野) × 問6 事業主等+非常用雇用者(ボランティアを含む)の人数合計⑤⑥



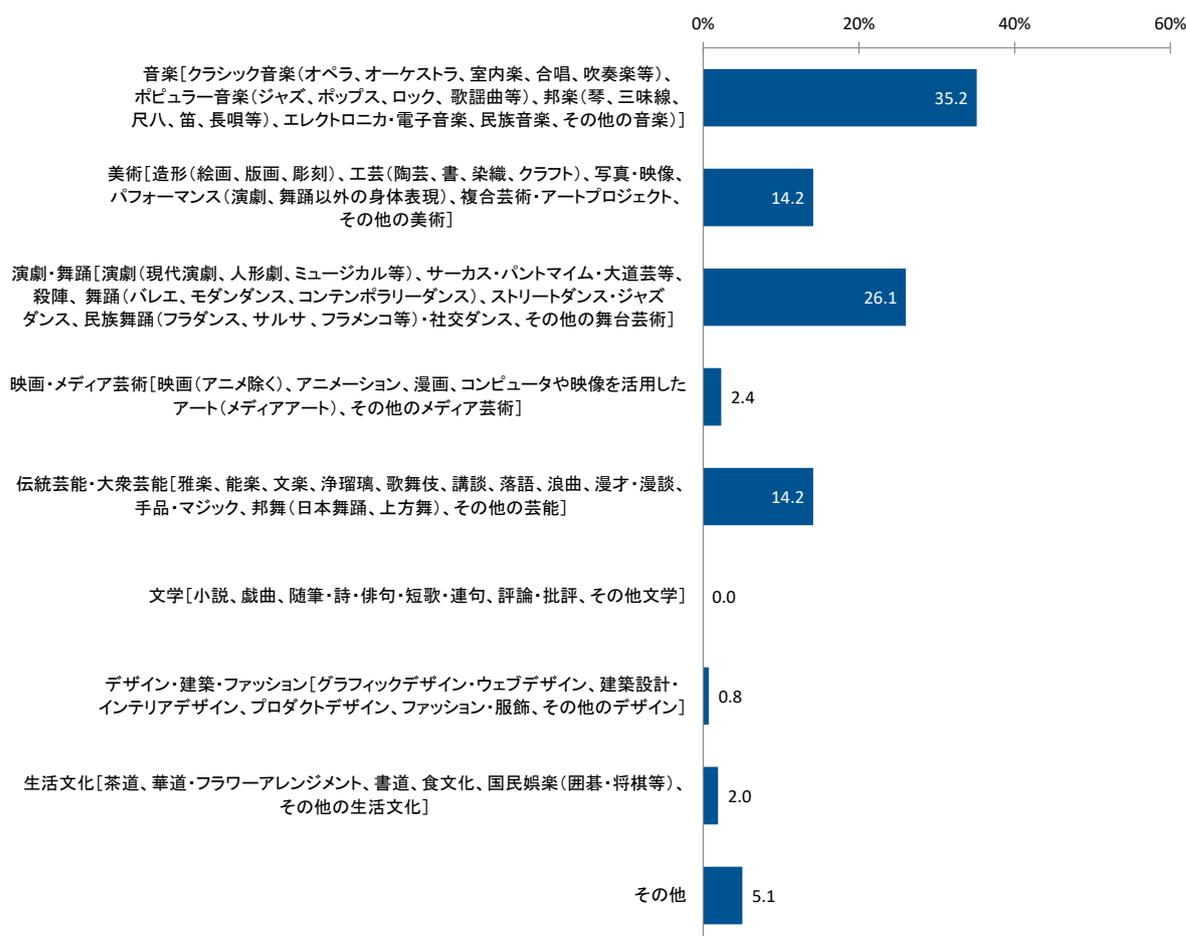
(問7 表現分野) × 問6 全従業者数①



問7 文化芸術活動の主な表現分野（1つ）

「音楽」（35.2%）、「演劇・舞踊」（26.1%）、「美術」（14.2%）、「伝統芸能・大衆芸能」（14.2%）、「その他」（5.1%）、「映画・メディア芸術」（2.4%）、「生活文化」（2%）、「デザイン・建築・ファッション」（0.8%）となっています。

問7 貴団体・事業所の文化芸術活動の主たる表現分野を1つだけお答えください。（N=253）



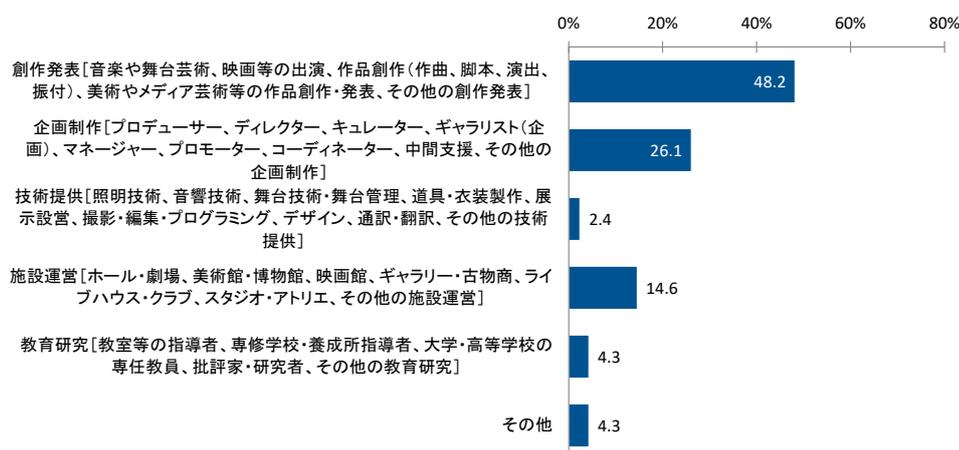
問7【その他】の場合の自由記述欄について：以下の13件の回答がありました。

- 「文化施設運営」
- 「文化施設の指定管理者のため多様です。」
- 「舞踊と美術などのアートの組み合わせ」
- 「全般」
- 「上記全て」
- 「交流場所の運営、芸術大学の運営」
- 「音楽と演劇、大衆芸能の複合活動」
- 「音楽・舞台などの鑑賞活動」
- 「音楽・美術・伝統芸能・生活文化」
- 「音楽・伝統芸能」
- 「ロックコンサート」
- 「すべてを取り扱います」
- 「1,2,3,4,5,8 が該当」

問8 文化芸術活動の主な技能分野（1つ）

「創作発表」（48.2%）、「企画制作」（26.1%）、「施設運営」（14.6%）、「教育研究」（4.3%）、「その他」（4.3%）、「技術提供」（2.4%）となっています。

問8 貴団体・事業所の文化芸術活動の主たる技能分野について、最も当てはまるものを1つ教えてください。（N=253）



問8【その他】の場合の自由記述欄について：以下の10件の回答がありました。

- 「落語」
- 「法要・祭祀での演奏」
- 「舞台鑑賞事業」
- 「定期公演」
- 「助成、顕彰、紹介等」
- 「技能は特になし」
- 「企画制作・施設運営」
- 「韓国伝統舞踊」
- 「演技指導」
- 「コンクール・合唱祭の開催」

【表現分野別でみた「技能分野」】

「創作発表」でみると、「演劇・舞踊」(69.7%)、「音楽」(53.9%)、「伝統芸能・大衆芸能」(44.4%)、「美術」(25.0%)となっています。

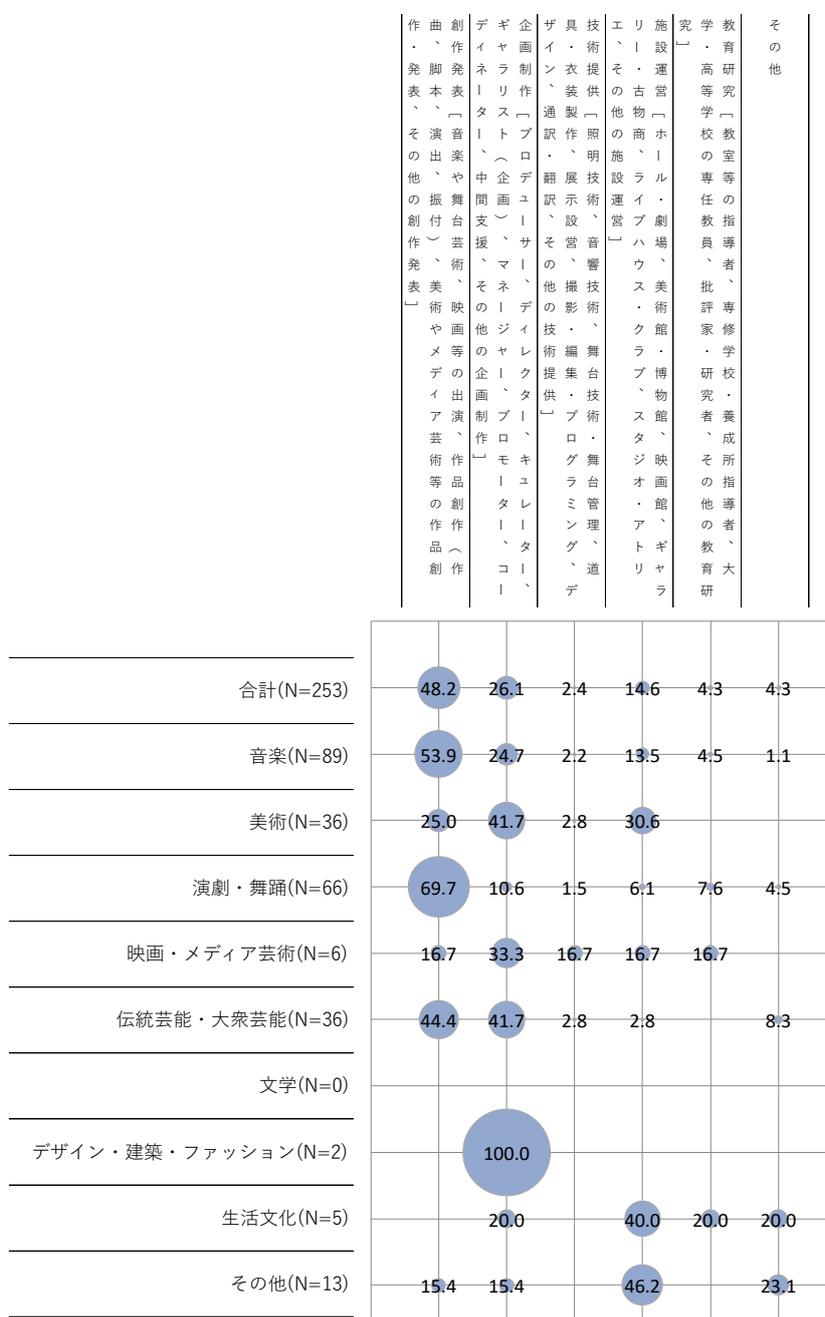
「企画制作」では、「美術」(41.7%)、「伝統芸能・大衆芸能」(41.7%)、「音楽」(24.7%)となっています。

「施設運営」では、「美術」(30.6%)、「音楽」(13.5%)となっています。

「教育研究」では、「演劇・舞踊」(7.6%)となっています。

「その他」では、「伝統芸能・大衆芸能」(8.3%)となっています。

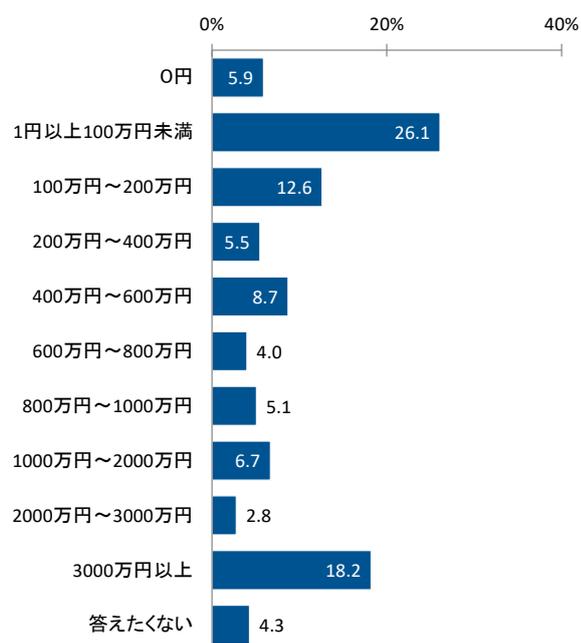
(問7 表現分野) × 問8 貴団体・事業所の文化芸術活動の主たる技能分野について、最も当てはまるものを1つ教えてください。



問9 文化芸術活動および事業における直近の年度の総収入（売上高）

「0円」(5.9%)、「1円以上100万円未満」(26.1%)、「100万円～200万円」(12.6%)  
「200万円～400万円」(5.5%)、「400万円～600万円」(8.7%)、「600万円～800万円」(4.0%)、「800万円～1000万円」(5.1%) で、『1000万円未満』(67.9%)、「1000万円～2000万円」(6.7%)、「2000万円～3000万円」(2.8%)、「3000万円以上」(18.2%)  
となっています。

問9 貴団体・事業所の文化芸術活動および事業における直近の年度の総収入（売上高）について教えてください。(N=253)

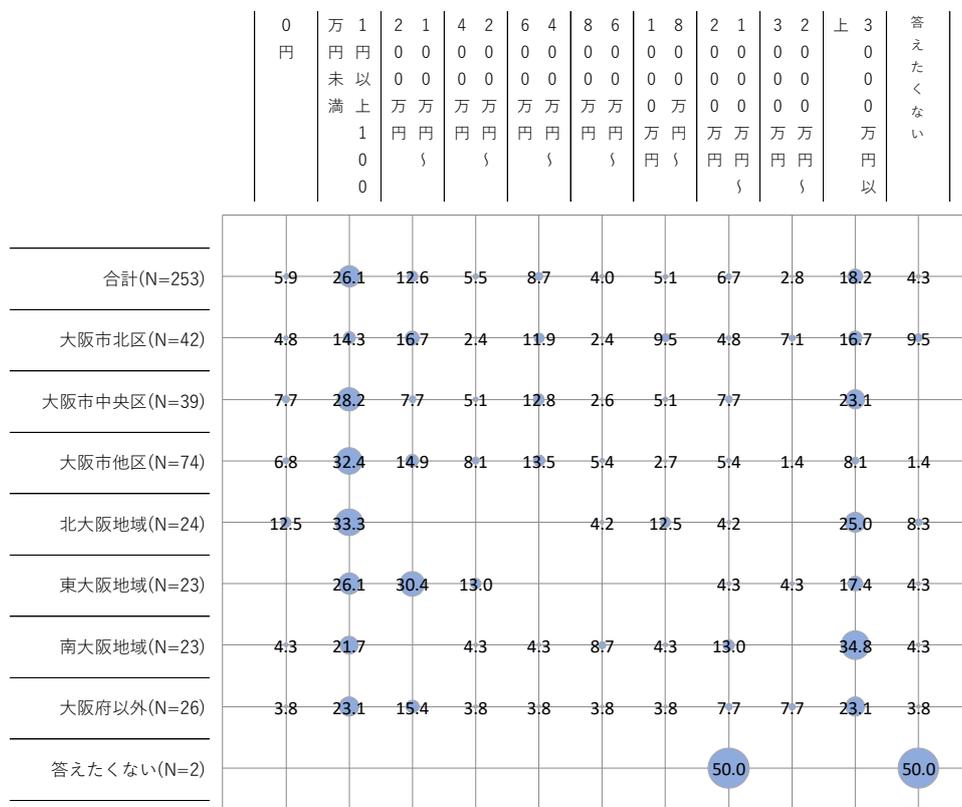


【主な活動地域別でみた「文化芸術活動および事業における直近の年度の総収入（売上高）」】

『200万円(未満)』の所得層については、「東大阪地域」(56.5%)、「大阪市他区」(54.1%)が、他の地域(26.0~45.8%)より高くなっています。

『3000万円(以上)』の所得層においては、「南大阪地域」(34.8%)、「北大阪地域」(25.0%)、「大阪市中央区」(23.1%)、「大阪府以外」(23.1%)が、他の地域(8.1~17.4%)より高くなっています。

(問3 主な活動地域(6地域)) × 問9 貴団体・事業所の文化芸術活動および事業における直近の年度の総収入(売上高)について教えてください。

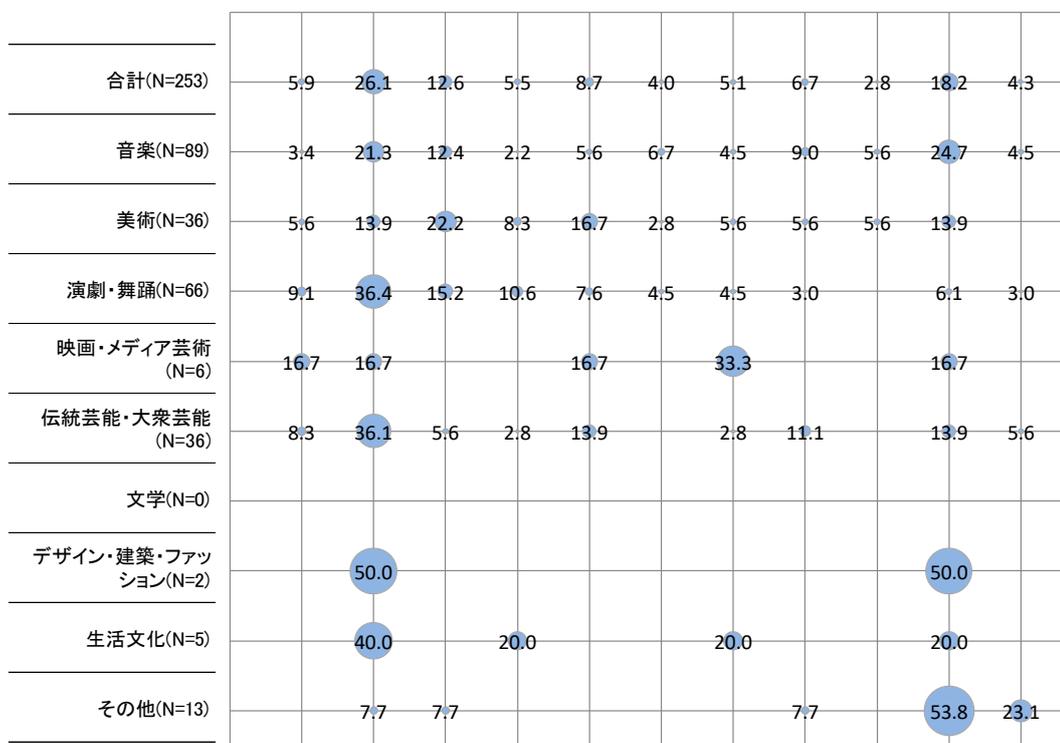


【表現分野別でみた「文化芸術活動および事業における直近の年度の総収入(売上高)」】

「演劇・舞踊(N=66)」では9割、「美術(N=36)」では約8割、「伝統芸能・大衆芸能(N=36)」では7割、「音楽(N=89)」では6割を『1000万円未満』が占めています。  
 「その他(N=13)」では「3000万円以上」が53.8%を占めています。

(問7 表現分野) × 問9 貴団体・事業所の文化芸術活動および事業における直近の年度の総収入(売上高)について教えてください。(N=253)

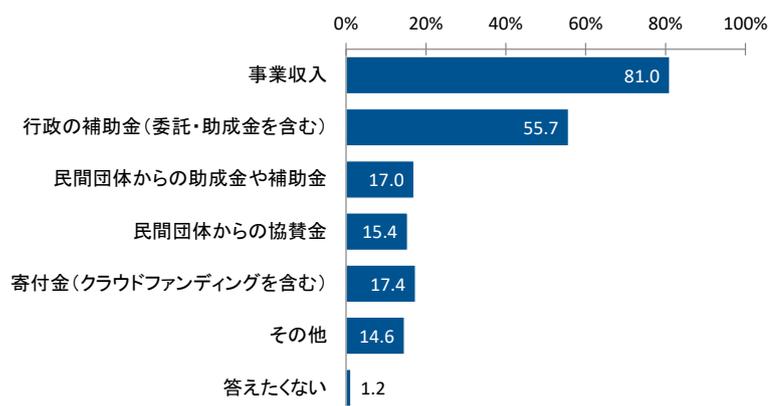
0円	満1円以上10万円未満	円10万円	円20万円	円40万円	円60万円	円80万円	210万円	320万円	300万円以上	答えたくない
----	-------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---------	--------



問 10 文化芸術活動の活動資金の入手先（複数回答）

「事業収入」（81.0%）、「行政の補助金（委託・助成金を含む）」（55.7%）、「寄付金（クラウドファンディングを含む）」（17.4%）、「民間団体からの助成金や補助金」（17.0%）「民間団体からの協賛金」（15.4%）「その他」（14.6%）となっています。

問 10 貴団体・事業所の文化芸術活動の活動資金はどこから  
得ていますか？（N=253）



問 10【その他】の場合の自由記述欄について：以下の 31 件の回答がありました。

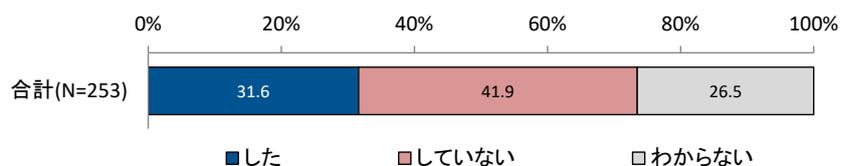
- 「会費」× 13 事業所
- 「団費」× 3 事業所
- 「自己資金」× 4 事業所
- 「指定管理料」× 2 事業所
- 「役者本人の負担及び TICKET 収入」
- 「参加者からの拠出金」
- 「参加協力費など」
- 「個人からの借入金」
- 「劇団費徴収」
- 「銀行融資」
- 「関係者自己負担」
- 「加盟団体からの連盟費」
- 「ない」

問 11 過去 2 回実施された調査※に回答しましたか？

※「大阪における文化芸術関係者への新型コロナウイルスの影響に関する実態調査」  
(2020 年：一般財団法人おおさか創造千島財団、2021 年：大阪市文化課)

「した」(31.6%)、「していない」(41.9%)、「わからない」(26.5%) となっています。

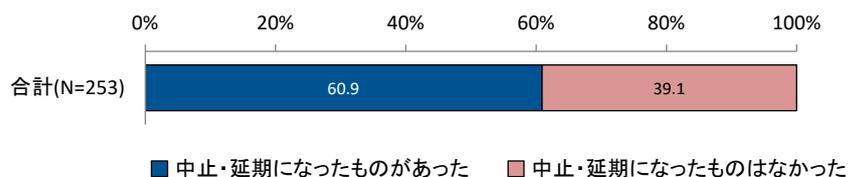
問 11 過去 2 回実施された調査に回答しましたか？(過去に 1 度でも  
回答していたら「した」を選んでください) (N=253)



問 12 貴団体・事業所が関わる公演、展示、イベント等において、直近1年間に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止・延期になったものはありましたか？

「あった」(60.9%)、「なかった」(39.1%)となっています。

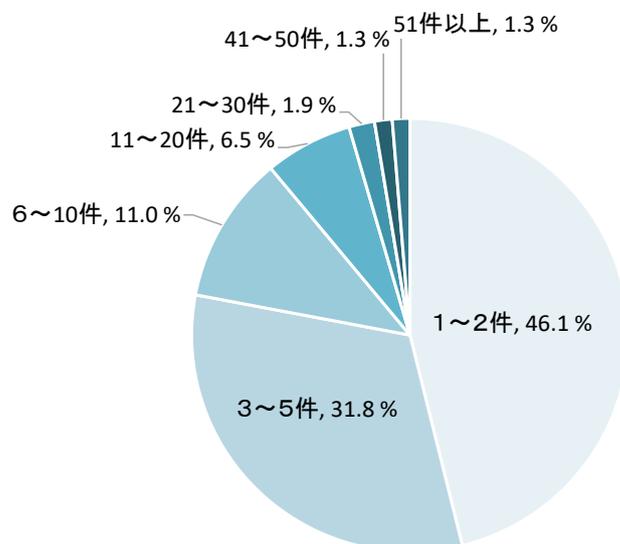
**問 12 貴団体・事業所が関わる公演、展示、イベント等において、直近1年間に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止・延期になったものはありましたか？ (N=253)**



問 12-1 問 12 の中止・延期になった件数

「1～2件」(46.1%)、「3～5件」(31.8%)、「6～10件」(11.0%)で、『10件以下』(89.0%)、『11件以上』(11.0%)となっています。

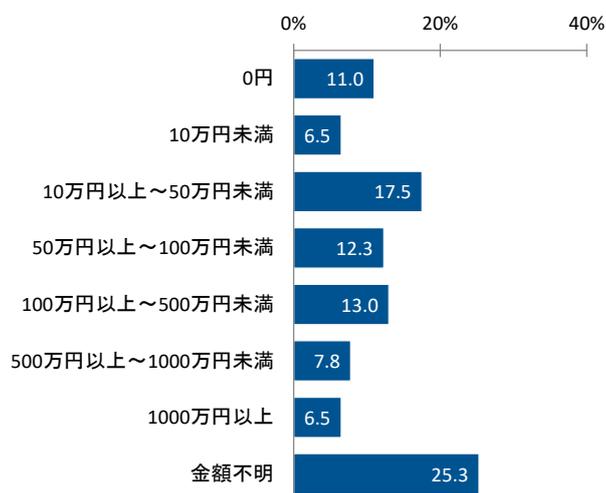
**問 12-1 問 12 の中止・延期になった件数を教えてください。(N=154)**



問 12-2 問 12 の中止・延期により、貴団体・事業所が受け取る予定だった収入の損失額はどのくらいですか？（直近 1 年間の積算額）

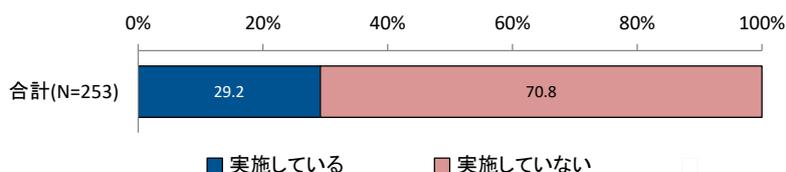
「0 円」(11.0%)、「10 万円未満」(6.5%)、「10 万円以上～50 万円未満」(17.5%)、「50 万円以上～100 万円未満」(12.3%) で『100 万円未満』(47.3%)、「100 万円以上～500 万円未満」(13.0%)、「500 万円以上～1000 万円未満」(7.8%)、「1000 万円以上」(6.5%)、「金額不明」(25.3%) となっています。

**問 12-2 問 12 の中止・延期により、貴団体・事業所が受け取る予定だった収入（例えば入場料、出演料、作品製作費、出品・販売・作品売上、テクニカル謝金、講演料、指導料など）の損失額はどのくらいですか？（直近 1 年間の積算額を入力してください。（N=154）**



問 13 貴団体・事業所は文化芸術活動以外の業務を実施していますか？  
「実施している」(29.2%)、「実施していない」(70.8%) となっています。

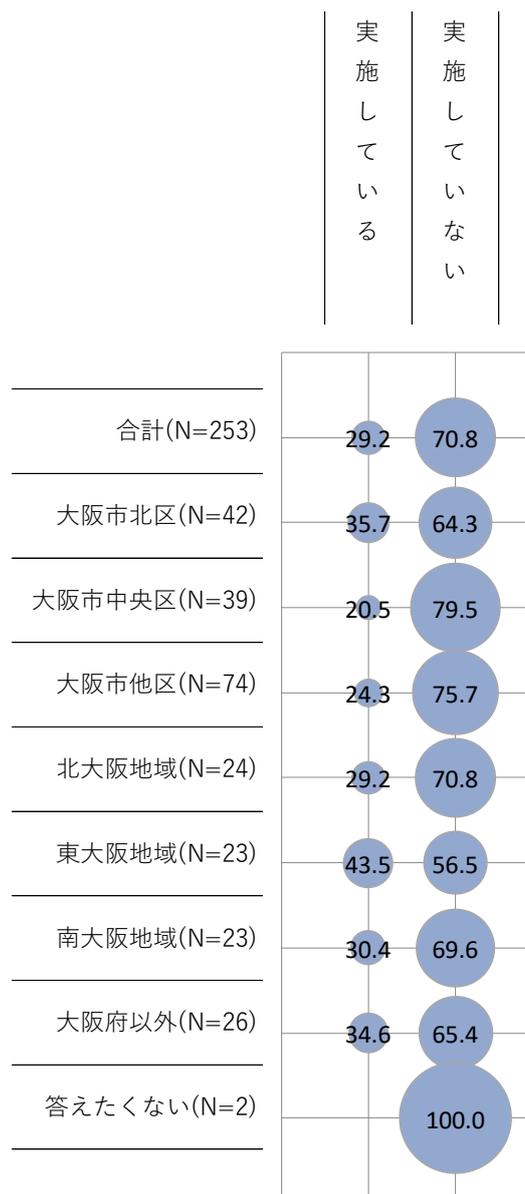
**問 13 貴団体・事業所は芸術文化活動以外の業務を実施していますか？(N=253)**



【主な活動地域（6地域）別でみた「芸術文化活動以外の業務の実施」】

「（芸術文化活動以外の業務を）実施している」比率は、「東大阪地域」（43.5%）、「大阪市北区」（35.7%）、「大阪府以外」（34.6%）、「南大阪地域」（30.4%）で他の地域よりも高くなっています。

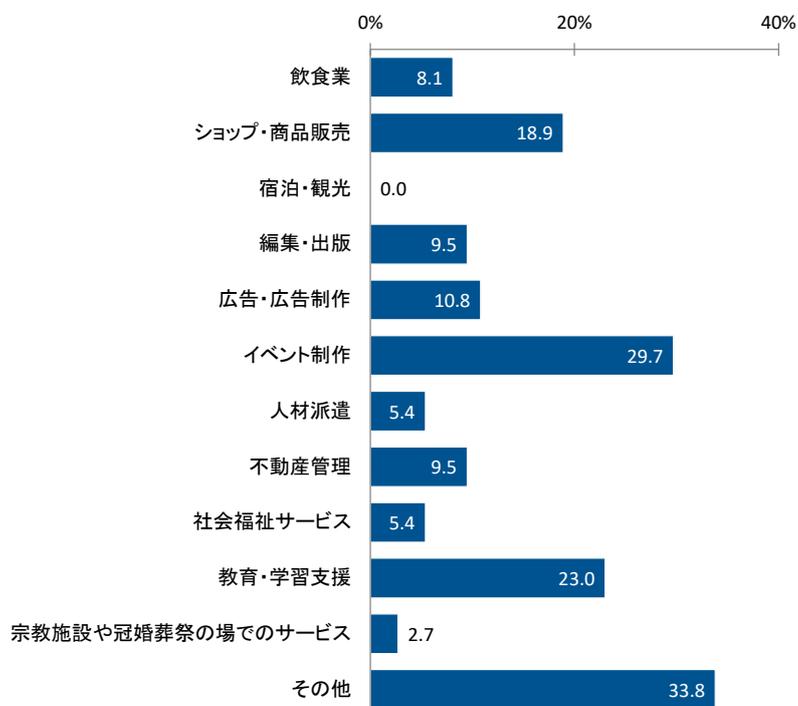
（問3 主な活動地域（6地域）） × 問13 貴団体・事業所は芸術文化活動以外の業務を実施していますか？



問 13-1 文化芸術活動以外の業務の業種（複数回答）

「その他」（33.8%）、「イベント制作」（29.7%）、「教育・学習支援」（23.0%）、  
「ショップ・商品販売」（18.9%）、「広告・広告制作」（10.8%）となっています。

問 13-1 文化芸術活動以外の業務の業種を教えてください。（N=74）



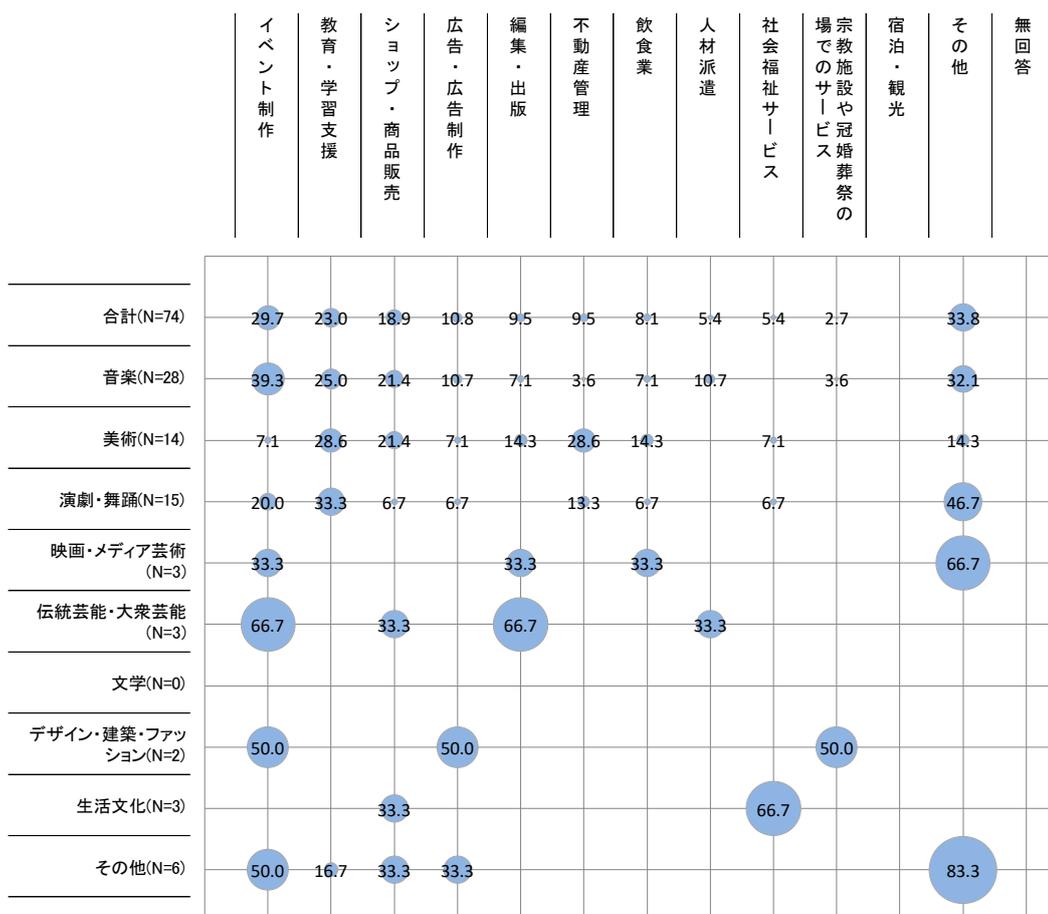
問 13-1 【その他】の場合の自由記述欄について：以下の 24 件の回答がありました。

- 「放送業」 × 2 件
- 「映像制作」 × 2 件
- 「文化講座」
- 「不動産売買 システム開発など」
- 「地域コミュニティの育成」
- 「貸館運営」
- 「貸館、施設管理」
- 「自販機収入」
- 「自主事業」
- 「施設運営」
- 「国際交流事業」
- 「公園管理」
- 「寄附」
- 「楽器修理・作製」
- 「楽器レンタル」
- 「会社員」
- 「医療関連」
- 「まちづくり」
- 「ボランティア」
- 「ビジネスコンサルト」
- 「コンサルティング」
- 「IT 関係」

【表現分野別でみた「文化芸術活動以外の業種を実施している場合の業種】

「音楽(N=28)」では「イベント制作」が4割、「教育・学習支援」と「その他」が3割となっています。「美術(N=14)」では「不動産管理」と「教育・学習支援」が3割となっています。「演劇・舞踊(N=15)」では「その他」が5割、「教育・学習支援」が3割となっています。「教育・学習支援」を実施している比率が高い傾向は、「音楽」「美術」「演劇・舞踊」の3分野に共通しています。

(問7 表現分野) × 問13-1 文化芸術活動以外の業務の業種を教えてください。



問 13-2 直近 1 年間の文化芸術活動以外での仕事の収入における、新型コロナウイルス感染症の影響による損失の有無

「収入に損失がある」(70.3%)、「収入に損失はない」(29.7%)となっています。

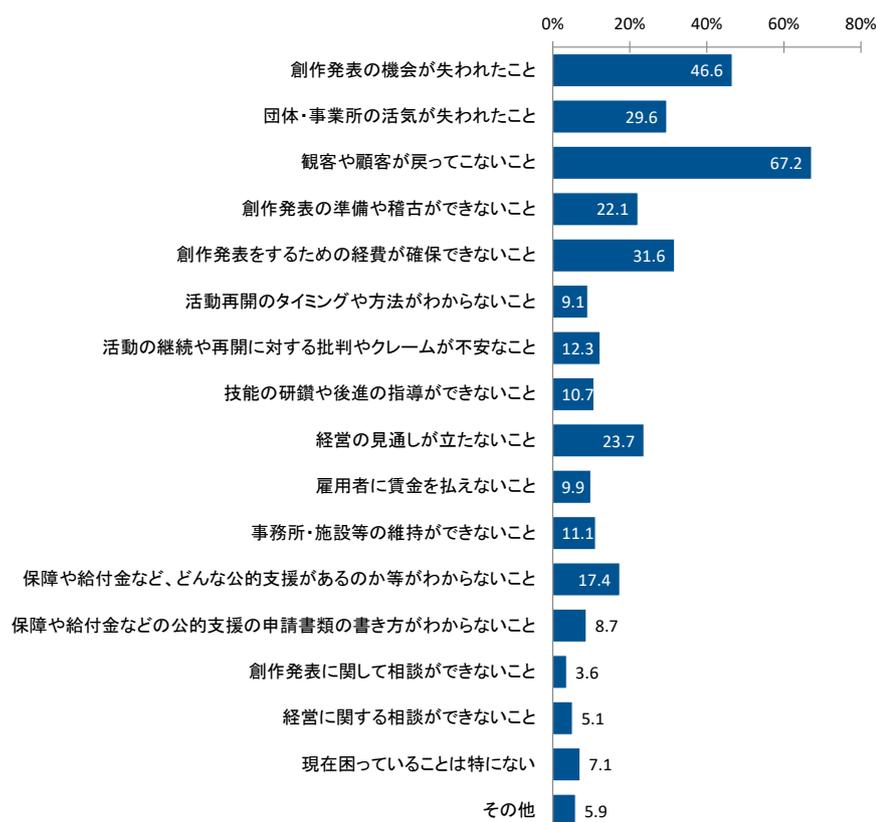
問 13-2 直近 1 年間の文化芸術活動以外での仕事の収入において、  
新型コロナウイルス感染症の影響による損失はありましたか？



問 14 新型コロナウイルス感染症の影響により【現在】の文化芸術活動について困っていること（複数回答）

「観客や顧客が戻ってこないこと」（67.2%）、「創作発表の機会が失われたこと」（46.6%）、「創作発表をするための経費が確保できないこと」（31.6%）、「団体・事業所の活気が失われたこと」（29.6%）、「経営の見通しが立たないこと」（23.7%）、「創作発表の準備や稽古ができないこと」（22.1%）となっています。

問 14 新型コロナウイルス感染症の影響により、【現在】の文化芸術活動について困っていることを教えてください。（N=253）



問 14 【その他】の場合の自由記述欄について：以下の 15 件の回答がありました。

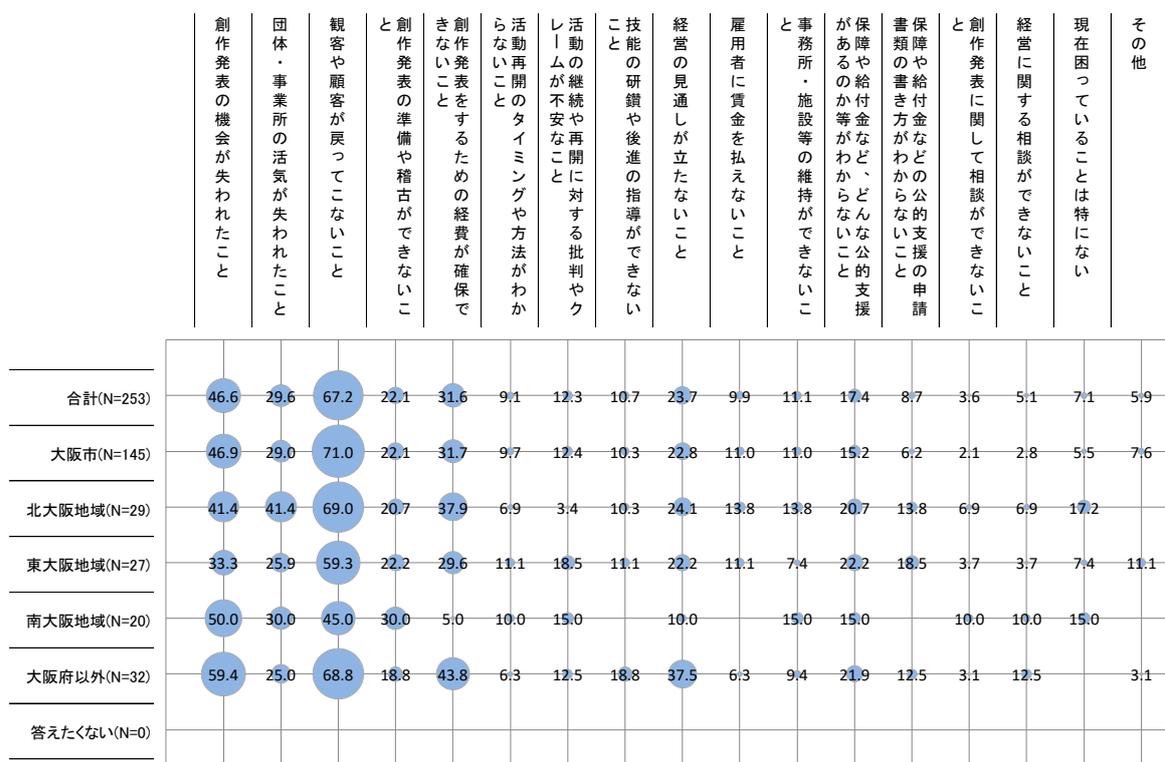
- 「来館者の健康チェック」
- 「無意味なマスクや消毒を要請するホールが多いこと。2019 年までと同じくただの風邪なのでマスク無しで結構です。インフルエンザ以下の致死率だと知らない人が多い事が迷惑です。」
- 「補助金の対応が遅い」
- 「不確定要素が多く、中止時のリスクを考慮したときに事業計画が立てづらいこと」
- 「展示イベントを予定してもコロナの影響で予定通りに実施できるか不安が付きまとうこと」
- 「中止、延期を決定した際に掛かる費用が負担出来ないこと。」
- 「団体にする方向性について検討中」
- 「貸室の稼働率が戻ってこない」
- 「出演者の感染リスク」
- 「自治体や文化会館との連携 営利団体でも使える補助金」
- 「計画を立てにくい」
- 「運営スタッフの確保ができていないこと」
- 「一般主催者に対する感染対策徹底への取組みに伴う作業量の増加」
- 「マーケットの縮小」
- 「コロナ対策の結果普通になった、オンラインコンテンツや EC サイト等の新しい対応をする人材不足、経費負担」

【所在地域別でみた「【現在】の文化芸術活動について困っていること」】

「創作発表の機会が失われたこと」では、「大阪市」、「南大阪地域」、「大阪府以外」は約5割～6割ですが、「北大阪地域」(41.4%)、「東大阪地域」(33.3%)はそれよりも低くなっています。

「観客や顧客が戻ってこないこと」では、「大阪市」、「北大阪地域」、「東大阪地域」、「大阪府以外」は約6～7割ですが、「南大阪地域」(45.0%)はそれより低くなっています。

(問1 所在地域) × 問14 新型コロナウイルス感染症の影響により文化芸術活動について困っていること (N=253)

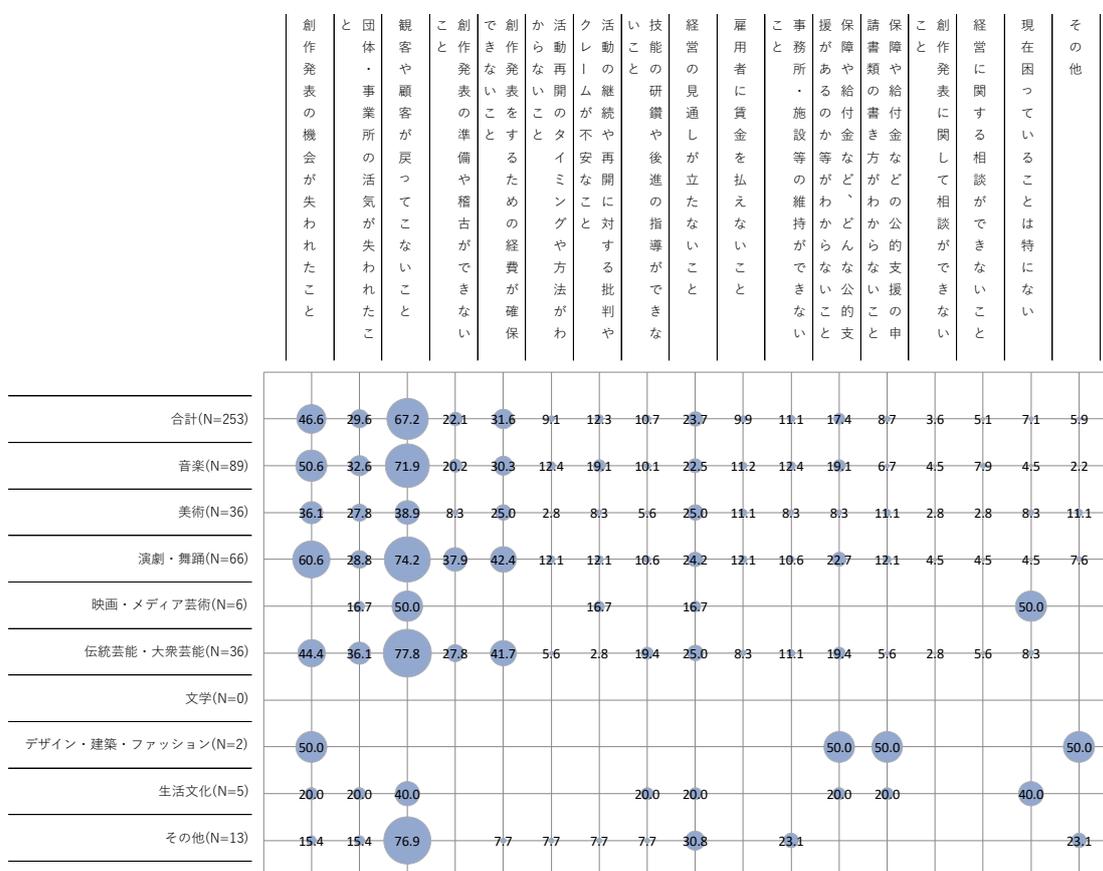


【表現分野別でみた「新型コロナウイルス感染症の影響により文化芸術活動について困っていること」】

「創作発表の機会が失われたこと」では、「音楽」、「演劇・舞踊」は5割～6割となっていますが、「伝統芸能・大衆芸能」(44.4%)、「美術」(36.1%)、「その他」(15.4%)はそれよりも低くなっています。

「観客や顧客が戻ってこないこと」では、「音楽」、「演劇・舞踊」、「伝統芸能・大衆芸能」、「その他」は7割以上ですが、「美術」(38.9%)はそれより低くなっています。

(問7 表現分野) × 問14 新型コロナウイルス感染症の影響により文化芸術活動について困っていること

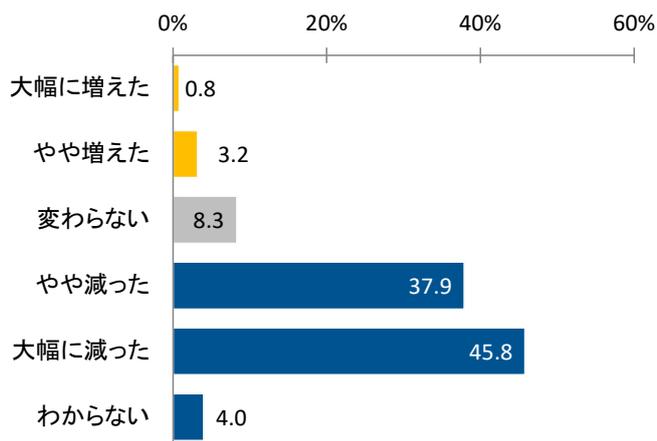




問 15 新型コロナウイルス感染症の影響によるお客さんの増減

「大幅に増えた」(0.8%)、「やや増えた」(3.2%)を合わせて『増えた』は4.0%、「変わらない」は(8.3%)、「やや減った」(37.9%)と「大幅に減った」(45.8%)を合わせた『減った』は83.7%となっています。

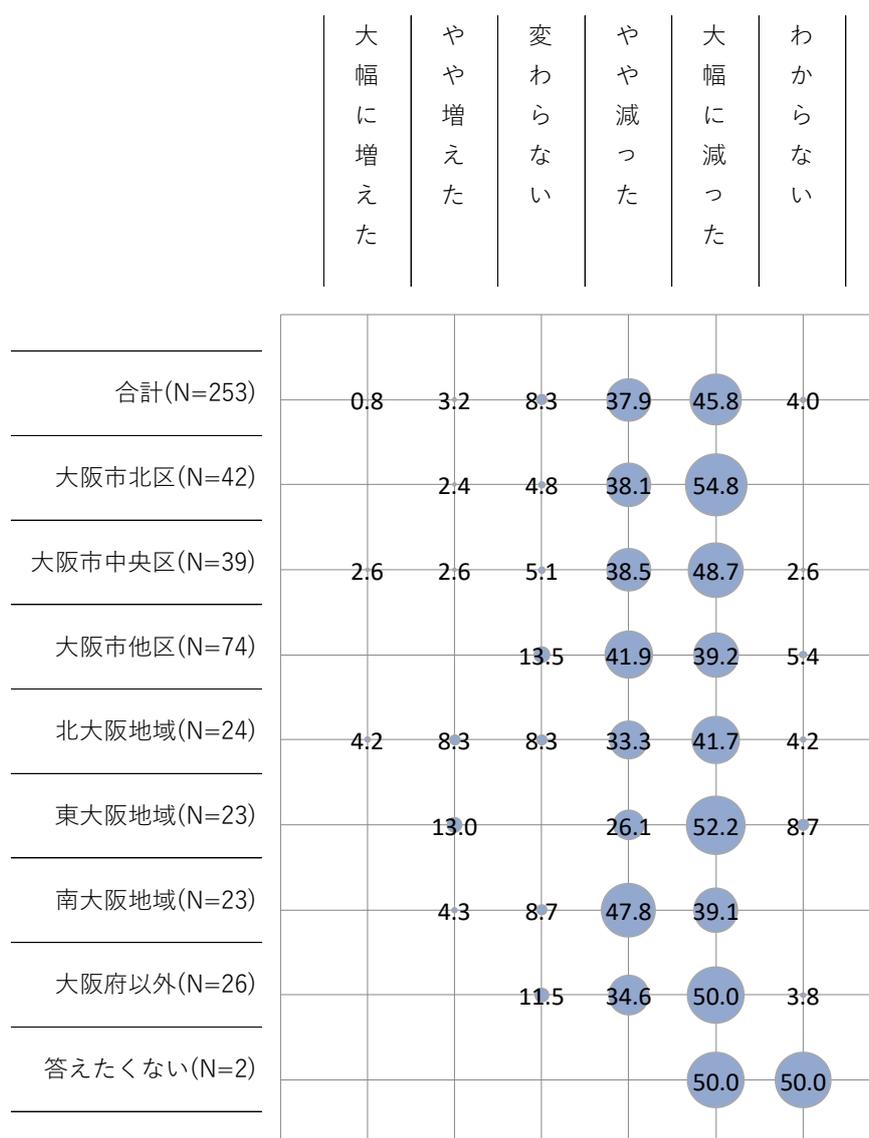
問 15 新型コロナウイルス感染症の影響により、以前よりお客さんが増えているか、または減っているかについて教えてください。(N=253)



【主な活動地域（6地域）別でみた「新型コロナウイルス感染症の影響によるお客さんの増減」】

「やや減った」と「大幅に減った」を合わせた『減った』では、全ての地域が7割以上ですが、「大阪市北区」、「大阪市中央区」、「南大阪地域」は9割前後となっています。

（問3 主な活動地域（6地域）） × 問15 新型コロナウイルス感染症の影響により、以前よりお客さんが増えているか、または減っているかについて教えてください。

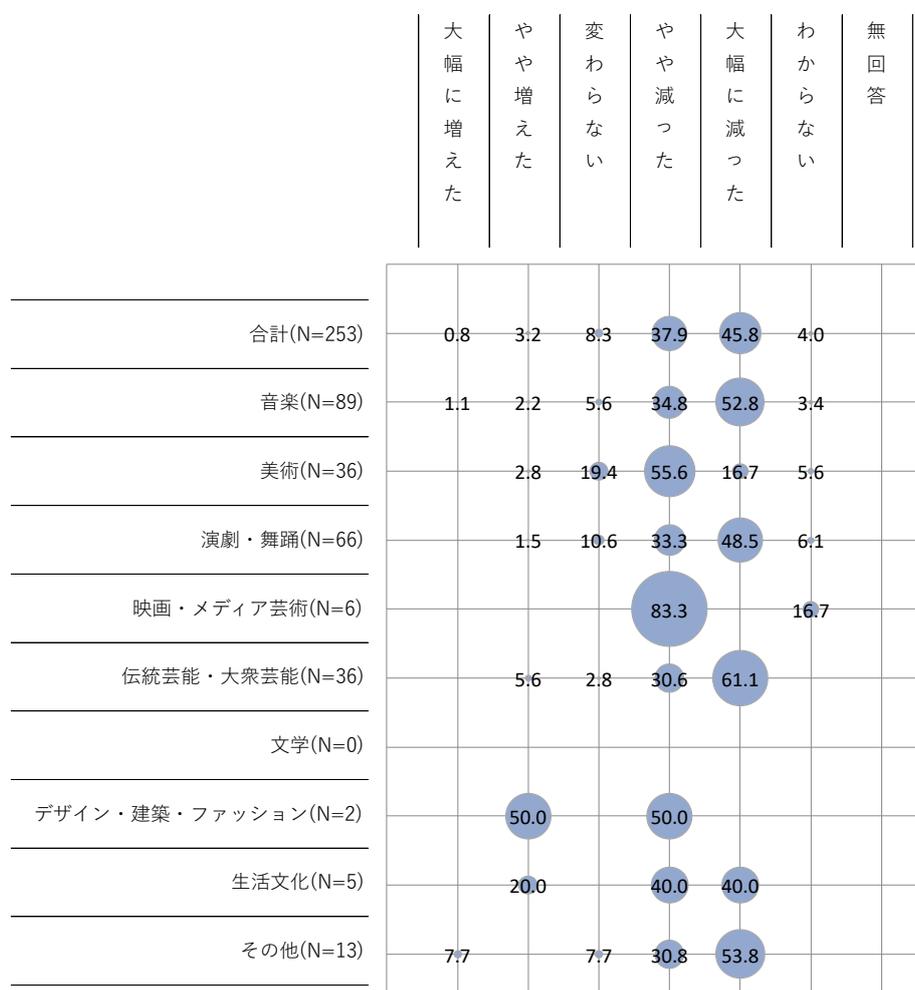


【表現分野別でみた「新型コロナウイルス感染症の影響によるお客さんの増減】

「やや減った」と「大幅に減った」を合わせた『お客さんが減少した』では、「伝統芸能・大衆芸能(N=36)」(91.7%)、「音楽(N=89)」(87.6%)、「その他(N=13)」(84.6%)、「演劇・舞踊(N=66)」(81.8%)が8割を超えています。

「大幅に減った」では、「伝統芸能・大衆芸能(N=36)」(61.1%)、「その他(N=13)」(53.8%)、「音楽(N=89)」(52.8%)が他の分野より高くなっています。

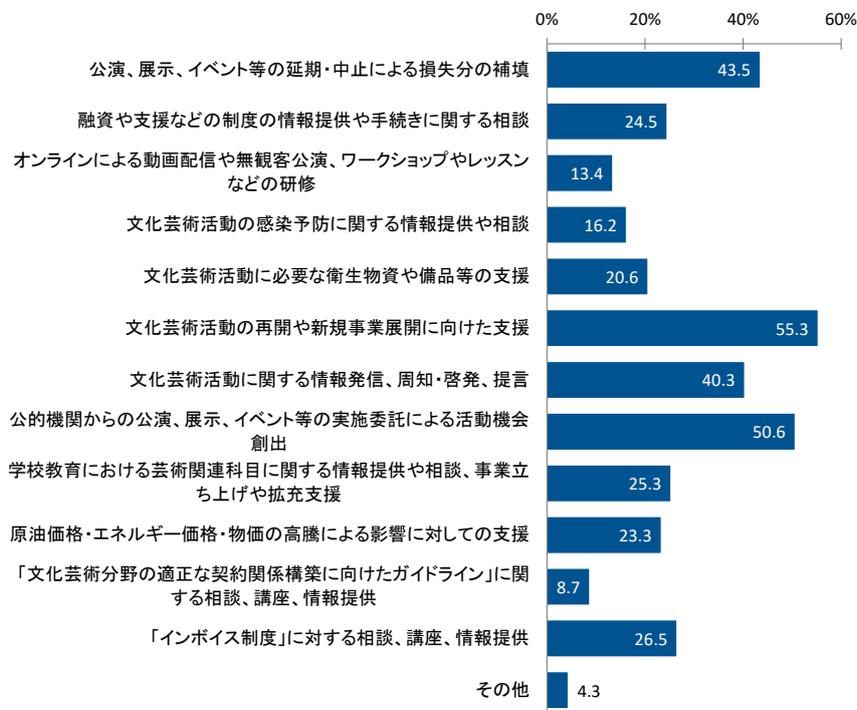
(問7 表現分野) × 問15 新型コロナウイルス感染症の影響により、以前よりお客さんが増えているか、または減っているかについて教えてください。



問 16 文化芸術活動に対して貴団体・事業所が今後必要としている支援（複数回答）

「文化芸術活動の再開や新規事業展開に向けた支援」（55.3%）、「公的機関からの公演、展示、イベント等の実施委託による活動機会創出」（50.6%）、「公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の補填」（43.5%）、「文化芸術活動に関する情報発信、周知・啓発、提言」（40.3%）、「「インボイス制度」に対する相談、講座、情報提供」（26.5%）、「学校教育における芸術関連科目に関する情報提供や相談、事業立ち上げや拡充支援」（25.3%）、「融資や支援などの制度の情報提供や手続きに関する相談」（24.5%）、「原油価格・エネルギー価格・物価の高騰による影響に対する支援」（23.3%）、「文化芸術活動に必要な衛生物資や備品等の支援」（20.6%）の順で回答が多くなっています。

問 16 貴団体・事業所が文化芸術活動を行うにあたり、今後必要としている支援を教えてください。（N=253）



問 16 【その他】 の場合の自由記述欄について：以下の 10 件の回答がありました。

- 「有能な職員」
- 「定款作成や手続きなどの団体運営のための相談、講座、情報提供」
- 「大阪市の助成金で言えば、クレジットカードが使えないなど、非常に使いにくいことを正してほしい。また、団体構成員への支払いができないのも問題です。通常小規模団体は、その団体がプロのチームであるため、彼らへ仕事を振るのが普通ですが、大阪の芸術助成はそのような使い方ができない。」
- 「施設改修に伴う補助金支援」
- 「指定管理者制度における利用料金の補填」
- 「公演に対する支援」
- 「円安対策」
- 「ハラスメント研修や相談窓口」
- 「コロナ対策の結果普通になった、オンラインコンテンツや EC サイト等の新しい対応をする新規人材の育成」
- 「コロナ禍以降も継続的な経済支援」

【所在地域別にみた「今後必要としている支援」】

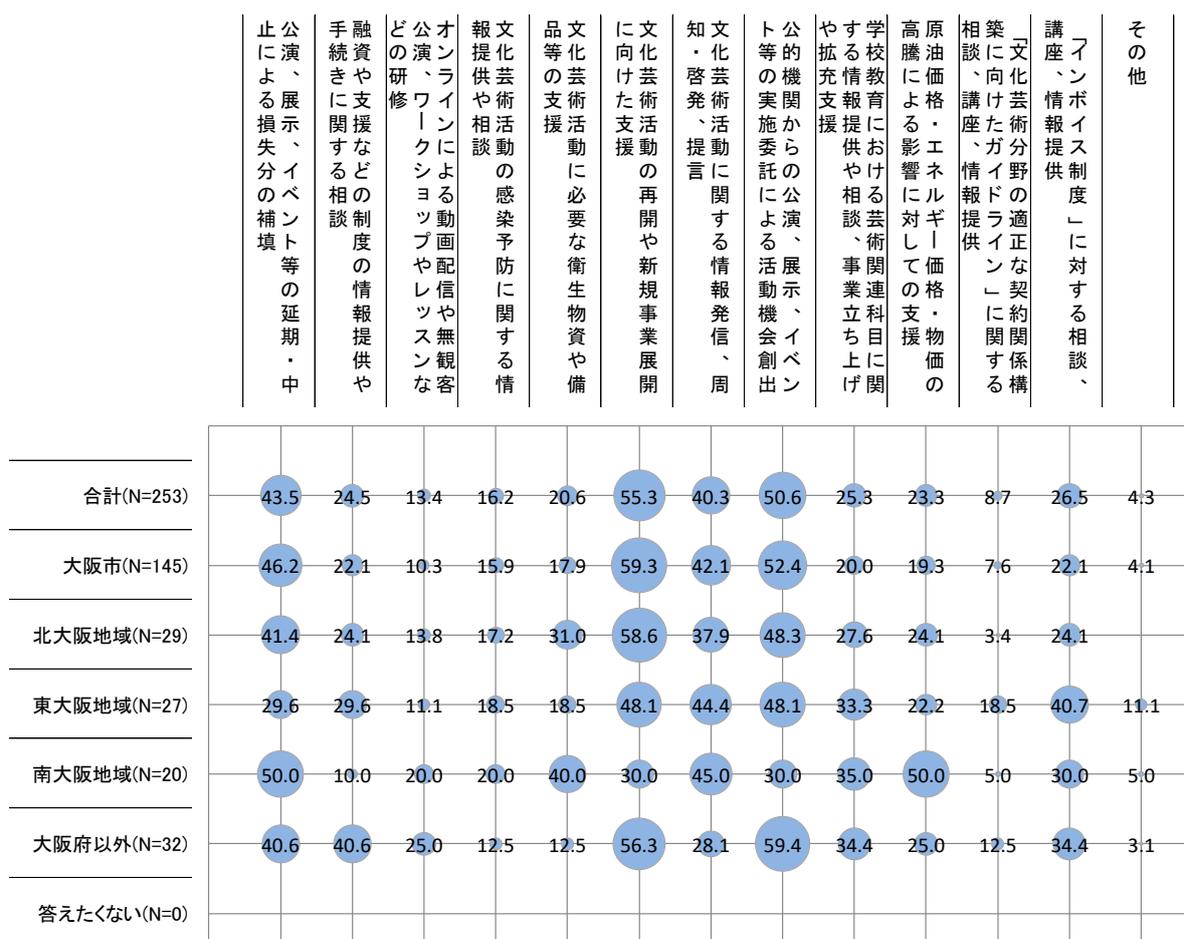
「公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の補填」では、「大阪市」・「北大阪地域」・「南大阪地域」・「大阪府以外」は4割以上ですが、「東大阪地域」(29.6%)は低くなっています。

「文化芸術活動の再開や新規事業展開に向けた支援」では、「大阪市」・「北大阪地域」・「東大阪地域」・「大阪府以外」は5割前後ですが、「南大阪地域」(30.0%)は低くなっています。

「文化芸術活動に関する情報発信、周知・啓発、提言」では、「大阪市」・「北大阪地域」・「東大阪地域」・「南大阪地域」は4割前後ですが、「大阪府以外」(28.1%)は低くなっています。

「公的機関からの公演、展示、イベント等の実施委託による活動機会創出」では「大阪市」・「北大阪地域」・「東大阪地域」・「大阪府以外」は5割前後ですが、「南大阪地域」(30.0%)は低くなっています。

(問1 所在地域) × 問16 貴団体・事業所が文化芸術活動を行うにあたり、今後必要としている支援を教えてください。



【表現分野別でみた「文化芸術活動を行うにあたり、今後必要としている支援】

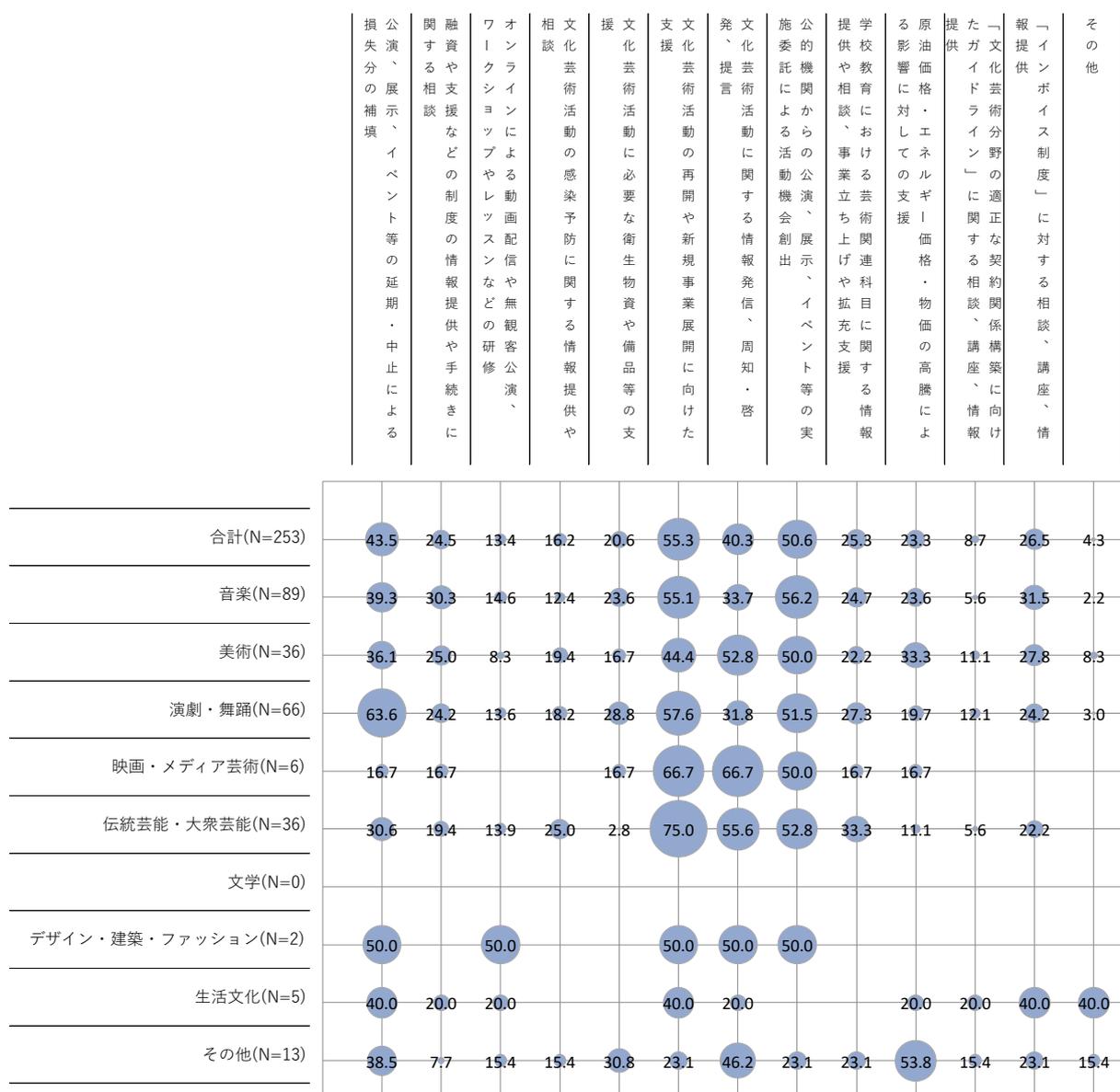
「公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の補填」では、「演劇・舞踊」(63.6%)は他の表現分野より高くなっています。

「文化芸術活動の再開や新規事業展開に向けた支援」では、「伝統芸能・大衆芸能」(75.0%)は他の表現分野より高くなっています。

「文化芸術活動に関する情報発信、周知・啓発、提言」では、「伝統芸能・大衆芸能」(55.6%)、「美術」(52.8%)は他の表現分野より高くなっています。

「公的機関からの公演、展示、イベント等の実施委託による活動機会創出」では、「その他」(46.2%)が高くなっているほかは、表現分野別に大きな差はありません。

(問7 表現分野) × 問16 貴団体・事業所が文化芸術活動を行うにあたり、今後必要としている支援を教えてください。



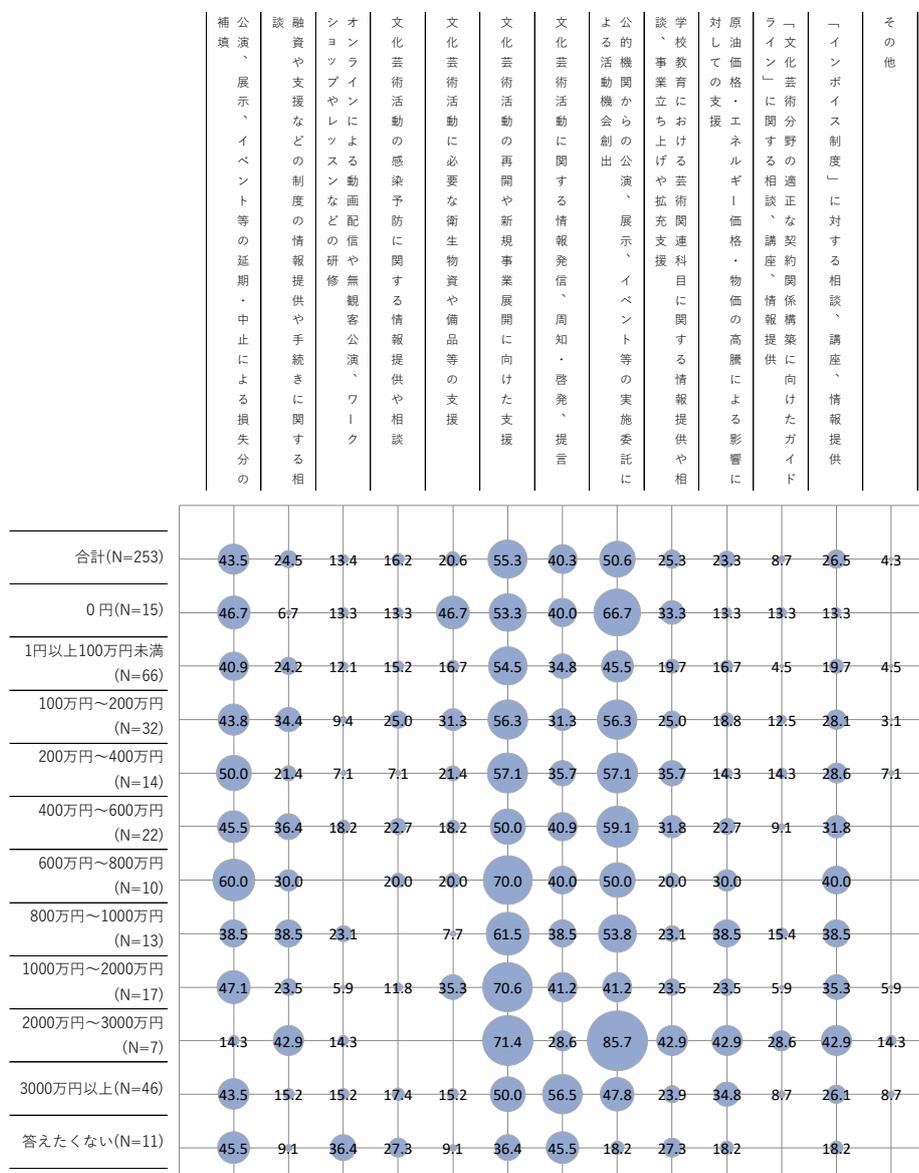
【文化芸術活動における直近の年度の総収入別でみた「文化芸術活動を行うにあたり、今後必要としている支援】

「公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の補填」では、『0円（以上）～2000万円（未満）』の収入層のうち約4割以上が必要であると回答しています。

「文化芸術活動の再開や新規事業展開に向けた支援」では、収入について「答えたくない」とした層を除くすべての収入層で5割以上が必要であると回答していますが、その中でも『600万円（以上）～3000万円（未満）』ではやや高い傾向がみられます。

「公的機関からの公演、展示、イベント等の実施委託による活動機会創出」では、「0円」が約7割、『1円(以上)～1000万円(未満)』は5～6割前後となっています。

（問9 文化芸術活動における直近の年度の総収入） × 問16 貴団体・事業所が文化芸術活動を行うにあたり、今後必要としている支援を教えてください。

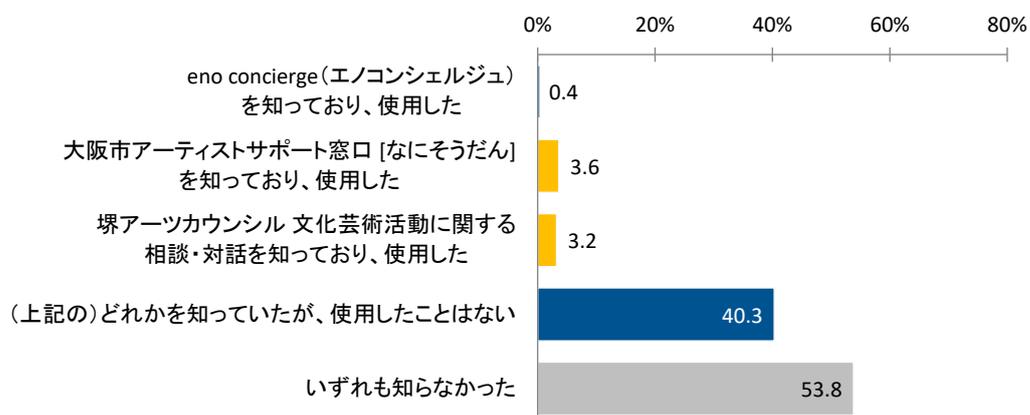


問 17 大阪府内にアーティストや文化芸術団体の相談窓口があることを知っていますか？また、実際に相談したことはありますか？（複数回答）

※相談窓口：「eno concierge（エノコンシェルジュ）」、「大阪市アーティストサポート窓口 [なにそうだん]」、「堺アーツカウンシル 文化芸術活動に関する相談・対話」

「大阪市アーティストサポート窓口 [なにそうだん] を知っており、使用した」（3.6%）、「堺アーツカウンシル 文化芸術活動に関する相談・対話を知っており、使用した」（3.2%）、「eno concierge（エノコンシェルジュ）を知っており、使用した」（0.4%）、「（上記の）どれかを知っていたが、使用したことはない」（40.3%）で、『知っていた』（46.2%）、「いずれも知らなかった」（53.8%）となっています。

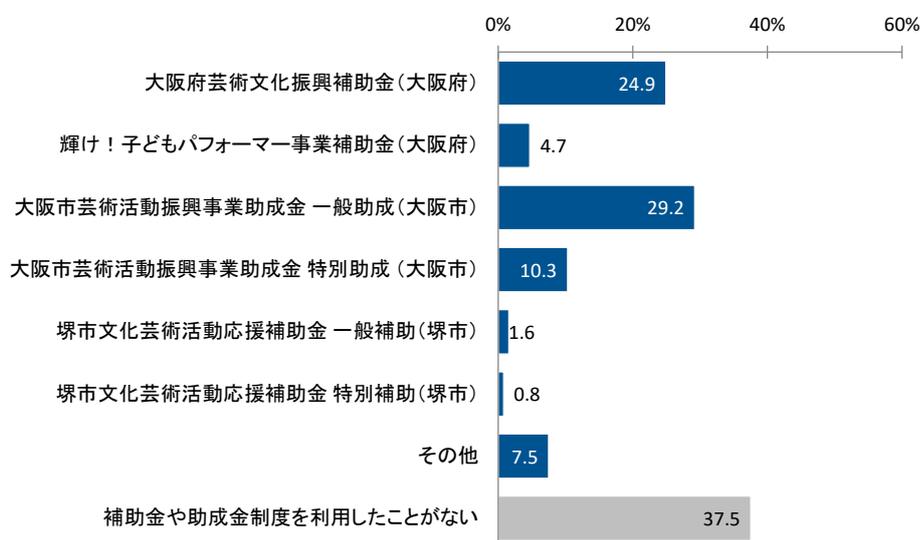
問 17 大阪府内にアーティストや文化芸術団体の相談窓口があることを知っていますか？また、実際に相談したことはありますか？（N=253）



問 18 大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村が行っている、文化芸術活動を支援する補助金や助成金制度を利用したことがありますか？（複数回答）

「大阪市芸術活動振興事業助成金 一般助成（大阪市）」（29.2%）、「大阪府芸術文化振興補助金（大阪府）」（24.9%）、「大阪市芸術活動振興事業助成金 特別助成（大阪市）」（10.3%）、「その他」（7.5%）、「輝け！子どもパフォーマー事業補助金（大阪府）」（4.7%）、「堺市文化芸術活動応援補助金 一般補助（堺市）」（1.6%）、「堺市文化芸術活動応援補助金 特別補助（堺市）」（0.8%）で、『補助金や助成金制度を利用したことがある』（62.5%）、「補助金や助成金制度を利用したことがない」（37.5%）となっています。

問 18 大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村が行っている、文化芸術活動を支援する補助金や助成金制度を利用したことがありますか？（N=253）



問 18 【その他】 の場合の自由記述欄について：以下の 12 件の回答がありました。

- 「文化施設の活動継続・発展等支援事業（劇場・音楽堂等）」
- 「文化芸術振興費補助金(文化庁)」
- 「大阪文化芸術創出事業補助金」
- 「大阪文化芸術創出事業（活動支援）補助金」
- 「大阪文化芸術創出事業」
- 「大阪市北区福祉ボランティア応援資金」
- 「大阪市芸術・文化団体サポート事業」
- 「京都市文化芸術活動緊急奨励金」
- 「岸和田市」
- 「なにわの芸術応援募金」
- 「コミュニティ助成」
- 「知っているが活動内容に当てはまるものがない。」

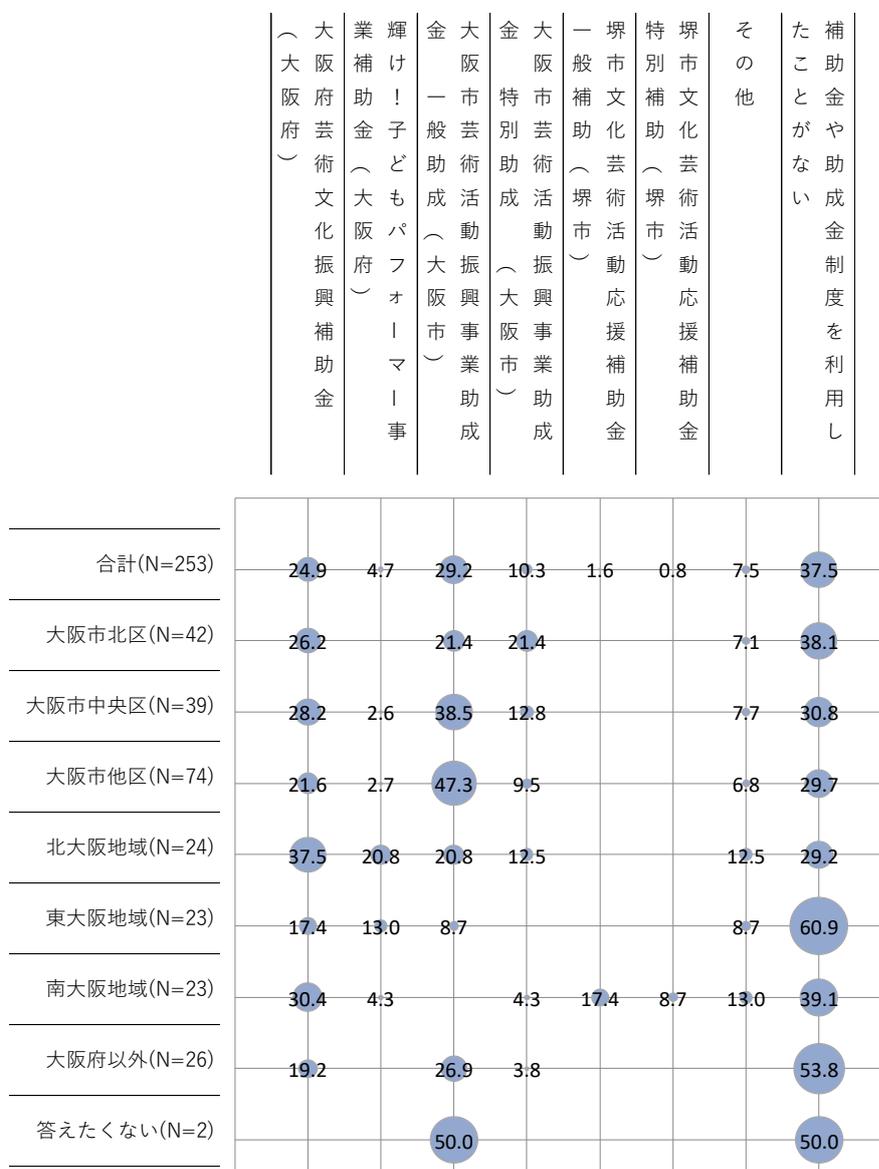
【主な活動地域（6地域）別でみた「文化芸術活動を支援する補助金や助成金制度の利用状況」】

「大阪市芸術活動振興事業助成金 一般助成（大阪市）」では、「大阪市他区」（47.3%）、「大阪市中央区」（38.5%）、「大阪府以外」（26.9%）の順に利用した経験が多くなっています。

また、「大阪府芸術文化振興補助金（大阪府）」では、「北大阪地域」（37.5%）、「南大阪地域」（30.4%）、「大阪市中央区」（28.2%）、「大阪市北区」（26.2%）の順に利用した経験が多くなっています。

「補助金や助成金制度を利用したことがない」では、「東大阪地域」（60.9%）、「大阪府以外」（53.8%）が多くなっています。

（問3 主な活動地域（6地域）） × 問18 大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村が行っている、文化芸術活動を支援する補助金や助成金制度を利用したことがありますか？



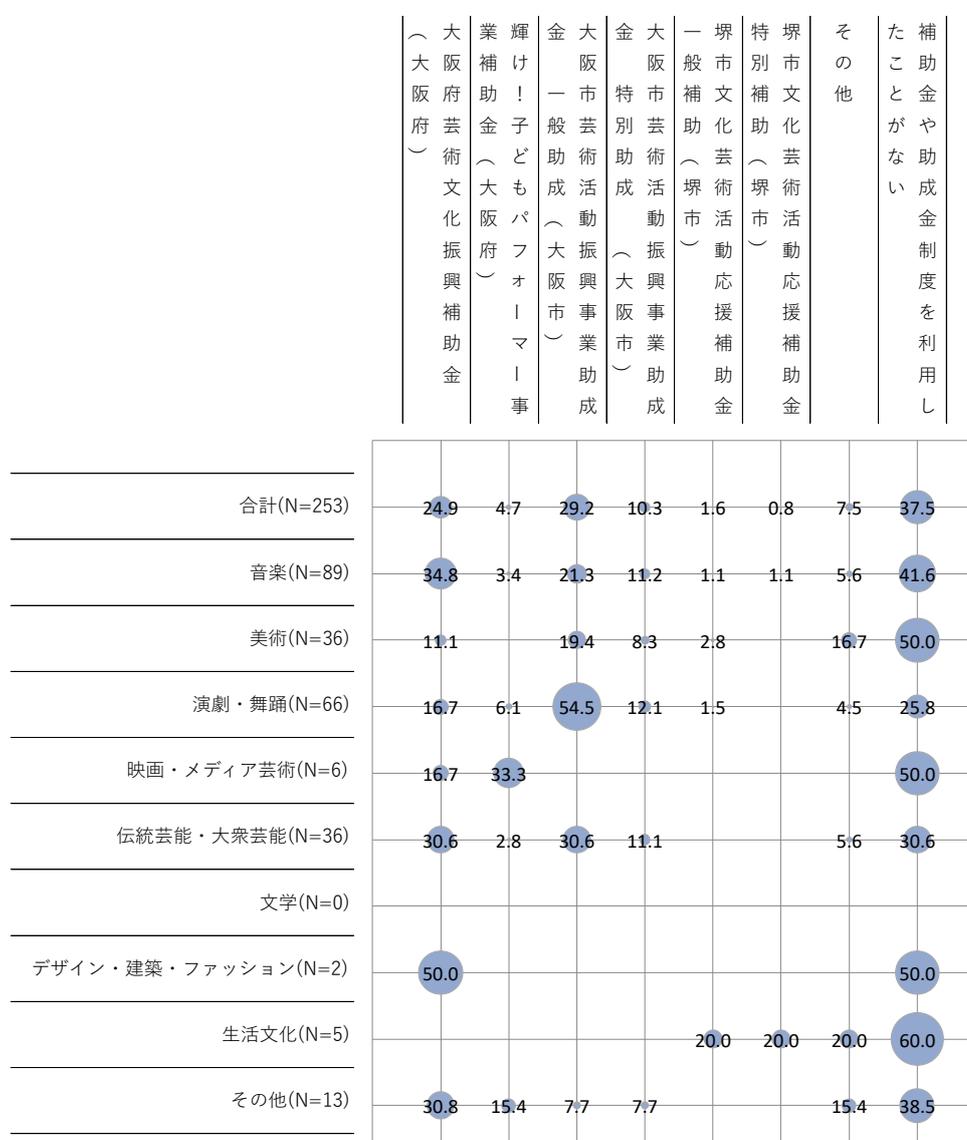
【表現分野別でみた「文化芸術活動を支援する補助金や助成金制度の利用状況】

「大阪市芸術活動振興事業助成金 一般助成（大阪市）」では、「演劇・舞踊」（54.5%）、「伝統芸能・大衆芸能」（30.6%）、「音楽」（21.3%）の順に利用した経験が多くなっています。

「大阪府芸術文化振興補助金（大阪府）」では、「音楽」（34.8%）、「その他」（30.8%）、「伝統芸能・大衆芸能」（30.6%）の順に利用した経験が多くなっています。

「補助金や助成金制度を利用したことがない」では、「美術」（50.0%）、「音楽」（41.6%）、「その他」（38.5%）は他の表現分野より高くなっています。

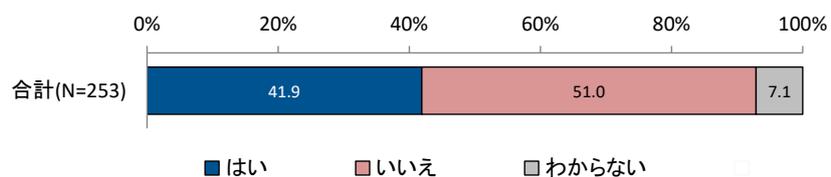
（問7 表現分野） × 問18 大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村が行っている、文化芸術活動を支援する補助金や助成金制度を利用したことがありますか？



問 19 大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村の文化事業に関わったことはありますか？（補助金・助成金事業は除く）

「はい」(41.9%)、「いいえ」(51.0%)、「わからない」(7.1%) となっています。

問 19 貴団体・貴事業所はこれまで大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村の文化事業に関わったことはありますか？



【主な活動地域（6地域）別でみた「大阪府や市町村の文化事業との関わりの有無」】

「はい（文化事業に関わったことがある）」では、「東大阪地域」（52.2%）、「南大阪地域」（47.8%）、「北大阪地域」（45.8%）がやや高く、その他の地域は4割前後となっています。

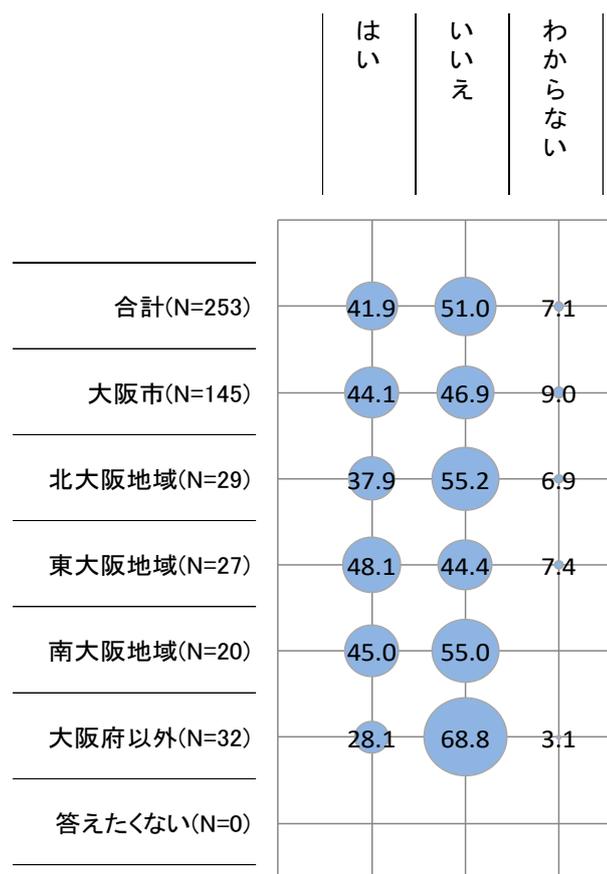
（問3 主な活動地域（6地域）） × 問19 大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村の文化事業に関わったことはありますか？



【所在地域別でみた「大阪府や市町村の文化事業との関わりの有無」】

「はい（文化事業に関わったことがある）」では、「東大阪地域」（48.1%）、「南大阪地域」（45.0%）、「大阪市」（44.1%）が高く、「北大阪地域」（37.9%）、「大阪府以外」（28.1%）は低くなっています。

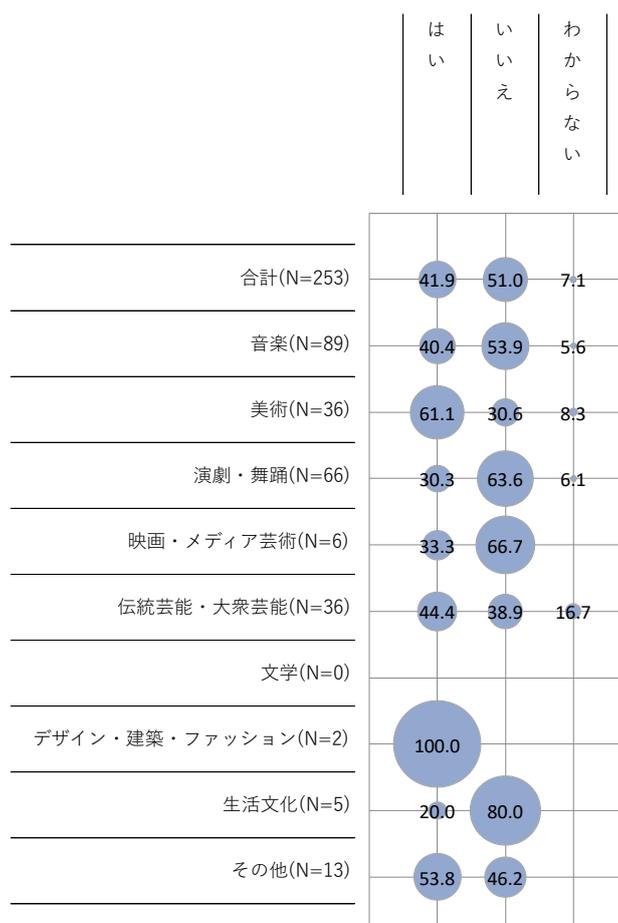
（問1 所在地域）× 問19 大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村の文化事業に関わったことはありますか？（補助金・助成金事業は除く）



【表現分野別でみた「大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村の文化事業への関わりの有無】

「はい(文化事業に関わったことがある)」では、「美術」(61.1%)、「その他」(53.8%)、「伝統芸能・大衆芸能」(44.4%)は他の表現分野より高くなっています。

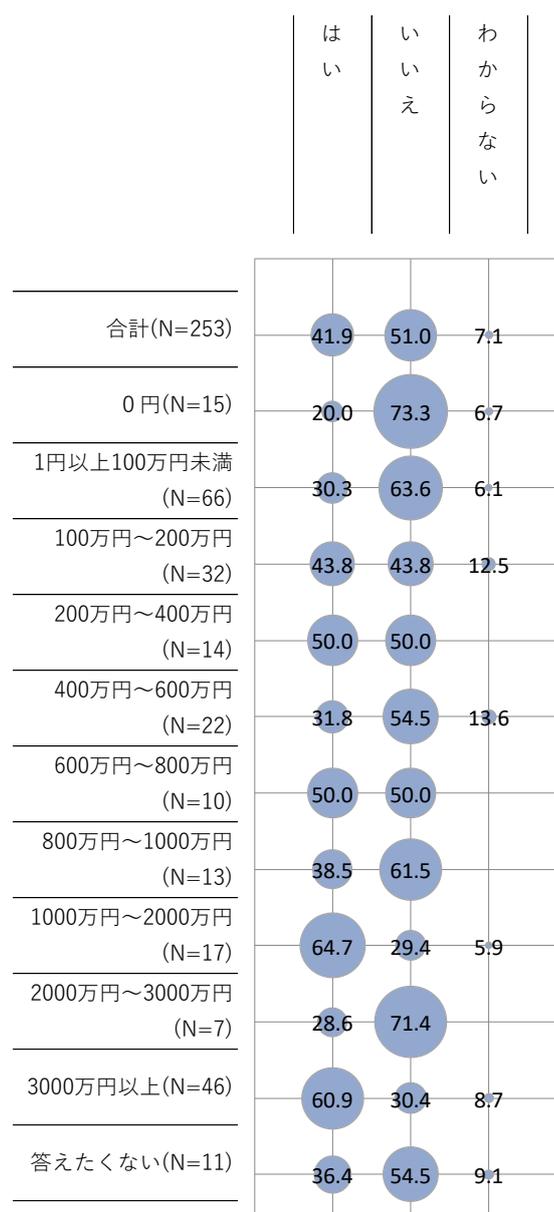
(問7 表現分野) × 問19 大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村の文化事業に関わったことはありますか？(補助金・助成金事業は除く)



【文化芸術活動における直近の年度の総収入別でみた「大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村の文化事業への関わりの有無】

「はい（文化事業に関わったことがある）」では、「1000万円（未満）～2000万円（以上）」（64.7%）、「3000万円以上」（60.9%）は他の収入層より高くなっています。

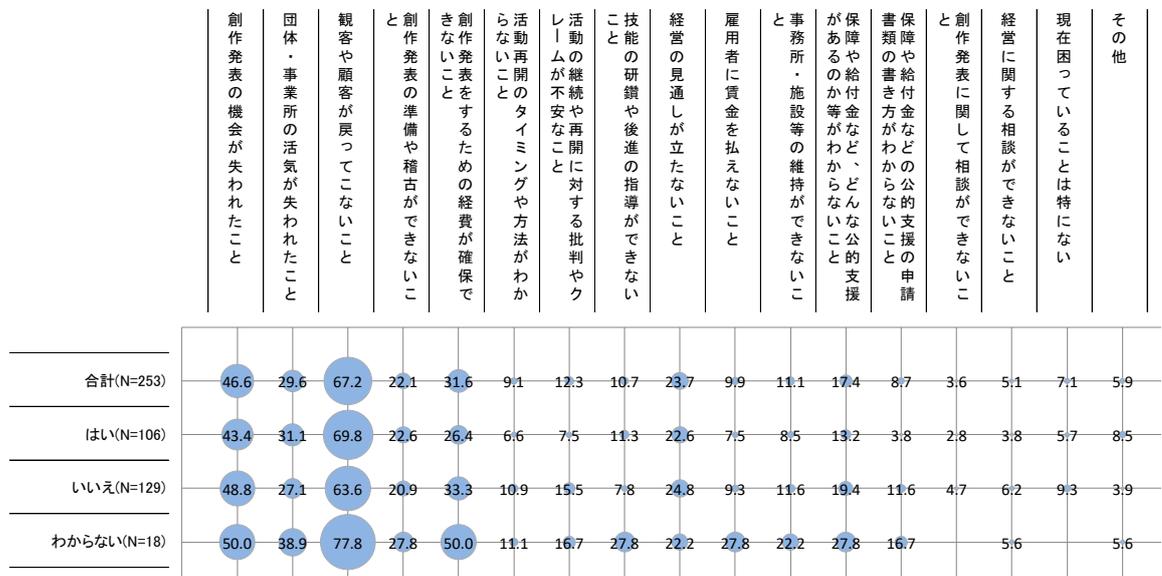
（問9 文化芸術活動における直近の年度の総収入）× 問19 大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村の文化事業に関わったことはありますか？



【「大阪府や市町村の文化事業に関わった経験の有無」別でみる「【現在】の文化芸術活動について困っていること】

大阪府や市町村の文化事業に関わった経験の有無において、「困っていること」全般に大きな差はみられません。

問 19 大阪府や市町村の文化事業に関わった経験の有無 × (問 14 新型コロナウイルス感染症の影響により、【現在】の文化芸術活動について困っていることを教えてください。)

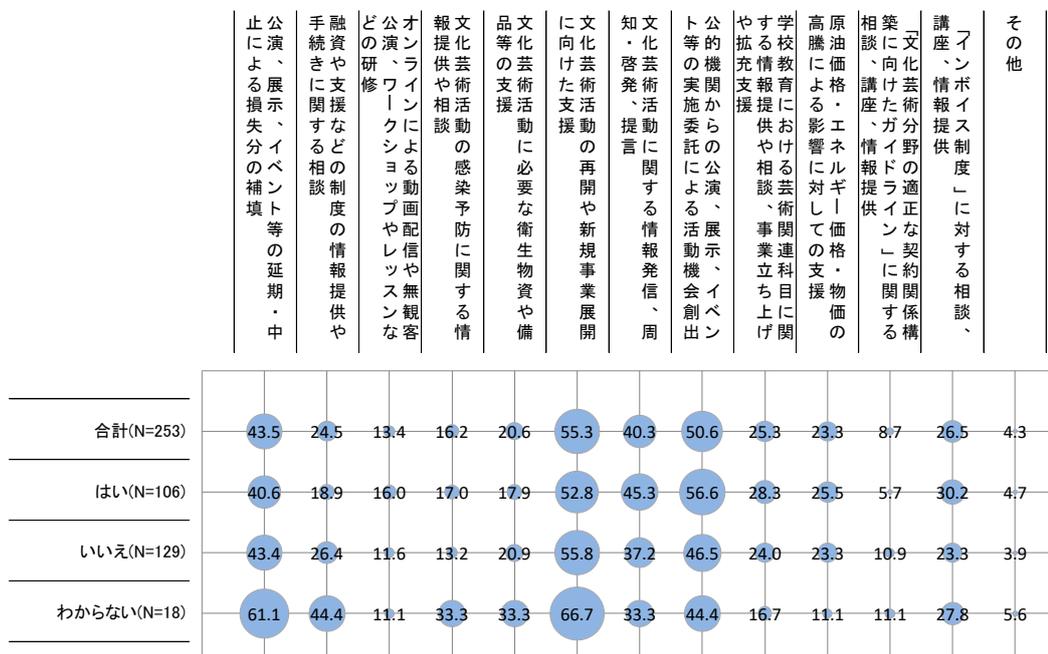


【大阪府や市町村の文化事業に関わった経験の有無別でみる「今後必要としている支援」】

「はい」と「いいえ」を比較すると、「公的機関からの公演、展示、イベント等の実施委託による活動機会創出」「文化芸術活動に関する情報発信、周知・啓発、提言」については、「はい」が「いいえ」よりも高い傾向がみられます。

また、「融資や支援などの制度の情報提供や手続きに関する相談」「文化芸術分野の適正な契約関係構築に向けたガイドライン」に関する相談、講座、情報提供」については、「いいえ」が「はい」よりも高い傾向がみられます。

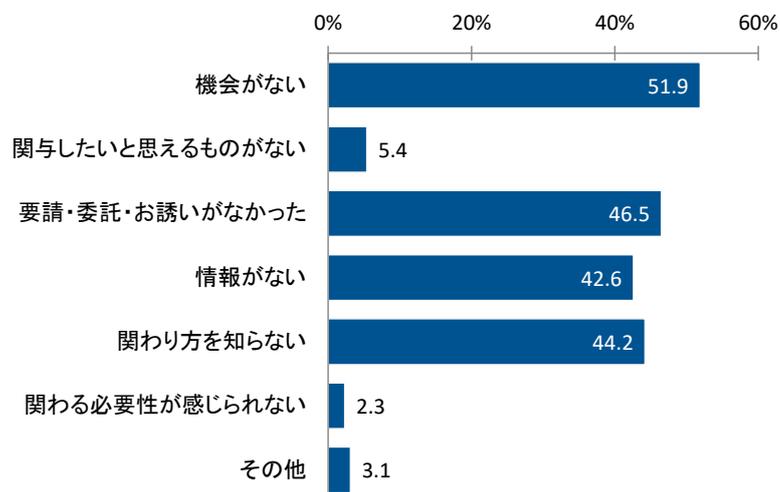
問 19 大阪府や市町村の文化事業に関わった経験の有無 × （問 16 貴団体・事業所が文化芸術活動を行うにあたり、今後必要としている支援を教えてください。）



問 19-1 問 19 で「いいえ」と答えた理由（複数回答）

「機会がない」（51.9%）、「要請・委託・お誘いがなかった」（46.5%）、「関わり方を知らない」（44.2%）、「情報がない」（42.6%）となっています。

問 19 - 1 設問 19 に「いいえ」と答えた方は、その理由について教えてください。（N=129）



問 19-1【その他】の場合の自由記述欄について：以下の 4 件の回答がありました。

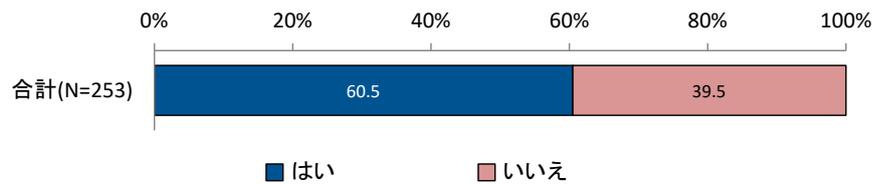
- 「人員不足のため」
- 「親設団体の為」
- 「〇〇〇〇 [自治体名] の外郭団体であるため」
- 「会社を立ち上げたのが今年なので。」

### 3. 大阪アーツカウンシル・堺アーツカウンシルについて

問 20 大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルのことを知っていますか？

「はい」(60.5%)、「いいえ」(39.5%) となっています。

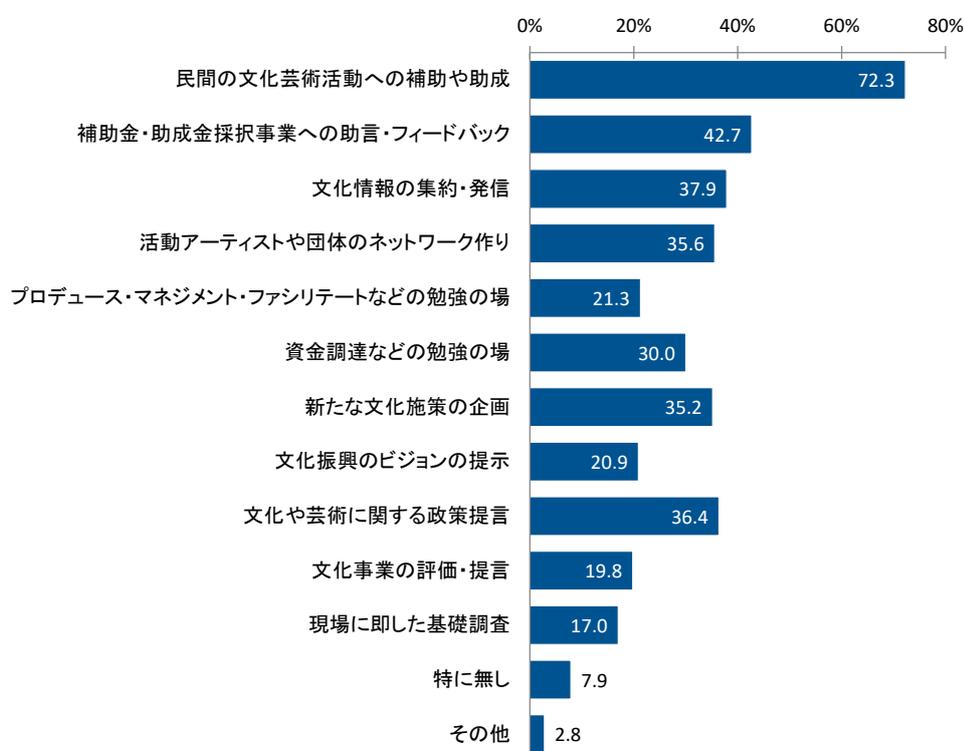
問 20 大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルのことを知っていますか？



問 21 大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルに期待する役割(複数回答)

「民間の文化芸術活動への補助や助成」(72.3%)、「補助金・助成金採択事業への助言・フィードバック」(42.7%)、「文化情報の集約・発信」(37.9%)、「文化や芸術に関する政策提言」(36.4%)、「活動アーティストや団体のネットワーク作り」(35.6%)、「新たな文化施策の企画」(35.2%)、「資金調達などの勉強の場」(30.0%)、「プロデュース・マネジメント・ファシリテートなどの勉強の場」(21.3%)、「文化振興のビジョンの提示」(20.9%)、「文化事業の評価・提言」(19.8%)、「現場に即した基礎調査」(17.0%)、「特に無し」(7.9%)、「その他」(2.8%) となっています。

問 21 大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルに期待する役割はありますか？ある場合、その内容について教えてください。(N=253)



問 21 【その他】 の場合の自由記述欄について：以下の 6 件の回答がありました。

- 「中央政府の文化政策と連携した連携、パイプ役」
- 「創客、アウトリーチ」
- 「広告支援」
- 「教育や福祉、医療の現場等、アーティストが文化芸術の枠を超えて活躍出来る場の創出。」
- 「あまり必要ない」
- 「①DX 化への支援、②多忙であっても気軽に利用できる環境づくり」

【主な活動地域（6地域）別でみた「大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルに期待する役割】

「民間の文化芸術活動への補助や助成」では、ほとんどの地域が6割以上となっていますが、南大阪地域では43.5%と低くなっています。

「補助金・助成金採択事業への助言・フィードバック」では、「東大阪地域」(60.9%)、「北大阪地域」(45.8%)、「大阪市他区」(44.6%)、「大阪市北区」(42.9%)が高くなっています。

「文化情報の集約・発信」では、全地域において3～4割で大きな差はみられません。

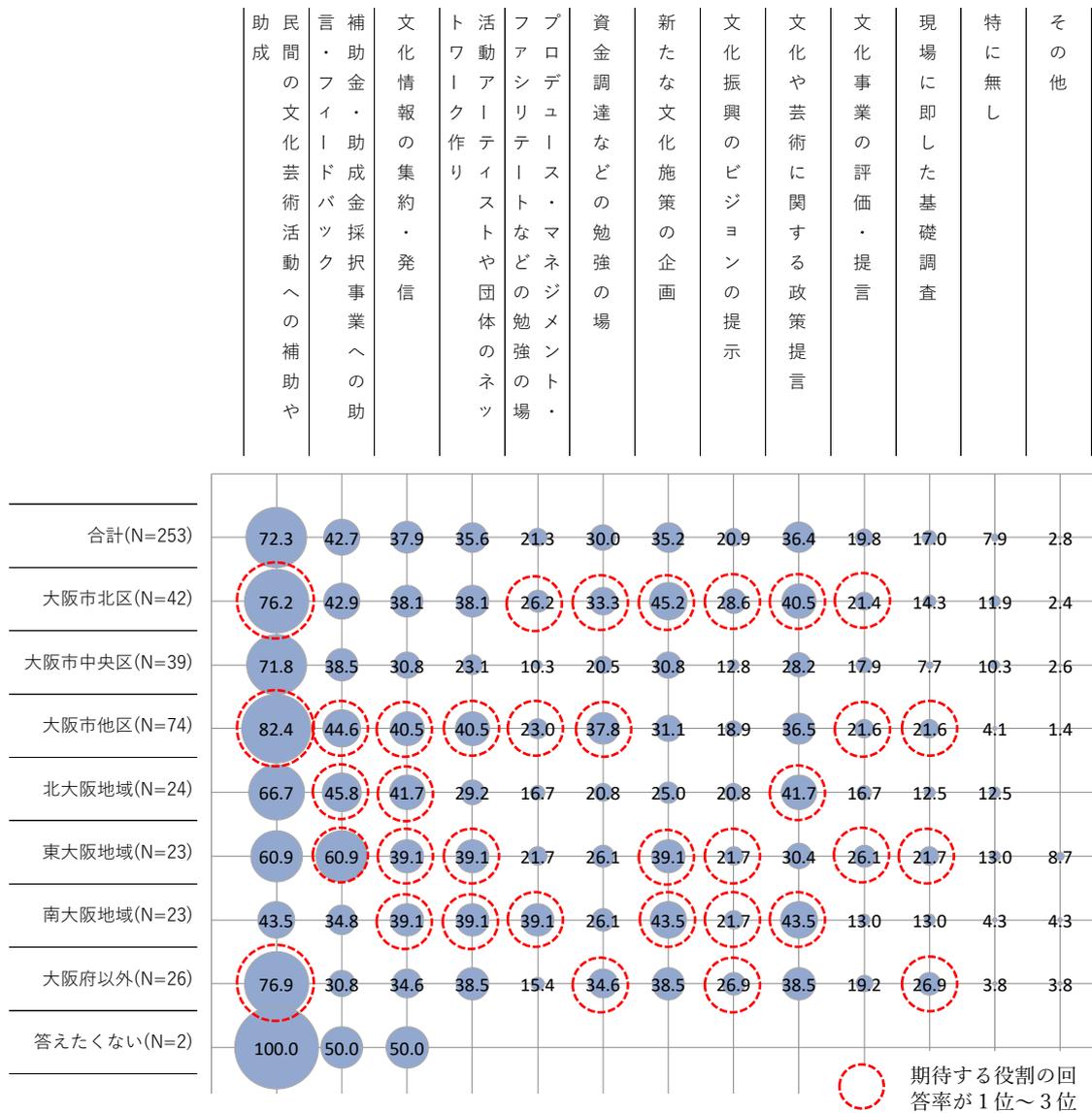
「活動アーティストや団体のネットワーク作り」では、「大阪市中央区」(23.1%)、「北大阪地域」(29.2%)を除き、4割前後となっています。

「文化や芸術に関する政策提言」では、「南大阪地域」(43.5%)、「北大阪地域」(41.7%)、「大阪市北区」(40.5%)は他の地域より高くなっています。

「新たな文化施策の企画」では「大阪市北区」(45.2%)、「南大阪地域」(43.5%)、「東大阪地域」(39.1%)は他の地域より高くなっています。

期待する役割の回答率が1位～3位となっている地域をみると、「大阪市他区」は8個、「大阪市北区」と「東大阪地域」は7個、「南大阪地域」は6個で、大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルに期待する役割が強いとみられます。「南大阪地域」については、財政的支援への期待よりも、政策提言や文化施策の企画などへの役割への期待が強いとみられます。

(問3 主な活動地域(6地域)) × 問21 大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルに期待する役割はありますか?ある場合、その内容について教えてください。



#### 4. その他

問 22 2025 年に開催される大阪・関西万博の機運醸成に向けてどのような形で関わってみたいと考えますか？

153 件の回答（回答者 153 人）がありました。

分野別には、「関わりたい・関わるつもりである」（67.3%）、「条件によっては関わりたい」（1.3%）、「関わり方が不明」（4.6%）、「わからない・未定・特になし・検討中」（8.5%）、「関わりたくない・興味や関心がない」（7.8%）となっているほか、「参加機会・参加方法・参加条件などについての要望・希望」についての回答（7.8%）もありました。

#### 問 22 大阪・関西万博の機運醸成への関わり方

カテゴリー		件数（件）	構成比(%)
関わりたい・ 関わるつもりである	音楽	22	14.4
	美術	4	2.6
	演劇	5	3.3
	舞踊	2	1.3
	写真・映像	1	0.7
	伝統芸能・大衆芸能・生活文化	8	5.2
	企画・運営・技術	14	9.2
	アーティスト支援	1	0.7
	イベント参加	1	0.7
	PRや情報発信	5	3.3
	ワークショップ	3	2.0
	その他	37	24.2
条件によっては関わりたい		2	1.3
関わり方が不明		7	4.6
わからない・未定・特になし・検討中		13	8.5
関わりたくない・興味や関心がない		12	7.8
参加機会・参加方法・参加条件などについての要望・希望		12	7.8
その他		4	2.6
合計		153	100.0

## 【回答の概要】

[関わりたい・関わるつもりである] (個人：60.1%、団体・法人：67.3%)

各回答者から、「自身・自団体の表現分野・技能分野を生かして大阪・関西万博の機運醸成に関わりたい」「関わるつもりである」という意見が挙げられました。具体的な携わり方としては、「万博による人の往来が期待できる場所でのイベントの実施」「世界に向けた宣伝映像の作成」「関西・大阪の文化の魅力を掘り下げ発信する公演」「大阪の文学を英語で海外に発信する取り組み」「チームを組んでの大きな作品作り」「障がいのある方の来場に対するサポート」「伝統芸能を気軽に体験できるブースの出展」「万博の機運に乗じつつも一過性で終わらず万博後にも大阪の文化が醸成されていくような取り組み」などの回答がありました。

[条件によっては関わりたい] (個人：3.4%、団体・法人：1.3%)

「ボランティアとしてではなく、有償での活動であれば関わりたい」という意見が複数挙げられていました。また、「大阪・関西万博のみを目的とした事業ではなく、もっと広い目的の事業があれば関わりたい」「大阪府下で広く展開される事業があれば積極的に参加したい」などの意見もありました。

[関わり方が不明] (個人：3.4%、団体・法人：4.6%)

万博に関与する機会に興味を持ちつつも、「具体的な参加方法や募集に関する情報が不足している」「人材や事業者の募集に関する情報が入ってこないのどう関われるのかわからない」などの意見が挙げられていました。また、「万博となると公的団体や大手（の団体等）にしか声がかからないのではないか」「自身・自団体（個人アーティスト・小規模なNPO・地域会館など）にとっては参加への門戸が狭いと感じている」などの意見も複数ありました。

[わからない・未定・特になし・検討中] (個人：10.3%、団体・法人：8.5%)

「(関わり方について) イメージがつかない」及び「現時点では(具体的な関わり方や参加意向について) 決定していない」という回答が複数挙げられていました。また、「自分たちの現在の活動に集中しているため具体的には考えられない」「自団体との活動と万博との間に関連がない」という意見もありました。

[関わりたくない・興味や関心がない] (個人：13.3%、団体・法人：7.8%)

「万博の開催・機運醸成よりも、文化活動に対する支援の方が優先されるべきである」という意見や、「大規模なイベントによって個々の創作活動が埋没することを危惧している」などの意見がありました。

[参加機会・参加方法・参加条件などについての要望・希望] (個人:6.4%、団体・法人:7.8%)

具体的なジャンル（コンテンポラリーダンス、アンサンブルや声楽、雅楽や舞楽などの古典芸能など）に関する参加機会の創出についての要望が複数寄せられた一方で、「参加するアーティストを公募してほしい」「個人でも関われる機会がほしい」「大手の企業だけではなく小さな事業者にも目を向けてほしい」など、参加への間口を広げることに関する要望も多数寄せられました。また、「これを機にどこかの国や地域との連携を取り持してほしい」「子どもが表現できる場を提供してほしい」などの意見もありました。

[その他] (個人：3.0%、団体：2.6%)

「周りに万博に関わっているアーティストもいるが、自身は自身の活動をただ行うのみである」「経済成長が優先される社会の中で、周縁化されていく人たちに寄り添うような活動がしたい」などの回答がありました。

問 23 文化芸術活動を取り巻く状況に対するご意見や今後の支援策についてのご提案、すでに実践されている取り組みなどがあれば、ご自由にお書きください。

回答者 253 人のうち、125 人から回答がありました。

構成比 (%) を計算するにあたり、回答が複数のカテゴリーに該当すると判断された場合は、該当するカテゴリーごとに 1 件として計上しているため、下記の表では回答の件数 = 総計 159 件と表記しています。

カテゴリー別で見ると、「補助金・助成金など経済的な支援について」(26.4%)、「実践している(または実践したい)取り組みについて」(23.9%)、「その他の支援や施策などについて」(20.8%) が多くなっています。

**問 23 文化芸術活動に対するご意見や支援策のご提案、実践されている取り組み**

カテゴリー		件数 (件)	構成比 (%)
文化芸術活動を取り巻く状況に対する意見や今後の支援策についての提案・要望、その他コメントなど	補助金・助成金など経済的な支援について	42	26.4
	文化芸術のための施設や場所について	10	6.3
	広報・情報発信について	4	2.5
	人材・担い手の育成、活用について	8	5.0
	相談窓口について	2	1.3
	その他の支援や施策などについて	33	20.8
	大阪アーツカウンシルについて	10	6.3
	文化芸術に対する評価について	1	0.6
	他の都市との比較や関わりについて	5	3.1
実践している(または実践したい)取り組みについて		38	23.9
その他		6	3.8
総計		159	100.0

## 【回答の概要】

[補助金・助成金など経済的な支援について] (個人 22.0%、団体・法人 26.4%)

### ○補助金・助成金制度の継続について

調査を実施した時点で実施されていた補助金・助成金事業について、「補助金事業を継続して実施してほしい」「助成金にとっても助けられており、感謝している」「コロナ禍で実施されている経済的な支援について、まだ集客等が回復していないため、当面は継続して実施してほしい」等の意見がありました。

### ○現行の補助金・助成金制度の拡充について

補助金額・助成金額の上限の拡大を求める意見や、補助・助成の対象となる経費や補助・助成方法、補助対象などの拡充を求める意見がありました。

補助・助成の対象経費については、「歴史的建造物等で事業を実施する際に会場を養生するための費用」「備品を購入するための費用」「出演料」などに関する拡充への要望があり、また、「助成金を頂けるのはありがたいが、必要な経費なのに助成の対象にならない経費があり、納得できないことがある」などの意見もありました。

補助・助成方法の拡充については、「資金繰りに苦慮することがあるので概算払いを認めてほしい」「年度をまたぐ事業でも支援してほしい」「複数年度での助成が得やすくなると新しい事業を立ち上げやすくなる」「事業者が赤字を被ることにならないような補助金算定方法の見直しを実施してほしい」などの意見がありました。

補助対象の拡充については、「個人で活動している人に対しても支援を充実させてほしい」という意見や、「現代音楽やコンテンポラリーダンスなど新しい作品」・「マイナーな作品や一般的には解りにくい作品」「伝統芸能の保存」などについても一層の補助・助成を求める意見がありました。

### ○現行の補助金・助成金制度の制度そのものや申請方法などについて

「補助金事業などを活用したいと考えているが、制度がよくわからず困っている」「制度がわかりにくいので申請書類の書き方を教えてほしい」「提出しなければならない書類の記入方法がわかりにくいので様式を改良してほしい」「Excelなどに慣れていないと書類を作成するのに苦労する」「手続きを簡略化してほしい」などの意見がありました。

### ○新たな補助金・助成金や経済的な支援制度の創設について

「台風などの天災やコロナ対応などで公演をキャンセルせざるを得なくなった際のキャンセル料を補填するような補助金」「イベントの開催とセットになっていない文芸活動でも活用できる補助金」「海外で活動を展開するためのフライト費への助成」「海外アーティストの招聘や公演に対する助成」「若手の活動機会創出のみならず、家族や親の介護などを抱える世代である中堅からベテラン層を支援するような補助金」「文化芸術を

支援した企業への税制優遇」「若手アーティストへの住居手当や支援」「文化芸術団体向けの融資制度」「豊岡市の『みらい応援制度（ひとり親家庭文化芸術鑑賞支援事業）』のように、生活に余裕のないような方でも文化芸術活動に触れられるような支援制度」「障がいのある方を文化芸術活動に触れやすくするような活動に対して支援する制度」などを求める意見がありました。

#### ○その他

「助成金が入金されていないことを理由に会場への使用料を期日までに支払わない事業者がいるので助成金だけを頼りに事業をしているような団体の事業を採択しないでほしい」など、補助金・助成金の受け手側の対応を問題視する意見や、「世界に誇れる人材や団体が大阪に根付くよう、文化芸術団体への評価を見直し、メリハリのある助成制度を構築してほしい」「薄く広く行う助成がよいのか、選択と集中による助成がよいのか気になる」など、補助金・助成金制度そのものの在り方についての意見もありました。

[文化芸術のための施設や場所について]（個人 5.8%、団体・法人 6.3%）

#### ○活動場所の新設・充実について

「区民センター等以外の環境の整った創作の場」「比較的安価で使いやすい小劇場」「アーティストやプロデューサーが創造活動に集中して実力を育むことができるような、インキュベーション機能のあるような公立のアートセンター」「公立で音響のよい150～300席規模のホール」などの新設・充実に対する要望がありました。また、「演劇の稽古場にできるところがない」「区民センター等の会議室はほとんどのところが演劇がNGで、OKのところは競争率が激しく予約が取りづらい」「音楽活動のリハーサルができる施設は少ないが活動団体数が多いため、場所の取り合いになっている」など活動場所の不足に対する窮状を訴える意見もありました。そのほか、「空き家や取り壊し前の建物などを安価に貸し出して制作や発表の場を作ってほしい」「廃校や工場などを活用して長期的に使用できる制作スペースとして開放する取り組みを行ってほしい」などのアイデアも寄せられました。

#### ○既存の施設について

既存の公共施設の運営の改善や運営予算の充実、老朽化への対応を求める意見がありました。

#### ○文化芸術活動へのアクセシビリティの改善について

「多様な方が観劇に訪れることができるように文化施設はインクルーシブな空間を実現すべき」「演劇における合理的配慮を促進するため、行政は音声ガイド、舞台手話つき公演、専門人材の養成などのあらゆる観劇サポートを主導すべき」などの意見がありました。

[広報・情報発信について] (個人 4.7%、団体・法人 2.5%)

○行政側からの広報・情報発信及び回答者自身の広報発信への支援等への要望について

「助成金などの情報が入手しづらい」「様々な支援策などの情報がすべてのアーティストに届くようにしてほしい」など、行政側からの広報・情報発信について充実を求める意見がありました。また、回答者自身の広報発信に触れ、「少ない予算での広報に限界を感じているので、まとまった情報発信など文化へ目を向けてもらう支援策があれば嬉しい」「情報発信できる範囲が狭く、集客に苦労しているので、一括で情報発信できる場があれば情報を発信する側も受け取る側も便利なのではないか」など、広報発信への協力・支援を行政等に求める意見も寄せられました。

[人材・担い手の育成、活用について] (個人 3.1%、団体・法人 2.5%)

○人材の育成・活用について

「コロナ禍以前から経済的に不安定で、個人の気持ちで持ちこたえている状態なのでどうにか打破したいが、若手の人材を受け入れて後継者を育てていく余裕もない」「業界における人手不足が深刻だが、理由は低待遇によるものである。しかし収益事業を強化するにも人材が必要であり、資金不足と人手不足の悪循環を止める手立てを何とか考えたい」など、文化芸術分野での経済的な課題と人材不足のつながりについて悩んでいるという意見がありました。また、人材の育成・活用方法について、「若手及び中堅プロデューサー等を対象とした研修制度やチャレンジができる機会の創出を望む」「人材育成につながる事業を担える人材の募集・発掘・登録を制度化していくのもひとつの案ではないか」「芸術家だけでなく文化芸術に携わる専門人材を育成したりネットワーク化を図ったりしてほしい」などの要望やアイデアも寄せられました。

○担い手の育成や少子化・高齢化による担い手不足への影響について

担い手の育成について、「青少年や初心者が興味関心を持つ機会となる芸術鑑賞会や教育現場での体験の場を充実させてほしい」という要望や、少子化に触れての「中学校・高校など一つの学校だけでは演劇部が維持できない状況になっており、『声優・俳優になりたい』という子どもたちがいる一方で、自分の近くでは演劇に触れられないという子どもたちが多く、気軽に演劇に触れられる場が必要なのではないか」との意見、高齢化に触れての「古典芸能においては技能者の高齢化等で新規技能者が増えない状態が続いている」との意見もありました。

○新型コロナウイルス感染症による人材・担い手不足への影響について

「コロナ禍によりあらゆる芸術活動がストップしてしまったことから、将来を不安視する親が子供に、文化芸術関係者自身が教え子などに、芸術関係の仕事をしないう勧めたりしている状況になっており、次世代への担い手が激減している」と新型コロナウイルス感染症による人材・担い手不足への影響を指摘する意見がありました。

[相談窓口について] (個人 3.1%、団体・法人 1.3%)

○相談窓口の継続や新設について

『なにそうだん (大阪市アーティストサポート窓口)』の相談員に親身になって話を聞いてもらえて助かったので、『なにそうだん』を継続してほしい」という「なにそうだん」の継続に関する要望や、「アクセスのよい場所に相談窓口をつくってほしい」という相談窓口の新設への要望、また、「相談窓口から課題を抽出し、大阪アーツカウンシルが政策提言につなげるという連携を期待する」という意見もありました。

[その他の支援や施策などについて] (個人 28.3%、団体・法人 20.8%)

○文化芸術関係者の活動の場・交流の場の創出について

「文化芸術関係者たちの活動の場となるようなイベントを実施してほしい」という意見が複数寄せられました。また、「アーティスト同士がつながる場や企業とアーティストがつながる機会を創出してほしい」「文化芸術関係者が表現ジャンルごとの垣根を外し、別のフィールドの文化芸術に触れるための支援策があればよい」など、文化芸術関係者が交流する場の創出に対する要望も寄せられました。

○文化芸術関係者の自立支援について

「作家の支援も大切だが、作家が自力で発信し収益化する、『自活する力』が重要」「多くのアーティストが補助金・助成金制度で何とか活動を継続してこられたが、そのせいで本当の意味でのハングリー精神を持ったアーティストが減ったのではないか。自分たちアーティストが自分たちの力で何とかしようとする姿勢を持ったまま活動できるような制度があれば」など、文化芸術関係者の自立に対する意見や、自立のための支援に対する要望がありました。また、「補助金や助成金に頼らずに事業として文化芸術活動を成立させるための方法などを官民一体で考えてみたい」という意見もありました。

○子どもが文化芸術に触れる機会に対する支援について

「美術館や文化施設の利用料がネックとなり、子どもが文化芸術に触れる機会を得られないことがあるので、すべての子供が文化的教育を無料で受けられる体制づくりをしてほしい」「子どもたちが伝統文化を継続的に学ぶシステム作りの支援をしてほしい」など、子どもが文化芸術に触れる機会に対する支援についての要望がありました。

○大阪府や大阪市が実施している支援策・文化施策について

大阪府や大阪市が実施している支援策・文化施策について、「大阪府や大阪市の文化芸術事業は府外・市外へも影響が大きく、対象者も広く募ってくれるのでありがたい」という意見がある一方、「大阪はそれなりの文化予算を投じているにも関わらず、文化芸術による発信力がない」という指摘や、「実施している公共事業にもっとアーティストやデザイナーが携わるべき」「自治体の役職者や議会の議員が文化に理解を深め経験すべき。たかが習いごとだと捉えずに『文化の扉をノックする』と考えて何でもよいの

で始めてみて、文化が人に与えてくれるものがいかに大きいものなのか経験してほしい」「国の方針では文化芸術政策において経済的な面が最優先されているように思われるが、基礎自治体として、府民・市民の暮らしと芸術との有機的な関わりを紡ぐ息の長い政策を行ってほしい」「一過性の事業ではなく、長期的なビジョンを持った取り組みが重要である」という意見がありました。また、大阪府に対しては、「自治体によって文化振興への比重の置き方に差があるので、大阪府にはその差を埋める音頭をとってほしい」という意見もありました。さらに、「今回の調査のように、個人で活動している人々や小規模団体の実態も把握するような調査を継続して実施していくことが必要なのではないか」との意見も寄せられました。

[大阪アーツカウンシルについて] (個人 9.9%、団体・法人 6.3%)

○大阪アーツカウンシルに対する期待や要望について

大阪アーツカウンシルや現在の統括責任者に対して期待する意見が複数ありました。また、「アーツカウンシルの知見を文化芸術関係者と共有してほしい」との意見や、文化芸術と教育分野、福祉分野、医療分野との連携に触れ、「新型コロナウイルス感染症の影響でアーティストが業界を超えて関わる場が大幅に減ってしまったので、大阪アーツカウンシルには文化芸術の業界のみならず、他の業界とも横の繋がりを構築してほしい」という要望や「公演情報や公演にあたり必要となる情報などの発信をしてほしい」「助成金を受けていない団体の話も聞いてほしい」という要望も寄せられました。

○大阪アーツカウンシルへの参加に対する希望について

「今回の調査をきっかけに大阪アーツカウンシルの存在を知ったが、創作活動以外でも文化芸術に関わる仕事があることに驚いた。大阪アーツカウンシルで働くにはどうすればよいのか」など、大阪アーツカウンシルとして活動したいという意見が複数寄せられました。

[文化芸術に対する評価について] (個人 1.6%、団体・法人 0.6%) >

○文化芸術事業を実施する際の事業者に対する評価について

「アートは一般論とは違う視点を持った人が作っているものであり、多数決や既存の考えでは理解が難しいものもあるので、そうした点も考慮して助成を行ってほしい」「集客・収益など数値化されるものだけではない評価基準を持ってほしい」「不可解とカテゴライズされる表現に対しても支援してほしい」などの意見がありました。

[感染症対策について] (個人 2.6%)

○感染症対策にかかる要望について

「新型コロナウイルス感染症に対する認識は個人ごとに異なるため、何らかの規定があると助かる」「国からの同一の通達に対する自治体の解釈に差があるので統一してほしい」など、感染対策に対する解釈の統一やガイドラインの設定を求める意見や、

「実施すべき感染症対策と実施しなくともよい感染症対策を明確に区別し、文化芸術業界や文化芸術施設にもガイドラインのアップデートを促すべき」という意見がありました。

[他の都市との比較や関わりについて] (個人 1.6%、団体・法人 3.1%)

○東京・京都と大阪の比較や大阪で必要だと思われる取り組み等について

「文化芸術活動は東京を中心に動いていることを実感しており、場合によっては地方のイベントも東京を経由して発注がくることもあるので、地方にもっと文化芸術活動の軸が動くか、東京でのアピール方法を検討しなければいけないと思っている」「東京、関東と比べて関西、特に大阪では文化振興・文化教育で後れを取っているで初めて芸術に触れる人々へのアプローチや新規ファンの開拓が不可欠だと考えている」「大阪では他地域に比べて美術館関係者と知り合う機会が少ないので公営団体と民間団体で交流を持てる関係性を築きたい」「『東京芸術祭』や『KYOTO EXPERIMENT』のような国際的な芸術分野の催しが大阪には無い」「大阪でも『KYOTO EXPERIMENT』のように観客が新しい文化芸術と対峙するための事業を実施してほしい」などの意見がありました。

[実践している（または実践したい）取り組みについて] (個人 6.8%、団体・法人 23.9%)

○様々な方へのアクセシビリティ確保のための取り組みについて

「古い建物で公演をすることが多いが、段差が多い建物が多いので、鑑賞者の視点での動画をつくることで対応している」「障がい者アート、自立訓練型事業所の設立と運営」「他団体と聴覚障がい者を対象とした落語会を共催すべく計画中」「映画上映において、日本語字幕による聴覚障がい者や高齢者向けのユニバーサル上映を実施している」「幼児から高齢者までの幅広い年齢層に対して文化芸術活動に触れる機会を提供している」などの回答がありました。

○補助金事業・助成金事業に対する申請を支援する取り組みについて

「地域のアーティストによる助成金の申請を支援するイベントを実施する。自分たちが持っているノウハウを少しでも役立てることができればと思う」という回答がありました。

○若年層・子どもに関わる取り組みについて

「幼少期から文化芸術に触れることが大切だと考え、小中学校への出張公演などを継続的に実施している」「子育て世代への積極的なアプローチや小学生以下へのレッスンなどを行っている」などの回答がありました。

○他団体との連携について

「活動している分野の関西の統括団体同士で新たな統括団体を作り、各団体の壁を越えた活動を開始している」「伝統芸能の関係者同士で協力して市民向けのステージを開催した」などの回答がありました。

○海外との交流について

「世界情勢が不安定な昨今、世界平和のために文化による国際相互理解が不可欠だと考えており、コロナ禍においても海外との交流を継続して行っている。文化芸術活動を取り巻く状況が厳しくても、世界とつながっていることで、新たな視点や前向きな気持ちを持つことができた」という回答がありました。

○感染対策への取り組みについて

「空気清浄機の設置及び施設内の抗菌・抗ウイルス加工を実施した」などの回答がありました。

○その他の取り組みについて

「普段、音楽イベントに足を運ぶことのない層に向けて、音楽のすばらしさや生演奏の魅力を伝えるために、屋外やビルのエントランスなどでミニコンサートを実施し、コンサートホールやライブハウスへの動員を図っていきたい」「ダイバーシティ（多様性）を中心とした企画イベントに継続して参加していきたい」「コロナ禍をきっかけにお客さんが外出を控えているため、あちこちの小さな会場を利用して公演回数を増やしていると考えている」「若手の育成や学校教育における芸術の位置づけ・社会における芸術のあり方を根気強く提案していく」などの回答が寄せられました。

[その他] (個人 10.5%、団体・法人 3.8%)

○新型コロナウイルス感染症により高齢者が外出を控えていることへの悩みについて

「新型コロナウイルス感染症への心配から外出を控えている高齢者に演奏を届けようにも配信ではなかなか届かない」「高齢者は SNS に疎く、どう集客してよいかわからない」など、新型コロナウイルス感染症により高齢者が外出を控えていることへの悩みについての回答がありました。

○団体の規模の差に対する悩み・思いについて

「オーケストラだけがクラシックだというわけではないのに、ソロやアンサンブルなど小さい単位での音楽活動への理解が乏しい」「音楽で人を楽しませられるのは大きな団体だけではないことを知ってほしい」など、団体の規模の差に対する悩み・思いについての回答がありました。

○文化芸術活動に対する対価に関することについて

「文化芸術活動の社会的立ち位置が低くなると活動機会を得るために無償で技術を提供してしまう事案は少なくないと思うが、無形のものへの対価に対する認識が高まれば芸術の向上も期待できるのではないか」「文化芸術活動へのギャラがきちんと支払われるのが当たり前になってほしい」など、文化芸術活動に対する対価に関する回答がありました。

○その他

「自分の活動する美術のジャンルでは高齢化が進んでおり、余技の楽しみとして活動する方はいても作家と呼べる若い方が減少しているので、その対策に悩んでいる」「金銭的に苦戦している」といった悩みや、今後の大阪について、「大阪が真に美しい芸術のあふれる楽しい街になっていけばいい」「駅構内や公共の場で音楽家が突然演奏しても警察沙汰にならないような環境づくりが必要なのではないか」などの思い、また、「より地域に密着した活動や地域の文化財と関わっての活動が必要だと考える」「芸術そのものの存在意義を広く知ってもらうことが必要である」などの意見がありました。

## 第5章 調査の総括

### 5-1 はじめに

令和2年1月に国内で新型コロナウイルス感染症の感染者が初めて確認されてから、令和5年5月に感染症法上での位置付けが5類に引き下げられるまでの間、文化芸術の分野では、感染対策のために公演や展示の中止・延期・規模縮小などを余儀なくされるなど、様々な困難と戦うことを余儀なくされました。そのような苦しい状況においても大阪の文化芸術関係者たちは決して熱意を失わずに活動を展開し続け、その姿は、同じ文化芸術関係者の一員たちから構成されている大阪アーツカウンシル一同としても大変心強く、胸を熱くさせられるものでした。今なお芸術の炎を燃やし続けているすべての文化芸術関係者と、それを観客や鑑賞者として支えてくださっている方々に、心より感謝申し上げます。

さらに、今回の調査においては、個人・団体・法人問わず、府内のあらゆる文化芸術関係者や施設運営者、市町村の文化担当者などたくさんの方々にご協力いただきました。皆様お忙しいところご協力いただき、誠にありがとうございました。この場を借りまして、厚く御礼申し上げます。

### 5-2 調査の背景

令和4年度に大阪アーツカウンシル（大阪府市文化振興会議アーツカウンシル部会）では統括責任者および委員の入れ替えを行い、新体制の下で第3期目をスタートしました。新体制を形成するにあたり、国内では珍しい「自治体の審議会の部会という形式での地域アーツカウンシル」としての役割を踏まえて何から着手すべきかについて検討しました。検討の結果、我々が大阪府・大阪市の各文化事業に対する事業評価や、文化芸術活動への補助金・助成金の採択審査および効果検証を担当するにあたり、まず大阪の文化芸術関係者の姿や彼らが置かれている現在の状況について知る必要があるという結論に至りました。具体的には、令和7年に開催される2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）を目前に控えたタイミングで、新型コロナウイルス感染症が文化芸術活動にどのように影を落としているのか、そこにどんな支援ニーズがあるのか等について定量的に把握することを目的として、今回の調査を実施することにしました。

上記の背景を踏まえ、本調査では「個人用」と「団体・法人用」の2種類のアンケートを用意し、その双方に大きく分けて23の設問を盛り込みました。アンケート調査が終了した翌月の令和5年2月には単純集計結果のみを掲載した「報告書（速報版）」を公開しており、最終版となる本報告書では、様々な観点からのクロス集計の結果も掲載しています。最終的に約160ページものボリュームとなり、集計結果の一つ一つから非常に興味深い実態が見えてくるものとなっています。

これだけの情報量すべてを一つ一つ詳細に読み解くことはどれだけ時間があっても現実的ではありませんが、大阪アーツカウンシルではその代わりとして、令和5年3月5日に開催した「第5回 大阪芸術文化交流シンポジウム『令和4年度 大阪における文化芸術関係者の実態調査』の結果を踏まえて」において、また、それ以外の場においても、たくさんの方々の文化芸術関係

者や各分野の有識者と本調査結果について議論や意見交換を行ってきました。本報告書では、そのようなやりとりの中でいただいたご指摘やご見解などを踏まえた上で、特に重要と思われる6つのトピックに焦点を絞って考察を行っています。

### 5-3 考察

#### 1. 文化芸術活動の地域集中について

大阪府という広域自治体を対象とした本調査においては、まず文化芸術活動の地域集中が注目に値すると考えます。府内では、企業や事業所が大阪市内に集中することで、同様に経済資本も大阪市内に集中しています。

今回の調査結果からは、経済資本と同様、文化芸術活動においても大阪府内で地域集中が生じていることがわかりました。まず、個人〔問3〕では、回答者の44.6%が大阪市内に居住していると回答し、団体・法人〔問1〕においても、回答した団体・法人の57.3%が所在地（主たる事業所等）は大阪市内にあると回答しています。また、個人〔問4〕・〔問5〕と団体・法人〔問2〕・〔問3〕の回答結果からは、それぞれの「文化芸術活動を行っている活動地」および「主な活動地」も大阪市内に集中している様子が見て取れます。この様子から、府内では、地域によって文化芸術に触れる・または文化芸術活動を行う機会において格差が発生しているであろうことが推測されます。

さらに、これらの調査結果からは、文化資本が集中する大阪市内においても文化芸術の地域集中が生じていることが明らかになっています。個人〔問4〕で「文化芸術活動を行っている活動地」（複数回答）について問うたところ、「大阪市北区」と回答した人が49.5%、「大阪府中央区」と回答した人が43.7%に上る中、23.9%であった「大阪市天王寺区」を除く他の区についてはすべて20%以下という結果になりました。同じ設問である団体・法人〔問2〕の回答結果においても、「大阪府中央区」と回答した団体・法人が39.1%、「大阪市北区」と回答した団体・法人が38.7%である中で、大阪市内の他の区は総じて20%未満であり、大阪市内でも北区と中央区に文化資本が偏っていることがわかります。

このような地域による文化芸術活動の集中は、物流、人流、情報流が一箇所に集まる都市圏の性質に起因していると考えられます。具体的に言えば、都市部では他の地域に比べて商業施設、教育機関、交通インフラなどが充実しているため、自然に人々や企業が集まりやすい環境が形成されます。この集積が進むことで、文化芸術活動においても都市部に多くのアーティストや団体が集まり、それがさらに観客やスポンサーを引き寄せるといった循環が生まれます。このような集積効果は「シナジー効果」とも呼ばれますが、一つ一つの活動やイベントが相互に影響し合うことにより、全体として、より大きな価値を生み出す機会が増えていきます。

しかし、この集中が進むことで生じる副作用が「文化的格差」です。都市部に文化資本が集中することで、その他の地域は文化芸術活動において取り残される可能性が高くなります。そうなってしまうと、当地の住民が文化芸術に触れられる機会が減少するだけでなく、自ら文化芸術活動を行うこと自体が困難になる可能性も増していきます。

前述の通り、府内では大阪市に、そして大阪市内においてさえも北区や中央区に文化活動が集中しており、その他の地域は相対的に文化資本が乏しい状態です。結果として文化的な多様性や文化芸術活動へのアクセスの平等性が損なわれている恐れがあります。

このような文化的格差を解消することは簡単ではないため、地域ごとの特性を考慮した多角的なアプローチが必要となります。具体的には、既存の公立文化施設に対して機能拡充・設備充実のための支援を行う、地域住民に対してAR（拡張現実）・VR（仮想現実）等のデジタル技術の活用により文化芸術の提供機会を増加させるなど、様々な手法について今後検討していく必要があるのではないのでしょうか。

## 2. 文化芸術関係者の経済的な課題について

文化芸術関係者が抱える経済的な課題については、これまで口頭で語られることはあっても、具体的な数値で示されることはほとんどありませんでした。収入等に関する質問はセンシティブなものですが、今後の大阪の文化政策について議論する上で避けて通ることのできないトピックであると判断して今回の調査を実施しました。

個人〔問9〕で「文化芸術活動における直近の年度の総収入」を調査した結果、64.6%が200万円以下であると回答しました。今回の調査においてはプロ・アマ問わず回答を依頼しているため、「0円」と回答した回答者の中には文化芸術活動のみで生計を立てていないアマチュアの文化芸術関係者も含まれていることが想定されますが、文化芸術活動で収入のある層のみを見ても53.9%が1円以上200万円以下であると回答しています。併せて、個人〔問13〕（「あなたは文化芸術活動とは別に仕事をお持ちですか？」）の結果を見ると、56.9%が「文化芸術活動とは別に仕事もしている」と回答しており、今回の回答者においては文化芸術活動一本で生計を立てていない人が約6割を占めていることがわかります。その中には「(コロナ禍を契機に)文化芸術活動とは別に仕事もしている」と回答した人が5.9%含まれており、新型コロナウイルス感染症が文化芸術関係者の生活に与えた影響の大きさを知ることができます。

団体・法人〔問9〕（「貴団体・事業所の文化芸術活動および事業における直近の年度の総収入(売上高)」）においても、44.6%が200万円以下であると回答しました。個人〔問9〕同様、回答者にアマチュアの団体が含まれていることが想定されるため、文化芸術活動で収入のある層に絞っても、回答者の38.4%が1円以上200万円以下であると回答しています。

収入に関連して「文化芸術活動の活動資金の入手先(複数回答)」について見ると、個人〔問10〕では63.9%、団体・法人〔問10〕では81.0%が「事業収入」を挙げていますが、団体・法人では「行政の補助金(委託・助成金を含む)」が2番目に多く、55.7%となっています。

文化芸術活動が社会に対して波及効果を持つことは広く認識されており、ゆえに府民・市民が収める税金が投入され文化施策が行われていますが、文化芸術活動が持つ公共的な価値とは裏腹に、収益を上げることが非常に困難である点については、かねてから指摘されてきました。アメリカの経済学者 W.ボウモルと W.ボウエンは、文化芸術における市場の失敗、つまり、文化芸術は生産性を上げることが困難であり、市場の資源配分に任せておけば、特に実演芸術の所得不足はますます拡大するということを、1966年の著作「舞台芸術 芸術と経済のジレンマ」で明らかにし、公的支援の必要性を説いています。

文化芸術活動はしばしば外部の補助金や寄付、助成金などに頼らざるを得ず、それでも資金調達が困難であれば活動自体を維持できなくなる可能性もあります。この構造的な問題は、文化芸術関係者がどれだけ努力しても、容易に解決できるものではありません。

このことを踏まえて、文化芸術関係者が持つ経済的な課題に対しては自発的な努力を促すのみならず、補助事業・助成事業の実施や活動機会の創出により後押しする、クラウドファンディングなど様々な資金調達の方法について学べる機会を提供するなど、多面的な支援に取り組んでいく必要があります。

### 3. 文化芸術関係者の公共事業への参加について

「大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村の文化事業に関わった経験」の有無について、個人 [問 19] で調査したところ、「いいえ」(関わったことがない) が 40.7%を占めました。また、団体・法人 [問 19] でも同様の質問を行ったところ、「いいえ」(関わったことがない) が 51.0%を占めており、いずれの調査においても回答者の半数が公共事業に参加したことがないという結果になりました。一方で、個人 [問 16] および団体 [問 16] で「文化芸術活動に対して今後必要としている支援」(複数回答) について問うたところ、個人の 4.4%、団体・法人の 50.6%が「公的機関からの公演、展示、イベント等の実施委託による活動機会創出」を挙げています。このことから、府内には「公共事業に関与したいと考えてはいるものの、実際には関与できていない」という文化芸術関係者が一定数存在しているのではないかと推測することができます。

この背景について、今回の調査では直接調査は行っていないものの、個人 [問 22] および団体・法人 [問 22] (「2025 年に開催される大阪・関西万博の機運醸成に向けてどのような形で関わってみたいと考えますか?」) での調査結果を参考にすると、例えば「関与したい条件の事業がない」、「関わり方がわからない」などの理由があるのではないかと考えられます。各自治体においては、公共事業に関わりたいという意欲を持った文化芸術関係者が実際に関与できるよう、事業の幅について検討する、事業の関わり方について具体的なイメージを持ってもらえるような工夫を行うなどの対策が求められるのではないのでしょうか。

### 4. アートマネジメント人材等の不足について

個人 [問 8] において回答者の「文化芸術活動の主な技能分野」について調査したところ、「創作発表」が 61.7%を占め、その他の選択肢(「企画制作」「技術提供」「施設運営」「教育研究」)はいずれも 10%台以下でした。さらに、個人 [問 7] (回答者の「主な表現分野」) とのクロス集計結果(【表現分野別でみた「技能分野」】)を見ると、音楽、伝統芸能・大衆芸能、演劇・舞踊など、舞台芸術の領域では特に「創作発表」以外の分野に従事する人々が少ないという結果になっています。

文化芸術活動が語られるとき、創作発表を行う側の人々に着目が集まりがちですが、創作発表を行う人々以外にもそれぞれに大きな役割を担っています。その中でも、文化芸術の作り手と受け手をつなぐアートマネジメント人材の役割は特に重要であり、その育成及び活用については文化庁の文化政策部会でも平成 19 年から平成 21 年にかけて集中的に議論されてきたところです。しかし、今回の調査結果を見ると、今なお文化芸術関係者の技能分野は創作発表に偏っ

ており、その他の選択肢を選んだ回答者の中に十分な数のアートマネジメント人材が含まれているとは言えないのではないのでしょうか。

文化芸術の作り手と受け手をつなぐアートマネジメント（文化芸術経営）には、広範な知識と優れたコミュニケーションスキル、さらには知的財産権や情報技術に関する深い理解が求められます。このような知識やスキルなどを身につけるには相応の時間と資金が必要であることから、民間のみで対処することは困難であり、公的機関の積極的な介入と支援が不可欠です。だからこそ、大阪という地域においてアートマネジメント人材が不足しているのであれば、どう育成していくか、どう活用していくかについて、改めて検討していかなければなりません。

（※なお、団体・法人〔問7〕・〔問8〕でも同様の質問が行われていますが、団体・法人は多様な技能分野を持つ人々が集まる場であるため、この文脈での比較や分析は控えます。）

## 5. コロナ禍におけるの悩みと支援ニーズの多様性について

個人〔問14〕および団体・法人〔問14〕では「新型コロナウイルス感染症の影響により現在困っていること」（複数回答）について調査を行いました。個人では「お客さんが戻ってこないこと」（54.6%）、団体・法人では「観客や顧客が戻ってこないこと」（67.2%）がそれぞれ1位であり、コロナ禍において客離れが最も多くの回答者の認識する悩みであることがわかります。また、「創作発表の機会が失われたこと」が個人で3位（42.4%）および団体・法人で2位（46.6%）となっています。客離れや創作発表の機会が不足し続ける状況は、文化芸術関係者の収入減に直結するだけでなく、文化芸術分野そのものの活力を長期的に奪いかねないものです。ひいては、そのような状況がアーティストのアイデンティティや文化芸術活動自体の存在意義にも重大な影響を及ぼしうることは想像に難くありません。

客離れや創作発表の機会の不足に関する悩みについては、支援ニーズにも反映されています。

個人〔問16〕で「文化芸術活動に対してあなたが今後必要としている支援」（複数回答）を調査したところ、「公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の補填」が46.1%と最も多く、次に「文化芸術活動の再開や新規事業展開に向けた支援」が44.9%、「公的機関からの公演、展示、イベント等の実施委託による活動機会創出」が44.4%と続きました。団体・法人〔問16〕（「文化芸術活動に対して貴団体・事業所が今後必要としている支援」（複数回答））でも、順位は異なるものの、「文化芸術活動の再開や新規事業展開に向けた支援」が55.3%、「公的機関からの公演、展示、イベント等の実施委託による活動機会創出」が50.6%、そして「公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の補填」が43.5%と、上位3位までを同じ回答が占めています。

「公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の補填」については、前述の通り、特に舞台芸術分野等において体調不良者が出た場合の公演等の延期・中止は収入減に直結する大きな不安材料であり、損失への補填を求めたいと考えるのは当然だと考えられます。しかし単に補填を求めるのみならず、「文化芸術活動の再開や新規事業展開に向けた支援」や「公的機関からの公演、展示、イベント等の実施委託による活動機会創出」という回答が同程度または同程度以上に数多く寄せられた結果からは、困難な状況の中でも自身の活動そのものを継続したいという大阪の文化芸術関係者の強い意志が見えるのではないのでしょうか。また、特に団体・

法人において損失分への補填よりも他の2項目に対するニーズが高いのは、組織としての持続性や拡大が個々のアーティスト以上に重要であるためだと考えられます。

さらに見ると、これらの上位の選択肢のみに回答が集中しているのではなく、個人と団体・法人の双方で、「文化芸術活動に関する情報発信、周知・啓発、提言」が4位、「『インボイス制度』に対する相談、講座、情報提供」が5位に入るほか、「原油価格・エネルギー価格・物価の高騰による影響に対しての支援」「学校教育における芸術関連科目に関する情報提供や相談、事業立ち上げや拡充支援」「融資や支援などの制度の情報提供や手続きに関する相談」などの各選択肢に対しても、それぞれ20%以上ずつのニーズがあることがわかります。

このニーズの多様性こそ、文化芸術活動が単なる創作活動ではなく、情報や税金にかかる制度、そして教育活動などの多くの要素に影響を受ける複雑なエコシステムであることを示しています。

ともすれば、世間からは文化芸術は「好きな人が好きなように好きなことをやっているだけだ」と捉えられ、娯楽や趣味のようなものに過ぎないと思われがちですが、文化芸術と一口で言っても、文化芸術関係者には有償で活動しているプロフェッショナルも無償で活動しているアマチュアもいます。プロであれば文化芸術活動で得た所得から納税する義務があり、アマチュアであったとしても、その活動には様々な費用がかかるものです。また、活動を行う上では、多くの人々に鑑賞してもらえそうな機会や場所、利用できる制度についての情報収集も欠かせません。学校教育における芸術関連科目は、児童・生徒に文化芸術活動に触れる場を提供する機会があることから、文化芸術関係者にとっては常に大きなチャンスを秘めている領域でもあります。

社会および行政は、文化芸術活動がこのような複雑な営みであることを認識した上で支援の方法を検討する必要があります。その切り口においては、単に活動機会を創出するというもののみならず、多様な支援ニーズに応じた多角的なアプローチが求められることを理解しておかなければなりません。

## 6. 新型コロナウイルス感染症による若年層への影響について

個人〔問23〕および団体・法人〔問23〕では「文化芸術活動を取り巻く状況に対する意見や今後の支援策についての提案、すでに実践されている取り組みなど」について調査しましたが、その回答の中で、「コロナ禍以前から経済的に不安定で、個人の気持ちで持ちこたえている状態なのでどうにか打破したいが、若手の人材を受け入れて後継者を育てていく余裕もない」という意見や、「業界における人手不足が深刻だが、理由は低待遇によるものである」「資金不足と人手不足の悪循環を止める手立てを何とか考えたい」という意見など、文化芸術分野での経済的な課題と人材・担い手の不足とのつながりに悩んでいるという意見が複数ありました。

新型コロナウイルス感染症がこのような文化芸術分野での人材・担い手の不足にさらなるダメージを与えたであろうことは容易に想像できますが、そのダメージは、今後の文化芸術の享受者、そして担い手となる若年層に対しても深刻な影響をもたらしていることについても言及したいと思います。

同じく [問 23] の回答において、「コロナ禍によりあらゆる芸術活動がストップしてしまったことから、将来を不安視する親が子供に、文化芸術関係者自身が教え子などに、芸術関係の仕事をしないうちめたりしている状況となっており、次世代への担い手が激減している」という意見がありました。また、我々大阪アーツカウンシルが大阪府の補助金や大阪市の助成金の採択事業を視察した際にも、事業者の方々から「新型コロナウイルス感染症の影響により家庭の経済状況が厳しくなる中で、若年層が文化芸術分野での就職を断念するケースが増えている」との声を伺っています。

コロナ禍においては、若年層が多感な時期を過ごす小・中・高等学校における文化芸術活動も大きく制限を受けました。文化芸術を鑑賞する機会や実演・創作を行う機会が失われ、クラブ活動や部活動が停止し、さらに各種の大会やコンクールも中止されました。子どもたちが文化芸術活動に触れる機会そのものが、コロナ禍以前に比べて圧倒的に減ったと言えます。

さらに、芸術系の大学・専門学校においても、オンライン学習が主流となる期間がありました。演奏や演技について画面越しでニュアンスや技術を伝えることは難しく、本来は演技や演奏などについて対面での指導や体験が不可欠であることを踏まえると、そのような状況が文化芸術活動の担い手を育成する環境として完全なものだったとは言えません。

このように、新型コロナウイルス感染症は今後の文化芸術の享受者および担い手となる世代にも様々な形で確実に影響を及ぼしていることについても、大阪の文化芸術の振興について検討する上で考慮しておく必要があります。

#### 5-4 おわりに

本調査の結果、大阪の文化芸術活動の傾向や、新型コロナウイルス感染症が現在の府内での文化芸術活動にどのように影を落としているのか、そこにどんな支援ニーズがあるのか等について把握することができました。

大阪アーツカウンシルは前述したように「自治体の審議会の部会という形式での地域アーツカウンシル」であり、その役割は以下の3つであると規定されています。

- ① 評価・審査（大阪府・大阪市の文化事業の検証、評価、助成事業の審査及び成果の調査）
- ② 調査（情報の収集、分析、提供など）
- ③ 企画（新たな事業などの企画、立案、および提言など）

つまり、大阪アーツカウンシルは府内の文化芸術に関する事象を調査・研究して大阪府・大阪市の提言等を行うシンクタンク的な役割を果たすための組織として存在しています。現在、日本各地で組織されているアーツカウンシルのほとんどは自治体の文化財団などを母体としたものであり、その活動内容が主に文化芸術関係者・文化芸術団体への助成やイベント等の開催であることと比較すると、国内の他のアーツカウンシルとは立ち位置や活動内容が大きく違うものであると言えるでしょう。

そのような特色を持つ組織として、府内の文化芸術関係者の皆様にご協力いただいてその実態を可視化することができた今回の調査結果は大変重要なものであり、大阪を、すべての文化

芸術関係者が誇りを持っていきいきと活動できる場所にしていくために、最大限に活用させていただく所存です。

今更言うまでもなく、文化芸術は「精神的なインフラ」として人々の心の豊かさや社会的結束を支えるものです。ゆえに国や自治体は、国民や住民が納めた税金である公金を投じて、公共政策として文化事業を実施しています。しかし、文化芸術関係者がどれだけ声高に「文化芸術は大切だ」「そのためにはこのような支援が必要だ」と主張しても、事業の財源となる税金を納めている国民・住民が納得しなければ、公的な文化事業の継続は困難となってしまうかもしれません。

だからこそ我々大阪の文化芸術関係者は、文化芸術の享受者でもある府民・市民に対して、文化芸術の持つ力や社会への波及効果について十分に説明しつづけていかねばなりません。また、補助金や助成金などの公金を活用して事業を行う際は、常に透明性を確保し、使途と効果を明確に説明できるようにしておかねばなりません。

大阪の文化芸術関係者がそれらの責務を果たしていくにあたり、府民・市民や自治体との間で、また、時には同じ文化芸術関係者同士で、価値観や立場の違いをきっかけにコミュニケーションエラーが生じることもあるかと思います。その中において、我々大阪アーツカウンシルはそれぞれの意見や想いを通訳し、コミュニケーションを円滑に行うための架け橋として機能すべく、ひいては大阪の文化芸術が持つ無限の可能性を最大限に引き出すべく全力を尽くしてまいります。本調査がその第一歩として、皆様の相互理解を促す一助になればと存じます。

## 第6章 資料編

### アンケート調査票

#### 【個人】および【団体・法人】共通

以下のアンケートにご協力ください。  
ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。

\* は、必須項目です。

#### 【調査の目的】

この調査は、大阪府市文化振興会議アーツカウンシル部会（大阪アーツカウンシル）が、大阪府内の文化芸術にかかる現状や課題、必要とされている支援などについて検討するために、大阪府在住または大阪府内に活動の拠点を置く文化芸術関係者または文化芸術関係団体に対して行うものです。

調査結果は、後日、大阪府市文化振興会議アーツカウンシル部会ホームページなどで公表するほか、調査研究・学会報告などを通じて、大阪府・大阪市での文化芸術の発展および今後の施策の参考のために活用させていただきます。

#### 【注意事項】

- ・ アンケートは無記名でご回答いただきます。また、回答については特定の個人・団体が識別されないよう統計的に処理されます。
- ・ 回答内容が大阪府の補助金・大阪市の助成金などの採択審査に影響することはありません。
- ・ アンケートの「送信」ボタンを押した後は、特定の個人・団体が特定されない形でデータ処理されるため、回答内容について修正や削除などには応じられませんので、ご了承ください。
- ・ いただいたご回答、ご意見・ご提案の中で、住所、氏名、個人または法人等の権利・利益を害するおそれのある情報など、公表することが不適切な情報については公表いたしません。

#### 【所要時間】

- ・ 質問は全部で 28 問です。5分程度でご回答頂けます。

お忙しいところ、お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※調査に関してご不明な点がございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

大阪府市文化振興会議アーツカウンシル部会事務局

電話 : 06-6210-9305 メール : [bunka@sbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:bunka@sbox.pref.osaka.lg.jp)

このアンケートには「個人向け」と「団体・法人向け」があります。

【回答するアンケートを選択してください】\*

<input type="radio"/>	「文化芸術関係の個人」向け（→個人用アンケートに移ります）
<input type="radio"/>	「文化芸術関係の団体・法人」向け※（※個人が設立した任意団体も含む） （→団体・法人用アンケートに移ります）

【個人】

問1 あなたの性別を教えてください。\*

<input type="radio"/>	男性
<input type="radio"/>	女性
<input type="radio"/>	その他
<input type="radio"/>	答えたくない

問2 あなたの年代を教えてください。\*

<input type="radio"/>	20 歳未満
<input type="radio"/>	20 代
<input type="radio"/>	30 代
<input type="radio"/>	40 代
<input type="radio"/>	50 代
<input type="radio"/>	60 代
<input type="radio"/>	70 代
<input type="radio"/>	80 代
<input type="radio"/>	90 代以上

問3 あなたの居住地を教えてください。\*

<input type="radio"/>	大阪市	<input type="radio"/>	堺市	<input type="radio"/>	能勢町	<input type="radio"/>	豊能町
<input type="radio"/>	池田市	<input type="radio"/>	箕面市	<input type="radio"/>	豊中市	<input type="radio"/>	茨木市
<input type="radio"/>	高槻市	<input type="radio"/>	島本町	<input type="radio"/>	吹田市	<input type="radio"/>	摂津市
<input type="radio"/>	枚方市	<input type="radio"/>	交野市	<input type="radio"/>	寝屋川市	<input type="radio"/>	守口市
<input type="radio"/>	門真市	<input type="radio"/>	四條畷市	<input type="radio"/>	大東市	<input type="radio"/>	東大阪市
<input type="radio"/>	八尾市	<input type="radio"/>	柏原市	<input type="radio"/>	和泉市	<input type="radio"/>	高石市
<input type="radio"/>	泉大津市	<input type="radio"/>	忠岡町	<input type="radio"/>	岸和田市	<input type="radio"/>	貝塚市
<input type="radio"/>	熊取町	<input type="radio"/>	泉佐野市	<input type="radio"/>	田尻町	<input type="radio"/>	泉南市

<input type="radio"/>	阪南市	<input type="radio"/>	岬町	<input type="radio"/>	松原市	<input type="radio"/>	羽曳野市
<input type="radio"/>	藤井寺市	<input type="radio"/>	太子町	<input type="radio"/>	河南町	<input type="radio"/>	千早赤阪村
<input type="radio"/>	富田林市	<input type="radio"/>	大阪狭山市	<input type="radio"/>	河内長野市	<input type="radio"/>	大阪府以外
<input type="radio"/>	答えたくない						

問4 あなたが文化芸術活動を行っている活動地を全て教えてください。\*

<input type="checkbox"/>	※大阪市 北区	<input type="checkbox"/>	都島区	<input type="checkbox"/>	福島区	<input type="checkbox"/>	此花区
<input type="checkbox"/>	中央区	<input type="checkbox"/>	西区	<input type="checkbox"/>	港区	<input type="checkbox"/>	大正区
<input type="checkbox"/>	天王寺区	<input type="checkbox"/>	浪速区	<input type="checkbox"/>	西淀川区	<input type="checkbox"/>	淀川区
<input type="checkbox"/>	東淀川区	<input type="checkbox"/>	東成区	<input type="checkbox"/>	生野区	<input type="checkbox"/>	旭区
<input type="checkbox"/>	城東区	<input type="checkbox"/>	鶴見区	<input type="checkbox"/>	阿倍野区	<input type="checkbox"/>	住之江区
<input type="checkbox"/>	住吉区	<input type="checkbox"/>	東住吉区	<input type="checkbox"/>	平野区	<input type="checkbox"/>	西成区
<input type="checkbox"/>	※堺市 堺区	<input type="checkbox"/>	美原区	<input type="checkbox"/>	北区	<input type="checkbox"/>	中区
<input type="checkbox"/>	東区	<input type="checkbox"/>	西区	<input type="checkbox"/>	南区	<input type="checkbox"/>	能勢町
<input type="checkbox"/>	豊能町	<input type="checkbox"/>	池田市	<input type="checkbox"/>	箕面市	<input type="checkbox"/>	豊中市
<input type="checkbox"/>	茨木市	<input type="checkbox"/>	高槻市	<input type="checkbox"/>	島本町	<input type="checkbox"/>	吹田市
<input type="checkbox"/>	摂津市	<input type="checkbox"/>	枚方市	<input type="checkbox"/>	交野市	<input type="checkbox"/>	寝屋川市
<input type="checkbox"/>	守口市	<input type="checkbox"/>	門真市	<input type="checkbox"/>	四條畷市	<input type="checkbox"/>	大東市
<input type="checkbox"/>	東大阪市	<input type="checkbox"/>	八尾市	<input type="checkbox"/>	柏原市	<input type="checkbox"/>	和泉市
<input type="checkbox"/>	高石市	<input type="checkbox"/>	泉大津市	<input type="checkbox"/>	忠岡町	<input type="checkbox"/>	岸和田市
<input type="checkbox"/>	貝塚市	<input type="checkbox"/>	熊取町	<input type="checkbox"/>	泉佐野市	<input type="checkbox"/>	田尻町
<input type="checkbox"/>	泉南市	<input type="checkbox"/>	阪南市	<input type="checkbox"/>	岬町	<input type="checkbox"/>	松原市
<input type="checkbox"/>	羽曳野市	<input type="checkbox"/>	藤井寺市	<input type="checkbox"/>	太子町	<input type="checkbox"/>	河南町
<input type="checkbox"/>	千早赤阪村	<input type="checkbox"/>	富田林市	<input type="checkbox"/>	大阪狭山市	<input type="checkbox"/>	河内長野市
<input type="checkbox"/>	大阪府外	<input type="checkbox"/>	答えたくない（上記との重複回答はできません）				

問5 問4で答えた活動地のうち、あなたが最も活動を行っている活動地を教えてください。\*

<input type="radio"/>	※大阪市 北区	<input type="radio"/>	都島区	<input type="radio"/>	福島区	<input type="radio"/>	此花区
<input type="radio"/>	中央区	<input type="radio"/>	西区	<input type="radio"/>	港区	<input type="radio"/>	大正区

<input type="radio"/>	天王寺区	<input type="radio"/>	浪速区	<input type="radio"/>	西淀川区	<input type="radio"/>	淀川区
<input type="radio"/>	東淀川区	<input type="radio"/>	東成区	<input type="radio"/>	生野区	<input type="radio"/>	旭区
<input type="radio"/>	城東区	<input type="radio"/>	鶴見区	<input type="radio"/>	阿倍野区	<input type="radio"/>	住之江区
<input type="radio"/>	住吉区	<input type="radio"/>	東住吉区	<input type="radio"/>	平野区	<input type="radio"/>	西成区
<input type="radio"/>	※堺市 堺区	<input type="radio"/>	美原区	<input type="radio"/>	北区	<input type="radio"/>	中区
<input type="radio"/>	東区	<input type="radio"/>	西区	<input type="radio"/>	南区	<input type="radio"/>	能勢町
<input type="radio"/>	豊能町	<input type="radio"/>	池田市	<input type="radio"/>	箕面市	<input type="radio"/>	豊中市
<input type="radio"/>	茨木市	<input type="radio"/>	高槻市	<input type="radio"/>	島本町	<input type="radio"/>	吹田市
<input type="radio"/>	摂津市	<input type="radio"/>	枚方市	<input type="radio"/>	交野市	<input type="radio"/>	寝屋川市
<input type="radio"/>	守口市	<input type="radio"/>	門真市	<input type="radio"/>	四條畷市	<input type="radio"/>	大東市
<input type="radio"/>	東大阪市	<input type="radio"/>	八尾市	<input type="radio"/>	柏原市	<input type="radio"/>	和泉市
<input type="radio"/>	高石市	<input type="radio"/>	泉大津市	<input type="radio"/>	忠岡町	<input type="radio"/>	岸和田市
<input type="radio"/>	貝塚市	<input type="radio"/>	熊取町	<input type="radio"/>	泉佐野市	<input type="radio"/>	田尻町
<input type="radio"/>	泉南市	<input type="radio"/>	阪南市	<input type="radio"/>	岬町	<input type="radio"/>	松原市
<input type="radio"/>	羽曳野市	<input type="radio"/>	藤井寺市	<input type="radio"/>	太子町	<input type="radio"/>	河南町
<input type="radio"/>	千早赤阪村	<input type="radio"/>	富田林市	<input type="radio"/>	大阪狭山市	<input type="radio"/>	河内長野市
<input type="radio"/>	大阪府外	<input type="radio"/>	答えたくない（上記との重複回答はできません）				

問6 あなたが文化芸術活動に従事している年数を教えてください。\*

<input type="radio"/>	3 年未満
<input type="radio"/>	3～5 年
<input type="radio"/>	6～10 年
<input type="radio"/>	11～20 年
<input type="radio"/>	21～30 年
<input type="radio"/>	31～40 年
<input type="radio"/>	40 年以上

問7 あなたの文化芸術活動について、最もあてはまる表現分野を1つ教えてください。\*

<input type="radio"/>	音楽 [クラシック音楽 (オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽等)、ポピュラー音楽 (ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲等)、邦楽 (琴、三味線、尺八、笛、長唄等)、エレクトロニカ・電子音楽、民族音楽、その他の音楽]
<input type="radio"/>	美術 [造形 (絵画、版画、彫刻)、工芸 (陶芸、書、染織、クラフト)、写真・映像、パフォーマンス (演劇、舞踊以外の身体表現)、複合芸術・アートプロジェクト、その他の美術]
<input type="radio"/>	演劇・舞踊 [演劇 (現代演劇、人形劇、ミュージカル等)、サーカス・パントマイム・大道芸等、殺陣、舞踊 (バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンス)、ストリートダンス・ジャズダンス、民族舞踊 (フラダンス、サルサ、フラメンコ等)・社交ダンス、その他の舞台芸術]
<input type="radio"/>	映画・メディア芸術 [映画 (アニメ除く)、アニメーション、漫画、コンピュータや映像を活用したアート (メディアアート)、その他のメディア芸術]
<input type="radio"/>	伝統芸能・大衆芸能 [雅楽、能楽、文楽、浄瑠璃、歌舞伎、講談、落語、浪曲、漫才・漫談、手品・マジック、邦舞 (日本舞踊、上方舞)、その他の芸能]
<input type="radio"/>	文学 [小説、戯曲、随筆・詩・俳句・短歌・連句、評論・批評、その他文学]
<input type="radio"/>	デザイン・建築・ファッション [グラフィックデザイン・ウェブデザイン、建築設計・インテリアデザイン、プロダクトデザイン、ファッション・服飾、その他のデザイン]
<input type="radio"/>	生活文化 [茶道、華道・フラワーアレンジメント、書道、食文化、国民娯楽 (囲碁・将棋等)、その他の生活文化]
<input type="radio"/>	その他 <input type="text"/>

問8 あなたの文化芸術活動の主な技能分野について、最もあてはまるものを1つ教えてください。複数あてはまる場合には、収入や従事時間が最も多いものを1つお答えください。\*

<input type="radio"/>	創作発表 [音楽や舞台芸術、映画等の出演、作品創作 (作曲、脚本、演出、振付)、美術やメディア芸術等の作品創作・発表、その他の創作発表]
<input type="radio"/>	企画制作 [プロデューサー、ディレクター、キュレーター、ギャラリスト (企画)、マネージャー、プロモーター、コーディネーター、中間支援、その他の企画制作]
<input type="radio"/>	技術提供 [照明技術、音響技術、舞台技術・舞台管理、道具・衣装製作、展示設営、撮影・編集・プログラミング、デザイン、通訳・翻訳、その他の技術提供]

<input type="radio"/>	創作発表 [音楽や舞台芸術、映画等の出演、作品創作（作曲、脚本、演出、振付）、美術やメディア芸術等の作品創作・発表、その他の創作発表]
<input type="radio"/>	企画制作 [プロデューサー、ディレクター、キュレーター、ギャラリスト（企画）、マネージャー、プロモーター、コーディネーター、中間支援、その他の企画制作]
<input type="radio"/>	技術提供 [照明技術、音響技術、舞台技術・舞台管理、道具・衣装製作、展示設営、撮影・編集・プログラミング、デザイン、通訳・翻訳、その他の技術提供]
<input type="radio"/>	施設運営 [ホール・劇場、美術館・博物館、映画館、ギャラリー・古物商、ライブハウス・クラブ、スタジオ・アトリエ、その他の施設運営]
<input type="radio"/>	教育研究 [教室等の指導者、専修学校・養成所指導者、大学・高等学校の専任教員、批評家・研究者、その他の教育研究]
<input type="radio"/>	その他 <input type="text"/>

問9 あなたの文化芸術活動における直近の年度の総収入を教えてください。\*

<input type="radio"/>	0円	<input type="radio"/>	1円以上 100万円未満
<input type="radio"/>	100万円～200万円	<input type="radio"/>	200万円～400万円
<input type="radio"/>	400万円～600万円	<input type="radio"/>	600万円～800万円
<input type="radio"/>	800万円～1000万円	<input type="radio"/>	1000万円～1500万円
<input type="radio"/>	1500万円以上	<input type="radio"/>	答えたくない

問10 あなたの文化芸術活動の活動資金はどこから得ていますか？

<input type="checkbox"/>	事業収入（個人で活動している場合など）
<input type="checkbox"/>	給与収入（団体や教室に勤めている場合など）
<input type="checkbox"/>	文化芸術活動以外での収入などによる自己負担
<input type="checkbox"/>	行政の補助金（委託・助成金を含む）
<input type="checkbox"/>	民間団体からの助成金や補助金
<input type="checkbox"/>	民間団体からの協賛金
<input type="checkbox"/>	寄付金（クラウドファンディングを含む）
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	答えたくない（上記との重複回答はできません）

問 11 過去 2 回実施された調査（「大阪における文化芸術関係者への新型コロナウイルスの影響に関する実態調査」（2020 年：一般財団法人おおさか創造千島財団、2021 年：大阪市文化課））に回答しましたか？（過去に 1 度でも回答していたら「した」を選んでください）\*

<input type="radio"/>	した
<input type="radio"/>	していない
<input type="radio"/>	わからない

問 12 あなたが関わる公演、展示、イベント等において、直近 1 年間に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止・延期になったものはありましたか？\*

<input type="radio"/>	中止・延期になったものがあつた
<input type="radio"/>	中止・延期になったものはなかつた

-----  
(問 12 で「中止・延期になったものがあつた」と回答した場合のみ)

問 12-1 問 12 の中止・延期になった件数を教えてください。\*

中止・延期の件数  (件)

問 12-2 問 12 の中止・延期により、あなた自身が受け取る予定だつた収入（例えば入場料、出演料、作品製作費、出品・販売・作品売上、テクニカル謝金、講演料、指導料など）の損失額はどのくらいですか？

(直近 1 年間の積算額を入力してください。作品売上や入場料等の不確定な収入は、過去の実績からおおよその金額をお答えください。千円、万円単位ではなく円単位でお答えください) わからない場合は空欄としてください。

損失額  (円)

-----  
問 13 あなたは文化芸術活動とは別に仕事をお持ちですか？\*

<input type="radio"/>	文化芸術活動のみに従事している
<input type="radio"/>	(コロナ禍以前より) 文化芸術活動とは別に仕事もしている
<input type="radio"/>	(コロナ禍を契機に) 文化芸術活動とは別に仕事もしている

-----  
(問 13 で「文化芸術活動とは別に仕事もしている」と回答した場合のみ)

問 13-1 文化芸術活動以外の主な仕事での雇用形態を教えてください。\*

<input type="radio"/>	個人事業主・フリーランス
<input type="radio"/>	正社員・正職員
<input type="radio"/>	非正規の常用雇用者（契約社員、嘱託、非常勤、パート、アルバイトなど）
<input type="radio"/>	臨時雇用者
<input type="radio"/>	その他 <input type="text"/>

問 13-2 直近 1 年間の文化芸術活動以外の仕事での収入において、新型コロナウイルス感染症の影響による損失はありましたか？\*

<input type="radio"/>	収入に損失がある
<input type="radio"/>	収入に損失はない

-----  
問 14 新型コロナウイルス感染症の影響により、あなたが【現在困っていること】を教えてください。\*

<input type="checkbox"/>	創作発表の機会が失われたこと
<input type="checkbox"/>	創作発表の意欲が湧かないこと（メンタルヘルスの不調）
<input type="checkbox"/>	創作発表の準備や稽古ができないこと
<input type="checkbox"/>	お客さんが戻ってこないこと
<input type="checkbox"/>	延期になった公演やイベントの日程調整
<input type="checkbox"/>	今後の活動の予定が作成できないこと
<input type="checkbox"/>	活動の継続や再開に対する批判やクレームが不安なこと
<input type="checkbox"/>	公演やイベント前の検査の有無
<input type="checkbox"/>	感染者や濃厚接触者が出た場合の対処
<input type="checkbox"/>	技能の研鑽や後進の指導ができないこと
<input type="checkbox"/>	生計の見通しが立たないこと

<input type="checkbox"/>	スタッフやアルバイト等に賃金を払えないこと
<input type="checkbox"/>	事務所・施設等の維持ができないこと
<input type="checkbox"/>	補償や給付金などの支援策が分からないこと
<input type="checkbox"/>	創作発表に関して相談ができないこと
<input type="checkbox"/>	経営に関する相談ができないこと
<input type="checkbox"/>	支援策の申請書の書き方等が分からないこと
<input type="checkbox"/>	現在困っていることは特にない
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>

問 15 新型コロナウイルス感染症の影響により、以前よりお客さんが増えているか、または減っているかについて教えてください。\*

<input type="radio"/>	大幅に増えた
<input type="radio"/>	やや増えた
<input type="radio"/>	変わらない
<input type="radio"/>	やや減った
<input type="radio"/>	大幅に減った
<input type="radio"/>	わからない

問 16 あなたが文化芸術活動を行うにあたり、今後必要としている支援を教えてください。\*

<input type="checkbox"/>	公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の補填
<input type="checkbox"/>	融資や支援などの制度の情報提供や手続きに関する相談
<input type="checkbox"/>	オンラインによる動画配信や無観客公演、ワークショップやレッスンなどの研修
<input type="checkbox"/>	文化芸術活動の感染予防に関する情報提供や相談
<input type="checkbox"/>	文化芸術活動に必要な衛生物資や備品等の支援
<input type="checkbox"/>	文化芸術活動の再開や新規事業展開に向けた支援
<input type="checkbox"/>	文化芸術活動に関する情報発信、周知・啓発、提言
<input type="checkbox"/>	公的機関からの公演、展示、イベント等の実施委託による活動機会創出
<input type="checkbox"/>	学校教育における芸術関連科目に関する情報提供や相談、事業立ち上げや拡充支援

<input type="checkbox"/>	原油価格・エネルギー価格・物価の高騰による影響に対する支援
<input type="checkbox"/>	「文化芸術分野の適正な契約関係構築に向けたガイドライン」に関する相談、講座、情報提供
<input type="checkbox"/>	「インボイス制度」に対する相談、講座、情報提供
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>

問 17 あなたは大阪府内にアーティストや文化芸術団体の相談窓口があることを知っていますか？また、実際に相談したことはありますか？

(相談窓口…「eno concierge (エノコンシェルジュ)」、「大阪市アーティストサポート窓口 [なにそうだん]」、「堺アーツカウンシル 文化芸術活動に関する相談・対話」)\*

<input type="checkbox"/>	eno concierge (エノコンシェルジュ) を知っており、相談した
<input type="checkbox"/>	大阪市アーティストサポート窓口 [なにそうだん] を知っており、相談した
<input type="checkbox"/>	堺アーツカウンシル 文化芸術活動に関する相談・対話を知っており、相談した
<input type="checkbox"/>	(上記の) いずれかを知っていたが、実際に相談したことはない
<input type="checkbox"/>	知らなかった (上記と重複回答はできません)

問 18 大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村が行っている、文化芸術活動を支援する補助金や助成金制度を利用したことがありますか？\*

<input type="checkbox"/>	大阪府芸術文化振興補助金 (大阪府)
<input type="checkbox"/>	輝け！子どもパフォーマー事業補助金 (大阪府)
<input type="checkbox"/>	大阪市芸術活動振興事業助成金 一般助成 (大阪市)
<input type="checkbox"/>	大阪市芸術活動振興事業助成金 特別助成 (大阪市)
<input type="checkbox"/>	堺市文化芸術活動応援補助金 一般補助 (堺市)
<input type="checkbox"/>	堺市文化芸術活動応援補助金 特別補助 (堺市)
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	補助金や助成金制度を利用したことがない (重複回答は出来ません)

問 19 あなたはこれまで大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村の文化事業に関わったことがありますか？(補助金・助成金事業や観客としての関わりは除く)

[例：事業を受託した、実行委員会に参加した、創作・発表で出演した、スタッフとして参加した、など]\*

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ
<input type="radio"/>	わからない

-----

(問 19 で「いいえ」と回答した場合のみ)

問 19-1 問 19 に「いいえ」と答えた方は、その理由を教えてください。\*

<input type="checkbox"/>	機会がない
<input type="checkbox"/>	関与したいと思えるものがない
<input type="checkbox"/>	要請・委託・お誘いがなかった
<input type="checkbox"/>	情報がない
<input type="checkbox"/>	関わり方を知らない
<input type="checkbox"/>	関わる必要性が感じられない
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>

-----

問 20 大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルのことを知っていますか？\*

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

問 21 大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルに期待する役割はありますか？  
ある場合、その内容について教えてください。\*

<input type="checkbox"/>	民間の文化芸術活動への補助や助成
<input type="checkbox"/>	補助金・助成金採択事業への助言・フィードバック
<input type="checkbox"/>	文化情報の集約・発信
<input type="checkbox"/>	活動アーティストや団体のネットワーク作り
<input type="checkbox"/>	プロデュース・マネジメント・ファシリテートなどの勉強の場

<input type="checkbox"/>	資金調達などの勉強の場
<input type="checkbox"/>	新たな文化施策の企画
<input type="checkbox"/>	文化振興のビジョンの提示
<input type="checkbox"/>	文化や芸術に関する政策提言
<input type="checkbox"/>	文化事業の評価・提言
<input type="checkbox"/>	現場に即した基礎調査
<input type="checkbox"/>	特に無し（上記と重複回答はできません）
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>

問 22 2025 年に開催される大阪・関西万博の機運醸成に向けてどのような形で関わってみたいと考えますか？

問 23 文化芸術活動を取り巻く状況に対するご意見や今後の支援策についてのご提案、すでに実践されている取り組みなどがあれば、ご自由にお書きください。

【団体・法人】

問1 貴団体・事業所の所在地（主たる事業所等）を教えてください。\*

<input type="radio"/>	大阪市	<input type="radio"/>	堺市	<input type="radio"/>	能勢町	<input type="radio"/>	豊能町
<input type="radio"/>	池田市	<input type="radio"/>	箕面市	<input type="radio"/>	豊中市	<input type="radio"/>	茨木市
<input type="radio"/>	高槻市	<input type="radio"/>	島本町	<input type="radio"/>	吹田市	<input type="radio"/>	摂津市
<input type="radio"/>	枚方市	<input type="radio"/>	交野市	<input type="radio"/>	寝屋川市	<input type="radio"/>	守口市
<input type="radio"/>	門真市	<input type="radio"/>	四條畷市	<input type="radio"/>	大東市	<input type="radio"/>	東大阪市
<input type="radio"/>	八尾市	<input type="radio"/>	柏原市	<input type="radio"/>	和泉市	<input type="radio"/>	高石市
<input type="radio"/>	泉大津市	<input type="radio"/>	忠岡町	<input type="radio"/>	岸和田市	<input type="radio"/>	貝塚市
<input type="radio"/>	熊取町	<input type="radio"/>	泉佐野市	<input type="radio"/>	田尻町	<input type="radio"/>	泉南市
<input type="radio"/>	阪南市	<input type="radio"/>	岬町	<input type="radio"/>	松原市	<input type="radio"/>	羽曳野市
<input type="radio"/>	藤井寺市	<input type="radio"/>	太子町	<input type="radio"/>	河南町	<input type="radio"/>	千早赤阪村
<input type="radio"/>	富田林市	<input type="radio"/>	大阪狭山市	<input type="radio"/>	河内長野市	<input type="radio"/>	大阪府以外
<input type="radio"/>	答えたくない						

問2 貴団体・事業所が文化芸術活動を行っている活動地を全て教えてください。\*

<input type="checkbox"/>	※大阪市 北区	<input type="checkbox"/>	都島区	<input type="checkbox"/>	福島区	<input type="checkbox"/>	此花区
<input type="checkbox"/>	中央区	<input type="checkbox"/>	西区	<input type="checkbox"/>	港区	<input type="checkbox"/>	大正区
<input type="checkbox"/>	天王寺区	<input type="checkbox"/>	浪速区	<input type="checkbox"/>	西淀川区	<input type="checkbox"/>	淀川区
<input type="checkbox"/>	東淀川区	<input type="checkbox"/>	東成区	<input type="checkbox"/>	生野区	<input type="checkbox"/>	旭区
<input type="checkbox"/>	城東区	<input type="checkbox"/>	鶴見区	<input type="checkbox"/>	阿倍野区	<input type="checkbox"/>	住之江区
<input type="checkbox"/>	住吉区	<input type="checkbox"/>	東住吉区	<input type="checkbox"/>	平野区	<input type="checkbox"/>	西成区
<input type="checkbox"/>	※堺市 堺区	<input type="checkbox"/>	美原区	<input type="checkbox"/>	北区	<input type="checkbox"/>	中区
<input type="checkbox"/>	東区	<input type="checkbox"/>	西区	<input type="checkbox"/>	南区	<input type="checkbox"/>	能勢町
<input type="checkbox"/>	豊能町	<input type="checkbox"/>	池田市	<input type="checkbox"/>	箕面市	<input type="checkbox"/>	豊中市
<input type="checkbox"/>	茨木市	<input type="checkbox"/>	高槻市	<input type="checkbox"/>	島本町	<input type="checkbox"/>	吹田市
<input type="checkbox"/>	摂津市	<input type="checkbox"/>	枚方市	<input type="checkbox"/>	交野市	<input type="checkbox"/>	寝屋川市
<input type="checkbox"/>	守口市	<input type="checkbox"/>	門真市	<input type="checkbox"/>	四條畷市	<input type="checkbox"/>	大東市

<input type="checkbox"/>	東大阪市	<input type="checkbox"/>	八尾市	<input type="checkbox"/>	柏原市	<input type="checkbox"/>	和泉市
<input type="checkbox"/>	高石市	<input type="checkbox"/>	泉大津市	<input type="checkbox"/>	忠岡町	<input type="checkbox"/>	岸和田市
<input type="checkbox"/>	貝塚市	<input type="checkbox"/>	熊取町	<input type="checkbox"/>	泉佐野市	<input type="checkbox"/>	田尻町
<input type="checkbox"/>	泉南市	<input type="checkbox"/>	阪南市	<input type="checkbox"/>	岬町	<input type="checkbox"/>	松原市
<input type="checkbox"/>	羽曳野市	<input type="checkbox"/>	藤井寺市	<input type="checkbox"/>	太子町	<input type="checkbox"/>	河南町
<input type="checkbox"/>	千早赤阪村	<input type="checkbox"/>	富田林市	<input type="checkbox"/>	大阪狭山市	<input type="checkbox"/>	河内長野市
<input type="checkbox"/>	大阪府外	<input type="checkbox"/>	答えたくない（上記との重複回答はできません）				

問3 問2で答えた活動地のうち、貴団体・事業所が最も活動を行っている活動地を教えてください。\*

<input type="radio"/>	※大阪市 北区	<input type="radio"/>	都島区	<input type="radio"/>	福島区	<input type="radio"/>	此花区
<input type="radio"/>	中央区	<input type="radio"/>	西区	<input type="radio"/>	港区	<input type="radio"/>	大正区
<input type="radio"/>	天王寺区	<input type="radio"/>	浪速区	<input type="radio"/>	西淀川区	<input type="radio"/>	淀川区
<input type="radio"/>	東淀川区	<input type="radio"/>	東成区	<input type="radio"/>	生野区	<input type="radio"/>	旭区
<input type="radio"/>	城東区	<input type="radio"/>	鶴見区	<input type="radio"/>	阿倍野区	<input type="radio"/>	住之江区
<input type="radio"/>	住吉区	<input type="radio"/>	東住吉区	<input type="radio"/>	平野区	<input type="radio"/>	西成区
<input type="radio"/>	※堺市 堺区	<input type="radio"/>	美原区	<input type="radio"/>	北区	<input type="radio"/>	中区
<input type="radio"/>	東区	<input type="radio"/>	西区	<input type="radio"/>	南区	<input type="radio"/>	能勢町
<input type="radio"/>	豊能町	<input type="radio"/>	池田市	<input type="radio"/>	箕面市	<input type="radio"/>	豊中市
<input type="radio"/>	茨木市	<input type="radio"/>	高槻市	<input type="radio"/>	島本町	<input type="radio"/>	吹田市
<input type="radio"/>	摂津市	<input type="radio"/>	枚方市	<input type="radio"/>	交野市	<input type="radio"/>	寝屋川市
<input type="radio"/>	守口市	<input type="radio"/>	門真市	<input type="radio"/>	四條畷市	<input type="radio"/>	大東市
<input type="radio"/>	東大阪市	<input type="radio"/>	八尾市	<input type="radio"/>	柏原市	<input type="radio"/>	和泉市
<input type="radio"/>	高石市	<input type="radio"/>	泉大津市	<input type="radio"/>	忠岡町	<input type="radio"/>	岸和田市
<input type="radio"/>	貝塚市	<input type="radio"/>	熊取町	<input type="radio"/>	泉佐野市	<input type="radio"/>	田尻町
<input type="radio"/>	泉南市	<input type="radio"/>	阪南市	<input type="radio"/>	岬町	<input type="radio"/>	松原市
<input type="radio"/>	羽曳野市	<input type="radio"/>	藤井寺市	<input type="radio"/>	太子町	<input type="radio"/>	河南町
<input type="radio"/>	千早赤阪村	<input type="radio"/>	富田林市	<input type="radio"/>	大阪狭山市	<input type="radio"/>	河内長野市
<input type="radio"/>	大阪府外	<input type="radio"/>	答えたくない（上記との重複回答はできません）				

問4 貴団体・事業所の経営形態を教えてください。\*

<input type="radio"/>	個人経営
<input type="radio"/>	株式会社・特例有限会社・相互会社
<input type="radio"/>	合名会社・合資会社
<input type="radio"/>	合同会社
<input type="radio"/>	公益財団・社団法人
<input type="radio"/>	一般財団・社団法人
<input type="radio"/>	特定非営利活動法人（NPO）
<input type="radio"/>	学校法人
<input type="radio"/>	宗教法人
<input type="radio"/>	社会福祉法人・医療法人
<input type="radio"/>	法人でない団体（保存会、組合、協議会等の任意団体）
<input type="radio"/>	その他 <input type="text"/>

問5 貴団体・事業所が事業を開始した年を教えてください。\*

<input type="radio"/>	2010 年代以降
<input type="radio"/>	2000 年代
<input type="radio"/>	1990 年代
<input type="radio"/>	1980 年代
<input type="radio"/>	1970 年代
<input type="radio"/>	1960 年代以前

問6 貴団体・事業所の従業者数等について教えてください。\*

	人数
①個人事業主（個人事業主として事業所を経営している等）	<input type="text"/> 人
②個人事業主の家族等で無給の人（家族で賃金や給与を受けずに常時従事している人）（家族でも賃金・給与を受けている人については以下の③～⑤に分類してください）	<input type="text"/> 人
③正社員・正職員（雇用契約期間に定めがなく所定労働時間で働いている人）	<input type="text"/> 人
④正社員・正職員にあてはまらない常用雇用者（契約社員、嘱託、非常勤、パートなど非正規の常用雇用者）	<input type="text"/> 人
⑤臨時雇用者（事業やプロジェクトごとに雇用する業務委託など）	<input type="text"/> 人
⑥ボランティアや無給のスタッフ等	<input type="text"/> 人

問7 貴団体・事業所の文化芸術活動の主たる表現分野を1つだけお答えください。\*

<input type="radio"/>	音楽 [クラシック音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽等）、ポピュラー音楽（ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲等）、邦楽（琴、三味線、尺八、笛、長唄等）、エレクトロニカ・電子音楽、民族音楽、その他の音楽]
<input type="radio"/>	美術 [造形（絵画、版画、彫刻）、工芸（陶芸、書、染織、クラフト）、写真・映像、パフォーマンス（演劇、舞踊以外の身体表現）、複合芸術・アートプロジェクト、その他の美術]
<input type="radio"/>	演劇・舞踊 [演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカル等）、サーカス・パントマイム・大道芸等、殺陣、舞踊（バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンス）、ストリートダンス・ジャズダンス、民族舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）・社交ダンス、その他の舞台芸術]
<input type="radio"/>	映画・メディア芸術 [映画（アニメ除く）、アニメーション、漫画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）、その他のメディア芸術]
<input type="radio"/>	伝統芸能・大衆芸能 [雅楽、能楽、文楽、浄瑠璃、歌舞伎、講談、落語、浪曲、漫才・漫談、手品・マジック、邦舞（日本舞踊、上方舞）、その他の芸能]
<input type="radio"/>	文学 [小説、戯曲、随筆・詩・俳句・短歌・連句、評論・批評、その他文学]

<input type="radio"/>	デザイン・建築・ファッション [グラフィックデザイン・ウェブデザイン、建築設計・インテリアデザイン、プロダクトデザイン、ファッション・服飾、その他のデザイン]
<input type="radio"/>	生活文化 [茶道、華道・フラワーアレンジメント、書道、食文化、国民娯楽(囲碁・将棋等)、その他の生活文化]
<input type="radio"/>	その他 <input type="text"/>

問8 貴団体・事業所の文化芸術活動の主たる技能分野について、最も当てはまるものを1つ教えてください。複数当てはまる場合は、収入や従事時間が最も多いものを1つお答えください。\*

<input type="radio"/>	創作発表 [音楽や舞台芸術、映画等の出演、作品創作(作曲、脚本、演出、振付)、美術やメディア芸術等の作品創作・発表、その他の創作発表]
<input type="radio"/>	企画制作 [プロデューサー、ディレクター、キュレーター、ギャラリスト(企画)、マネージャー、プロモーター、コーディネーター、中間支援、その他の企画制作]
<input type="radio"/>	技術提供 [照明技術、音響技術、舞台技術・舞台管理、道具・衣装製作、展示設営、撮影・編集・プログラミング、デザイン、通訳・翻訳、その他の技術提供]
<input type="radio"/>	施設運営 [ホール・劇場、美術館・博物館、映画館、ギャラリー・古物商、ライブハウス・クラブ、スタジオ・アトリエ、その他の施設運営]
<input type="radio"/>	教育研究 [教室等の指導者、専修学校・養成所指導者、大学・高等学校の専任教員、批評家・研究者、その他の教育研究]
<input type="radio"/>	その他 <input type="text"/>

問9 貴団体・事業所の文化芸術活動および事業における直近の年度の総収入(売上高)について教えてください。\*

<input type="radio"/>	0円	<input type="radio"/>	1円以上 100万円未満
<input type="radio"/>	100万円～200万円	<input type="radio"/>	200万円～400万円
<input type="radio"/>	400万円～600万円	<input type="radio"/>	600万円～800万円
<input type="radio"/>	800万円～1000万円	<input type="radio"/>	1000万円～2000万円
<input type="radio"/>	2000万円～3000万円	<input type="radio"/>	3000万円以上
<input type="radio"/>	答えたくない		

問 10 貴団体・事業所の文化芸術活動の活動資金はどこから得ていますか？\*

<input type="checkbox"/>	事業収入
<input type="checkbox"/>	行政の補助金（委託・助成金を含む）
<input type="checkbox"/>	民間団体からの助成金や補助金
<input type="checkbox"/>	民間団体からの協賛金
<input type="checkbox"/>	寄付金（クラウドファンディングを含む）
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	答えたくない

問 11 過去 2 回実施された調査（「大阪における文化芸術関係者への新型コロナウイルスの影響に関する実態調査」（2020 年：一般財団法人おおさか創造千島財団、2021 年：大阪市文化課））に回答しましたか？（過去に 1 度でも回答していたら「した」を選んでください）\*

<input type="radio"/>	した
<input type="radio"/>	していない
<input type="radio"/>	わからない

問 12 貴団体・事業所が関わる公演、展示、イベント等において、直近 1 年間に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止・延期になったものはありましたか？\*

<input type="radio"/>	中止・延期はあった
<input type="radio"/>	中止・延期はなかった

-----  
(問 12 で「中止・延期になったものがあった」と回答した場合のみ)

問 12-1 問 12 の中止・延期になった件数を教えてください。\*

中止・延期の件数  (件)

問 12-2 問 12 の中止・延期により、貴団体・事業所が受け取る予定だった収入（例えば入場料、出演料、作品製作費、出品・販売・作品売上、テクニカル謝金、講演料、指導料など）の損失額はどのくらいですか？

（直近 1 年間の積算額を入力してください。作品売上や入場料等の不確定な収入は、過去の実績からおおよその金額をお答えください。千円、万円単位ではなく円単位でお答えください）わからない場合は空欄としてください。

損失額  (円)

---

問 13 貴団体・事業所は文化芸術活動以外の業務を実施していますか？\*

<input type="radio"/>	実施している
<input type="radio"/>	実施していない

---

（問 13 で「実施している」と回答した場合のみ）

問 13-1 文化芸術活動以外の業務の業種を教えてください。\*

<input type="checkbox"/>	飲食業
<input type="checkbox"/>	ショップ・商品販売
<input type="checkbox"/>	宿泊・観光
<input type="checkbox"/>	編集・出版
<input type="checkbox"/>	広告・広告制作
<input type="checkbox"/>	イベント制作
<input type="checkbox"/>	人材派遣
<input type="checkbox"/>	不動産管理
<input type="checkbox"/>	社会福祉サービス
<input type="checkbox"/>	教育・学習支援
<input type="checkbox"/>	宗教施設や冠婚葬祭の場でのサービス
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>

問 13-2 直近 1 年間の文化芸術活動以外の仕事での収入において、新型コロナウイルス感染症の影響による損失はありましたか？\*

<input type="radio"/>	収入に損失がある
<input type="radio"/>	収入に損失はない

問 14 新型コロナウイルス感染症の影響により、【現在】の文化芸術活動について困っていることを教えてください。\*

<input type="checkbox"/>	創作発表の機会が失われたこと
<input type="checkbox"/>	団体・事業所の活気が失われたこと
<input type="checkbox"/>	観客や顧客が戻ってこないこと
<input type="checkbox"/>	創作発表の準備や稽古ができないこと
<input type="checkbox"/>	創作発表をするための経費が確保できないこと
<input type="checkbox"/>	活動再開のタイミングや方法がわからないこと
<input type="checkbox"/>	活動の継続や再開に対する批判やクレームが不安なこと
<input type="checkbox"/>	技能の研鑽や後進の指導ができないこと
<input type="checkbox"/>	経営の見通しが立たないこと
<input type="checkbox"/>	雇用者に賃金を払えないこと
<input type="checkbox"/>	事務所・施設等の維持ができないこと
<input type="checkbox"/>	保障や給付金など、どんな公的支援があるのか等がわからないこと
<input type="checkbox"/>	保障や給付金などの公的支援の申請書類の書き方がわからないこと
<input type="checkbox"/>	創作発表に関して相談ができないこと
<input type="checkbox"/>	経営に関する相談ができないこと
<input type="checkbox"/>	現在困っていることは特にない
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>

問 15 新型コロナウイルス感染症の影響により、以前よりお客さんが増えているか、または減っているかについて教えてください。\*

<input type="radio"/>	大幅に増えた
<input type="radio"/>	やや増えた
<input type="radio"/>	変わらない
<input type="radio"/>	やや減った
<input type="radio"/>	大幅に減った
<input type="radio"/>	わからない

問 16 貴団体・事業所が文化芸術活動を行うにあたり、今後必要としている支援を教えてください。\*

<input type="checkbox"/>	公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の補填
<input type="checkbox"/>	融資や支援などの制度の情報提供や手続きに関する相談
<input type="checkbox"/>	オンラインによる動画配信や無観客公演、ワークショップやレッスンなどの研修
<input type="checkbox"/>	文化芸術活動の感染予防に関する情報提供や相談
<input type="checkbox"/>	文化芸術活動に必要な衛生物資や備品等の支援
<input type="checkbox"/>	文化芸術活動の再開や新規事業展開に向けた支援
<input type="checkbox"/>	文化芸術活動に関する情報発信、周知・啓発、提言
<input type="checkbox"/>	公的機関からの公演、展示、イベント等の実施委託による活動機会創出
<input type="checkbox"/>	学校教育における芸術関連科目に関する情報提供や相談、事業立ち上げや拡充支援
<input type="checkbox"/>	原油価格・エネルギー価格・物価の高騰による影響に対する支援
<input type="checkbox"/>	「文化芸術分野の適正な契約関係構築に向けたガイドライン」に関する相談、講座、情報提供
<input type="checkbox"/>	「インボイス制度」に対する相談、講座、情報提供
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>

問 17 大阪府内にアーティストや文化芸術団体の相談窓口があることを知っていますか？  
また、実際に相談したことはありますか？\*

(相談窓口…「eno concierge (エノコンシェルジュ)」、「大阪市アーティストサポート窓口 [なにそうだん]」、「堺アーツカウンシル 文化芸術活動に関する相談・対話」)

<input type="checkbox"/>	eno concierge (エノコンシェルジュ) を知っており、使用した
<input type="checkbox"/>	大阪市アーティストサポート窓口 [なにそうだん] を知っており、使用した
<input type="checkbox"/>	堺アーツカウンシル 文化芸術活動に関する相談・対話を知っており、使用した
<input type="checkbox"/>	(上記の) どれかを知っていたが、使用したことはない
<input type="checkbox"/>	知らなかった

問 18 大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村が行っている文化芸術活動を支援する補助金や助成金制度を利用したことがありますか？\*

<input type="checkbox"/>	大阪府芸術文化振興補助金 (大阪府)
<input type="checkbox"/>	輝け！子どもパフォーマー事業補助金 (大阪府)
<input type="checkbox"/>	大阪市芸術活動振興事業助成金 一般助成 (大阪市)
<input type="checkbox"/>	大阪市芸術活動振興事業助成金 特別助成 (大阪市)
<input type="checkbox"/>	堺市文化芸術活動応援補助金 一般補助 (堺市)
<input type="checkbox"/>	堺市文化芸術活動応援補助金 特別補助 (堺市)
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	補助金や助成金制度を利用したことがない (重複回答は出来ません)

問 19 貴団体・貴事業所はこれまで大阪府・大阪市・堺市・その他の市町村の文化事業に関わったことはありますか？ (補助金・助成金事業は除く)

[事例：事業を受託、実行委員会に参加、創作・発表で出演、スタッフとして参加など]\*

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ
<input type="radio"/>	わからない

-----  
(問 19 で「いいえ」と回答した場合のみ)

問 19-1 設問 19 に「いいえ」と答えた方は、その理由について教えてください。\*

<input type="checkbox"/>	機会がない
<input type="checkbox"/>	関与したいと思えるものがない
<input type="checkbox"/>	要請・委託・お誘いがなかった
<input type="checkbox"/>	情報がない
<input type="checkbox"/>	関わり方を知らない
<input type="checkbox"/>	関わる必要性を感じられない
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>

-----  
問 20 大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルのことを知っていますか？\*

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

問 21 大阪アーツカウンシルもしくは堺アーツカウンシルに期待する役割はありますか？  
ある場合、その内容について教えてください。\*

<input type="checkbox"/>	民間の文化芸術活動への補助や助成
<input type="checkbox"/>	補助金・助成金採択事業への助言・フィードバック
<input type="checkbox"/>	文化情報の集約・発信
<input type="checkbox"/>	活動アーティストや団体のネットワーク作り
<input type="checkbox"/>	プロデュース・マネジメント・ファシリテートなどの勉強の場
<input type="checkbox"/>	資金調達などの勉強の場
<input type="checkbox"/>	新たな文化施策の企画
<input type="checkbox"/>	文化振興のビジョンの提示
<input type="checkbox"/>	文化や芸術に関する政策提言
<input type="checkbox"/>	文化事業の評価・提言

<input type="checkbox"/>	現場に即した基礎調査
<input type="checkbox"/>	特に無し（他の項目との重複回答はできません）
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>

問 22 2025 年に開催される大阪・関西万博の機運醸成に向けてどのような形で関わってみたいと考えますか？

問 23 文化芸術活動を取り巻く状況に対するご意見や今後の支援策についてのご提案、すでに実践されている取り組みなどがあれば、ご自由にお書きください。

## 令和4年度 大阪における文化芸術関係者の実態調査 報告書

発行 令和5年12月

調査主体 大阪府市文化振興会議アーツカウンシル部会  
(大阪アーツカウンシル)

事務局：〒559-8555 大阪市住之江区南港北1丁目14-16  
大阪府咲洲庁舎37階

電話：06-6210-9305 メール：info@osaka-artsCouncil.jp

調査協力 一般財団法人おおさか創造千島財団 / 堺アーツカウンシル